

2. 1. 保護者の生活状況

2. 1. 1. 経済的な状況、暮らしの状況

(1) 世帯全体の年間収入（保護者票 問 28、SA）

令和4年の世帯全員のおおよその年間収入（税込）については、「500～600万円未満」が12.9%で最も割合が高く⁶、次いで「600～700万円未満」が10.6%、「450～500万円」が8.9%となっている。

「令和3年子供の生活状況調査の分析」（以降、「内閣府調査」という。）における令和2年の世帯全員のおおよその年間収入（税込）では、「1,000万円以上」の割合が1割超と高くなっている一方、「300万円未満」に該当する割合も1割を超えており、収入の水準が低い世帯があることも把握されている。本調査においては「300万円未満」に該当する割合は20.5%と、内閣府調査と比べて高くなっていることに加え、「1,000万円以上」に該当する割合は5.8%と1割を満たない。

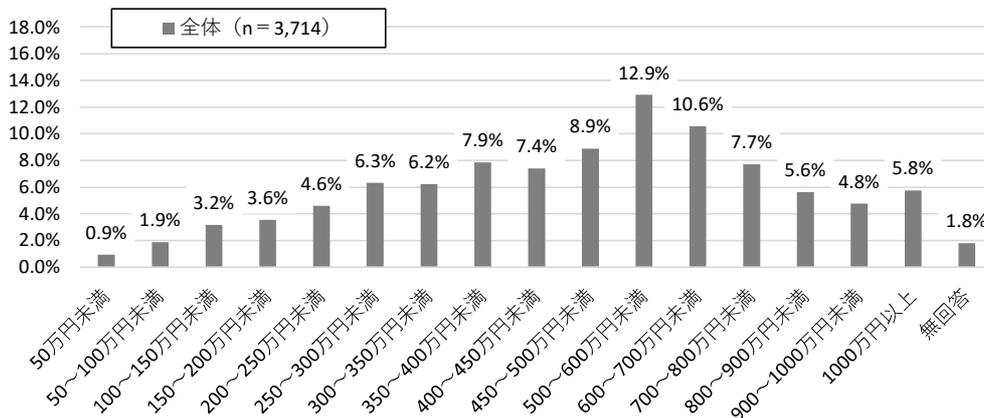


図 2-1-1-1 世帯全員の年間収入

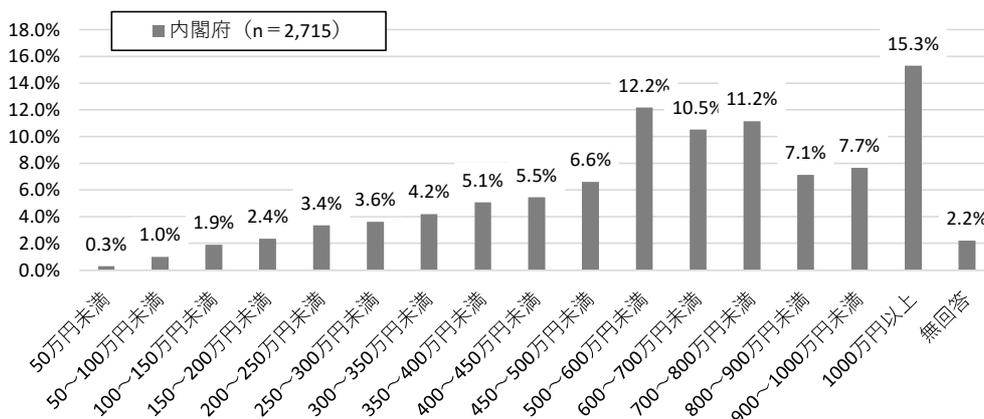


図 2-1-1-2 世帯全員の年間収入（内閣府調査より作成）

⁶ 収入の水準に関しては、本報告書の参考資料「3.2.2.他調査と比較した場合の水準」としても示す。

世帯の年間収入の水準について、内閣府調査と同様の処理⁷を行い、「等価世帯収入」による分類を行った結果⁸、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 未満」に該当するのは 12.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」に該当するのは 33.9%、「中央値以上」に該当するのは 53.4%となった。

報告書では、内閣府調査と同様、「中央値の 2 分の 1 未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」に該当する世帯を「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

世帯の状況別に等価世帯収入の水準をみると⁹、等価世帯収入が「中央値の 2 分の 1 未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」が 44.1%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。また、「ひとり親世帯」のうち「母子世帯」のみでは、46.2%となっている。

母親・父親の学歴の状況別にみると、母親・父親ともに学歴が高いほど、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 未満」に該当する割合が低くなっている。母親と父親の組み合わせでみた場合¹⁰、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 未満」に該当する割合は、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合で 3.4%、「父母のいずれかが大学またはそれ以上」の場合で 6.6%、「その他」の場合で 16.7%となっている。

家族の単身赴任中の有無別にみると、「父親が単身赴任中」の世帯の割合は、等価世帯収入の水準が「中央値以上」の世帯で 9.6%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯で 3.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯で 1.1%となっている。

また、家庭での使用言語の状況（日本語以外の言語使用の状況）別にみると、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」または「日本語以外の言語を使うことが多い」に該当する世帯では、等価世帯収入の水準が「中央値の 2 分の 1 未満」の割合が 30.9%で、「日本語のみを使用している」世帯と比べて高くなっている。

⁷ 処理の方法は P2 の通り

⁸ 参考資料「3.2.1.等価世帯収入の算出」にて等価世帯収入の分類・分布の詳細を示す。

⁹ 比較する世帯のうち、「世帯の状況別」として、ふたり親世帯であるか、ひとり親世帯であるか別に集計し、結果を比較した。また、ひとり親世帯のうち、母子世帯のみの集計を行い、その結果を示す。

¹⁰ 「父母のいずれも、大学またはそれ以上」については、母親と父親が「中学、高校（または 5 年制の高等専門学校）、大学まで」または「中学、高校（または 5 年制の高等専門学校）、大学、大学院まで」と選択した場合、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」については、母親か父親が「中学、高校（または 5 年制の高等専門学校）、大学まで」または「中学、高校（または 5 年制の高等専門学校）、大学、大学院まで」と選択した場合を合算して集計し、それ以外の組み合わせは「その他」とした。

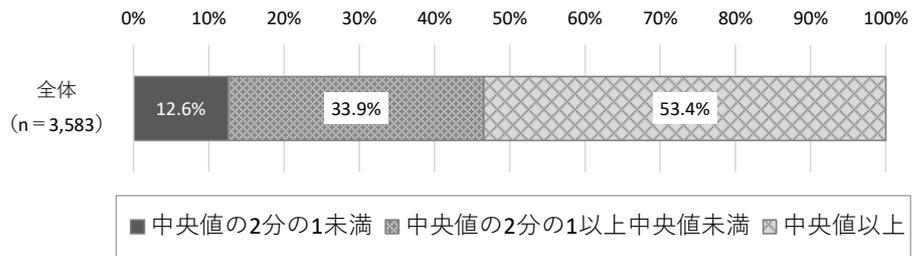


図 2-1-1-3 等価世帯収入の水準

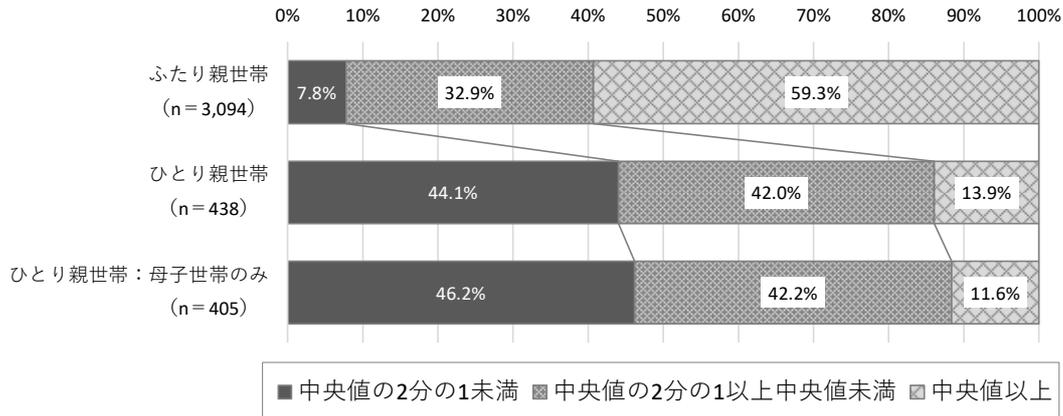


図 2-1-1-4 世帯の状況別、等価世帯収入の水準

比較表 2-1-1-1 等価世帯収入の水準

上段：度数 下段：%	サンプル数	中央値の2分の1未満	中央値の2分の1以上 中央値未満	中央値以上
今回調査	3,583	452	1,216	1,915
	100.0	12.6	33.9	53.4
前回調査	2,660	359	1,102	1,199
	100.0	13.5	41.4	45.1
内閣府調査	2,623	338	968	1,317
	100.0	12.9	36.9	50.2

比較表 2-1-1-2 世帯の状況¹¹

上段：度数 下段：%		サンプル数	中央値の2分の1未満	中央値の2分の1以上 中央値未満	中央値以上	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,094	241	1,018	1,835
			100.0	7.8	32.9	59.3
		ひとり親世帯	438	193	184	61
		100.0	44.1	42.0	13.9	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	405	187	171	47
		100.0	46.2	42.2	11.6	
	前回調査	ふたり親世帯	2,240	204	934	1,102
			100.0	9.1	41.7	49.2
		ひとり親世帯	408	150	164	94
		100.0	36.8	40.2	23.0	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	335	139	123	73
		100.0	41.5	36.7	21.8	
内閣府調査	ふたり親世帯	2,289	172	840	1,277	
		100.0	7.5	36.7	55.8	
	ひとり親世帯	325	163	122	40	
	100.0	50.2	37.5	12.3		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	281	153	99	29	
	100.0	54.4	35.2	10.3		

¹¹ 内閣府調査において、回答の比率 (%) は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、単一回答の設問の各選択肢の回答に関する数値の合計が 100.0%にならない。

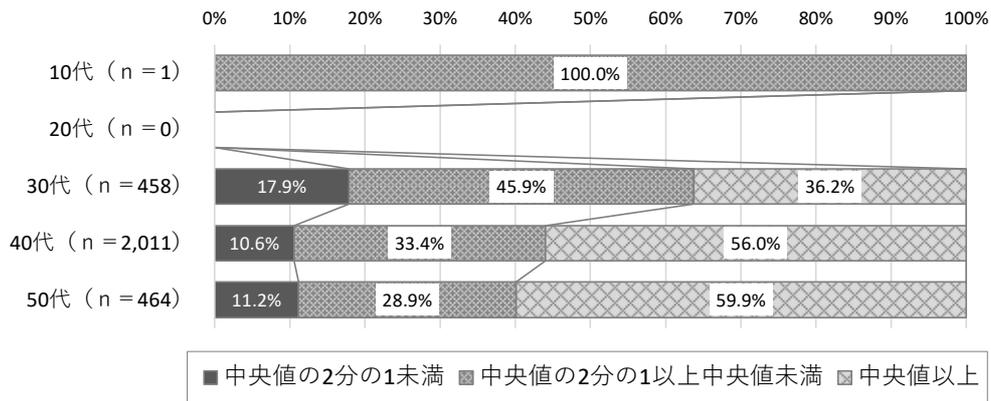


図 2-1-1-5 母親の年齢別、等価世帯収入の水準

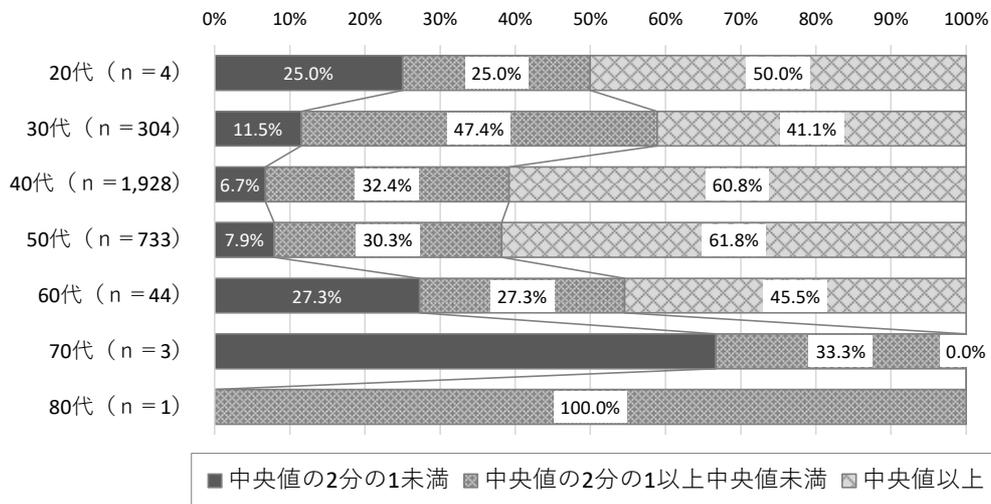


図 2-1-1-6 父親の年齢別、等価世帯収入の水準

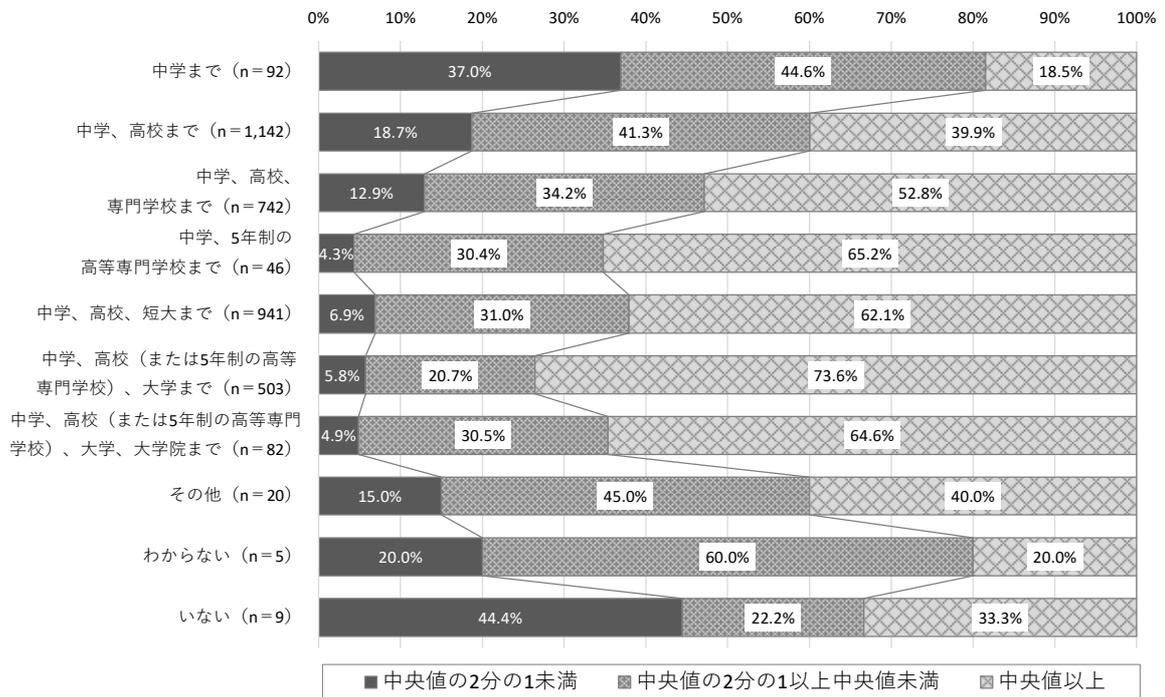


図 2-1-1-7 母親の学歴の状況別、等価世帯収入の水準

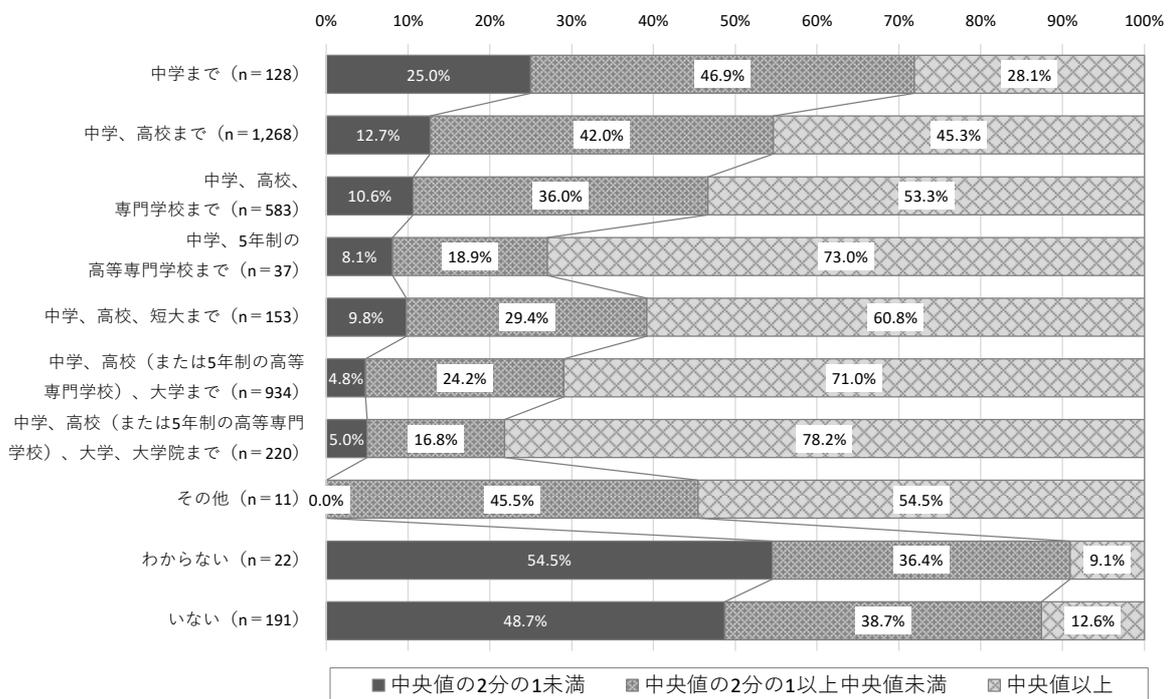


図 2-1-1-8 父親の学歴の状況別、等価世帯収入の水準

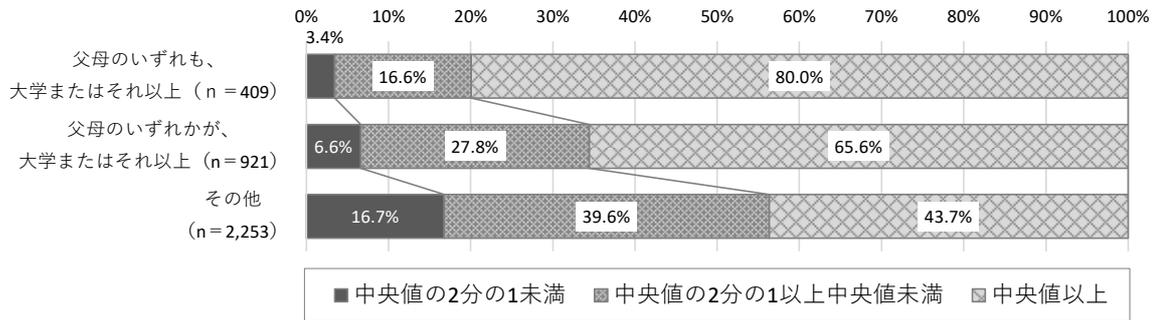


図 2-1-1-9 母親・父親の学歴の状況別、等価世帯収入の水準

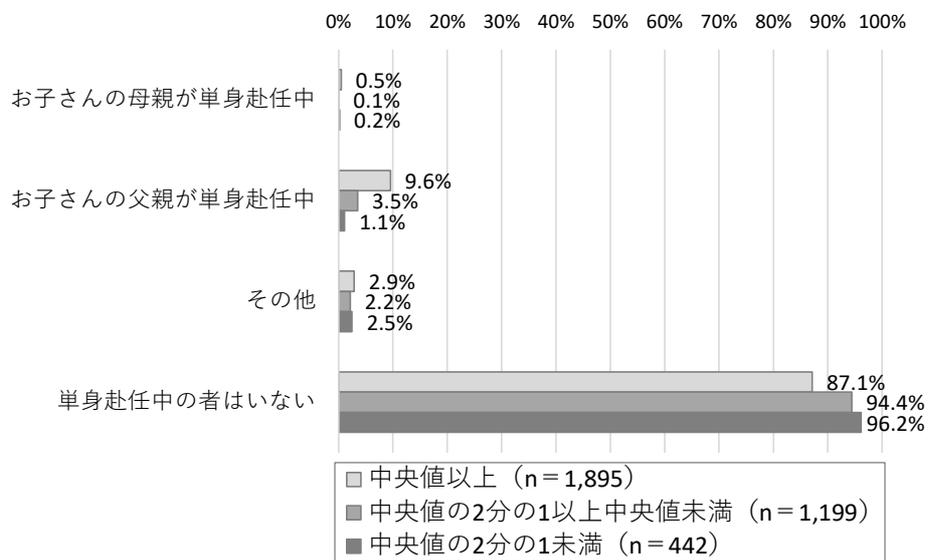


図 2-1-1-10 等価世帯収入の水準別、子どもの家族の単身赴任者の有無

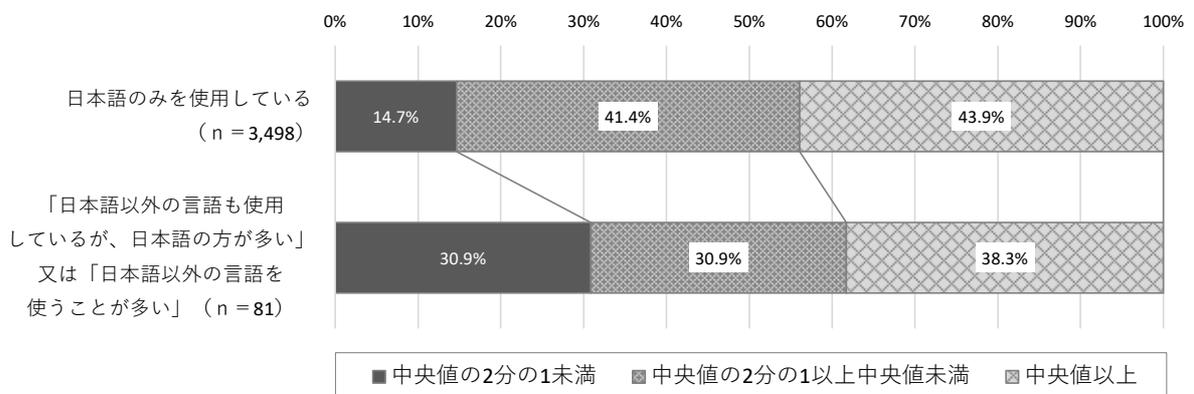


図 2-1-1-11 日本語以外の言語使用の状況別、等価世帯収入の水準別

(2) 暮らしの状況についての認識 (保護者票 問 27、SA)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」が1.2%、「ゆとりがある」が7.5%、「ふつう」が57.9%となっており、合わせた割合は66.6%となっている。一方で、「苦しい」は24.6%、「大変苦しい」は8.6%となっており、合わせた割合は33.2%となっている。

「苦しい」と「大変苦しい」の割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では19.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では45.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では61.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合については、「ふたり親世帯」では30.5%、「ひとり親世帯」では52.8%、うち「母子世帯」のみでは54.5%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、内閣府調査の全体で25.3%であり、今回調査(33.2%)が7.9ポイント高くなっている。

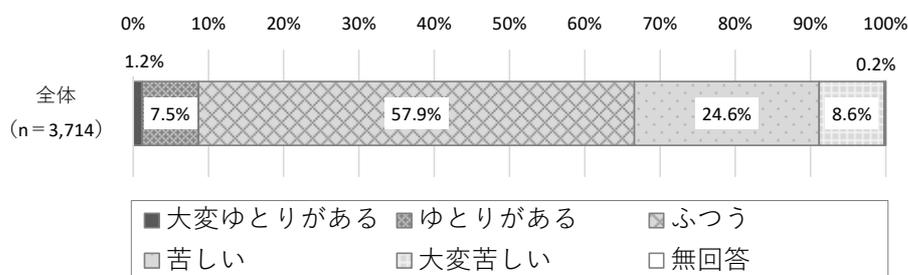


図 2-1-1-12 暮らしの状況についての認識

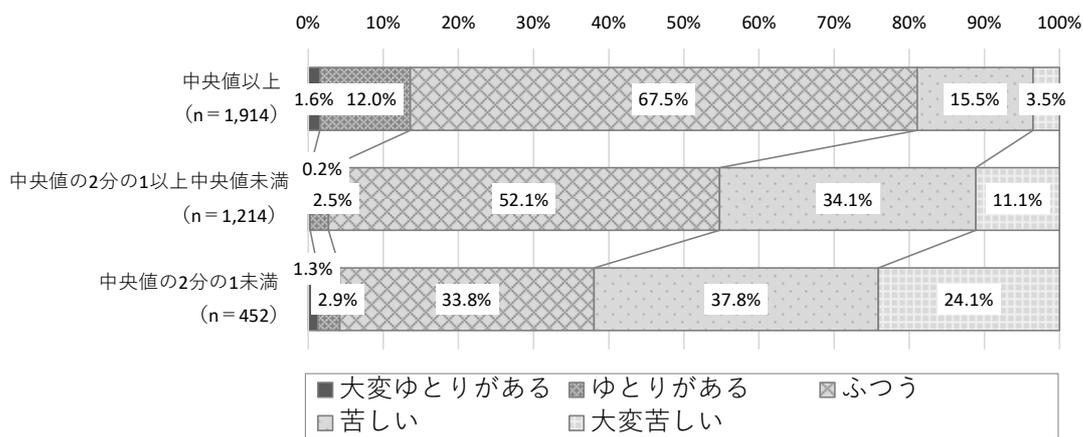


図 2-1-1-13 等価世帯収入の水準別、暮らしの状況についての認識

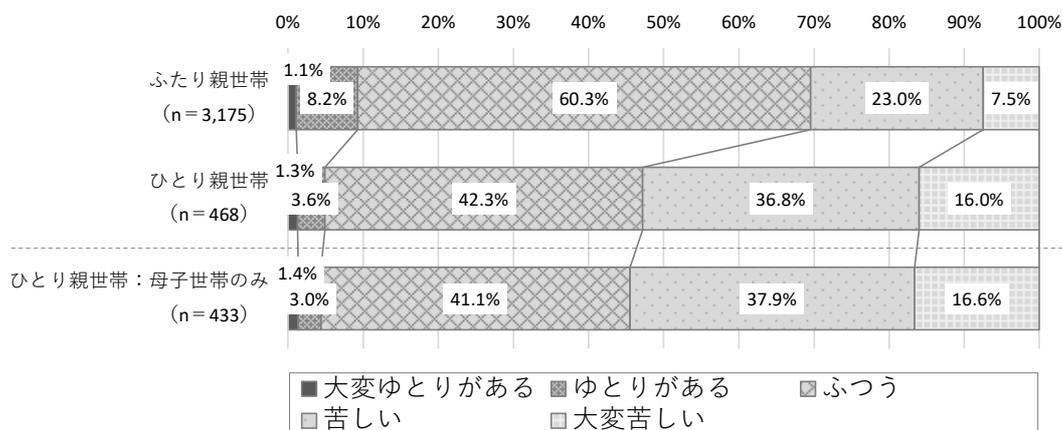


図 2-1-1-14 世帯の状況別、暮らしの状況についての認識

比較表 2-1-1-3 暮らしの状況についての認識

		サンプル数	大変ゆとりがある	ゆとりがある	ふつう	苦しい	大変苦しい	無回答
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714 100.0	43 1.2	279 7.5	2,151 57.9	913 24.6	321 8.6	7 0.2
内閣府調査	全体	2,715 100.0	42 1.5	380 14.0	1,587 58.5	536 19.7	152 5.6	18 0.7
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,914 100.0	30 1.6	230 12.0	1,291 67.5	296 15.5	67 3.5
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,214 100.0	3 0.2	30 2.5	632 52.1	414 34.1	135 11.1
		中央値の2分の1未満	452 100.0	6 1.3	13 2.9	153 33.8	171 37.8	109 24.1
	内閣府調査	中央値以上	1,312 100.0	36 2.7	327 24.9	831 63.3	96 7.3	22 1.7
		中央値の2分の1以上中央値未満	961 100.0	2 0.2	35 3.6	570 59.3	293 30.5	61 6.3
		中央値の2分の1未満	336 100.0	1 0.3	9 2.7	134 39.9	126 37.5	66 19.6
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,175 100.0	36 1.1	259 8.2	1,913 60.3	730 23.0	237 7.5
		ひとり親世帯	468 100.0	6 1.3	17 3.6	198 42.3	172 36.8	75 16.0
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433 100.0	6 1.4	13 3.0	178 41.1	164 37.9	72 16.6
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,346 100.0	41 1.7	360 15.3	1,440 61.4	410 17.5	95 4.0
		ひとり親世帯	334 100.0	0 0.0	19 5.7	142 42.5	121 36.2	52 15.6
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	289 100.0	0 0.0	18 6.2	117 40.5	109 37.7	45 15.6

(3) 食料が買えなかった経験（保護者票 問 29、SA）

過去1年間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が3.3%、「ときどきあった」が8.0%、「まれにあった」が12.8%となっており、合わせた割合は24.1%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では12.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では32.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では21.7%、「ひとり親世帯」では40.3%、うち「母子世帯」のみでは41.4%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、内閣府調査の全体で11.3%であり、今回調査（24.1%）が12.8ポイント高くなっている。前回調査は18.5%であり、今回調査が5.6ポイント高くなっている。

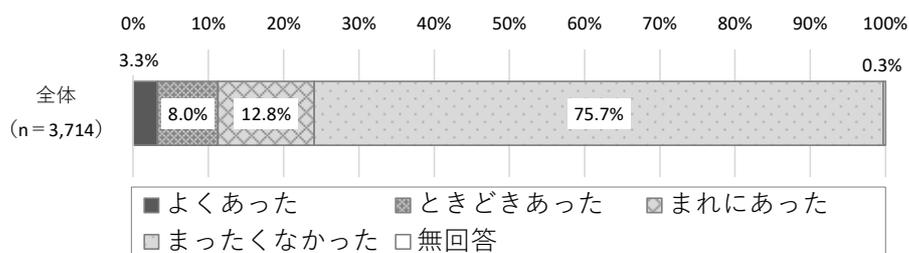


図 2-1-1-15 食料が買えなかった経験

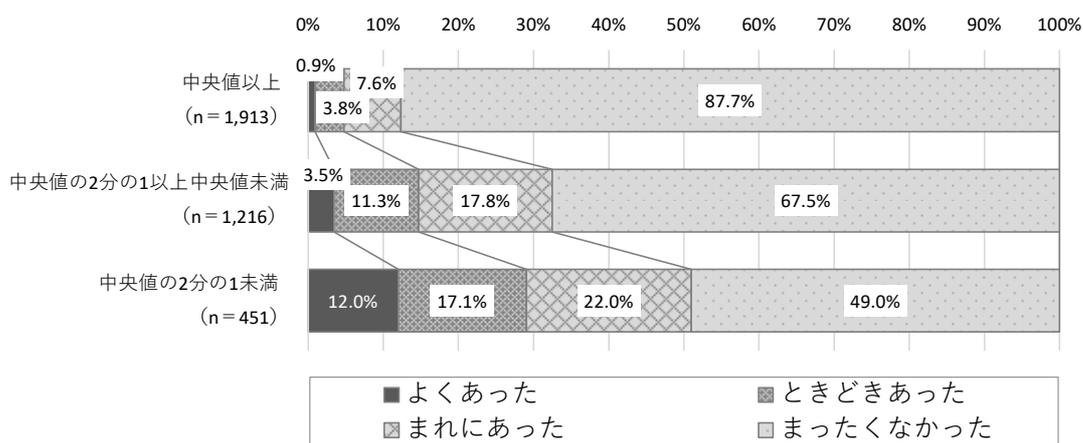


図 2-1-1-16 等価世帯収入の水準別、食料が買えなかった経験

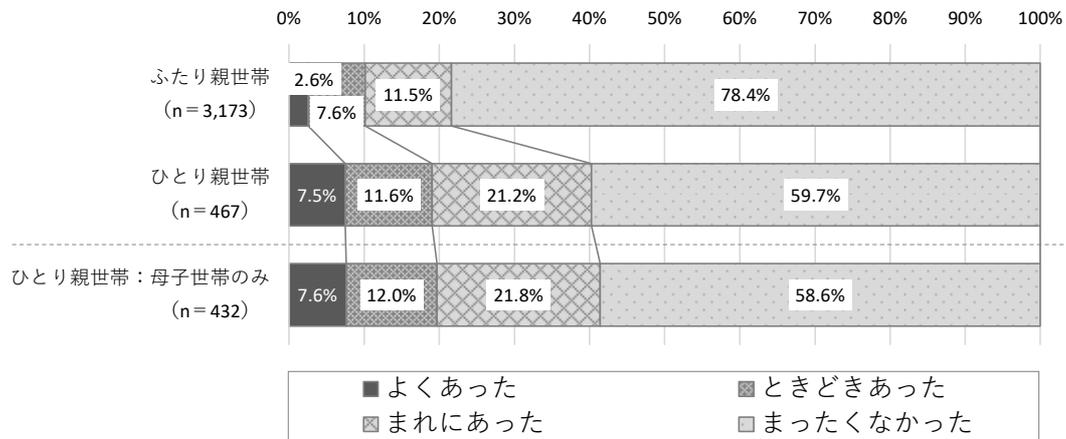


図 2-1-1-17 世帯の状況別、食料が買えなかった経験

比較表 2-1-1-4 食料が買えなかった経験

		サンプル数	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答		
上段：度数 下段：%									
今回調査	全体	3,714 100.0	121 3.3	298 8.0	474 12.8	2,811 75.7	10 0.3		
前回調査	全体	2,785 100.0	57 2.0	182 6.5	279 10.0	2,216 79.6	51 1.8		
内閣府調査	全体	2,715 100.0	46 1.7	74 2.7	186 6.9	2,385 87.8	24 0.9		
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,913 100.0	18 0.9	73 3.8	145 7.6	1,677 87.7		
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,216 100.0	42 3.5	137 11.3	216 17.8	821 67.5		
		中央値の2分の1未満	451 100.0	54 12.0	77 17.1	99 22.0	221 49.0		
	前回調査	中央値以上	1,187 100.0	3 0.3	31 2.6	55 4.6	1,098 92.5		
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,078 100.0	30 2.8	86 8.0	146 13.5	816 75.7		
		中央値の2分の1未満	355 100.0	22 6.2	55 15.5	73 20.6	205 57.7		
	内閣府調査	中央値以上	1,316 100.0	1 0.1	4 0.3	20 1.5	1,291 98.1		
		中央値の2分の1以上中央値未満	965 100.0	17 1.8	35 3.6	93 9.6	820 85.0		
		中央値の2分の1未満	337 100.0	28 8.3	34 10.1	65 19.3	210 62.3		
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,173 100.0	81 2.6	240 7.6	365 11.5	2,487 78.4	
			ひとり親世帯	467 100.0	35 7.5	54 11.6	99 21.2	279 59.7	
			ひとり親世帯：母子世帯のみ	432 100.0	33 7.6	52 12.0	94 21.8	253 58.6	
前回調査		ふたり親世帯	2,301 100.0	40 1.7	124 5.4	214 9.3	1,923 83.6		
		ひとり親世帯	415 100.0	16 3.9	56 13.5	64 15.4	279 67.2		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	342 100.0	15 4.4	52 15.2	52 15.2	223 65.2		
内閣府調査		ふたり親世帯	2,338 100.0	23 1.0	48 2.1	126 5.4	2,141 91.6		
		ひとり親世帯	336 100.0	22 6.5	25 7.4	55 16.4	234 69.6		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	290 100.0	19 6.6	23 7.9	51 17.6	197 67.9		

(4) 衣服が買えなかった経験（保護者票 問 30、SA）

過去1年間で必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が4.5%、「まれにあった」が8.2%、「ときどきあった」が14.6%となっており、合わせた割合は27.3%となっている。

「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では14.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では53.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では24.8%、「ひとり親世帯」では45.6%、うち「母子世帯」のみでは47.2%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、内閣府調査の全体で16.3%であり、今回調査（27.3%）が11ポイント高くなっている。また、前回調査は27.7%であり、今回調査と差はない。

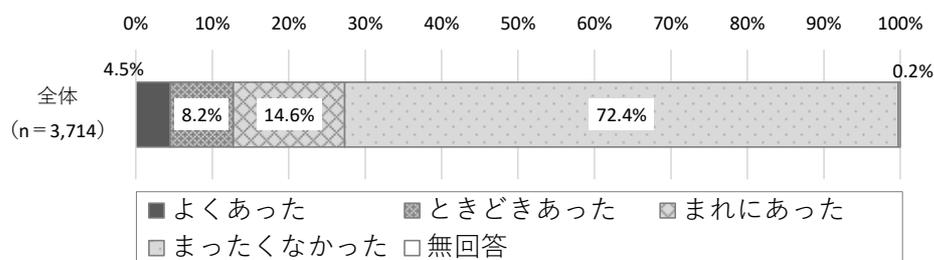


図 2-1-1-18 衣服が買えなかった経験

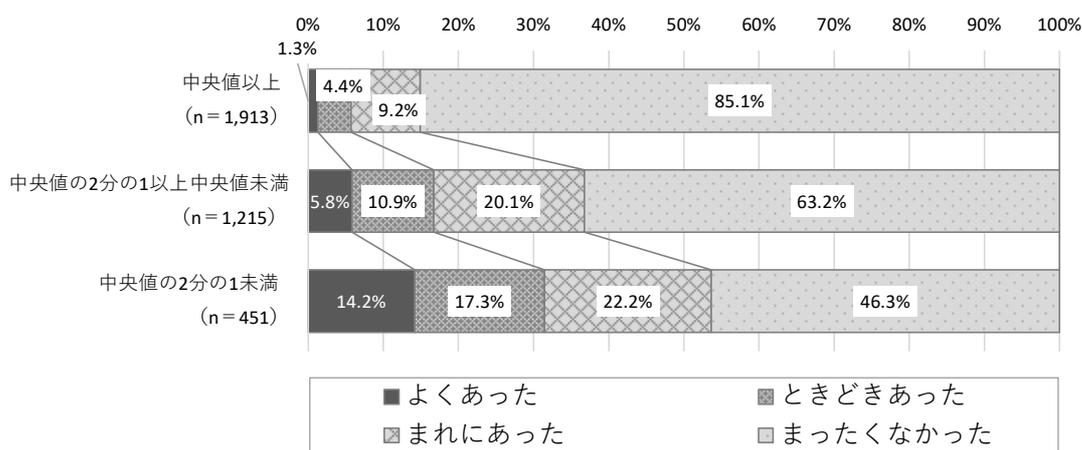


図 2-1-1-19 等価世帯収入の水準別、衣服が買えなかった経験

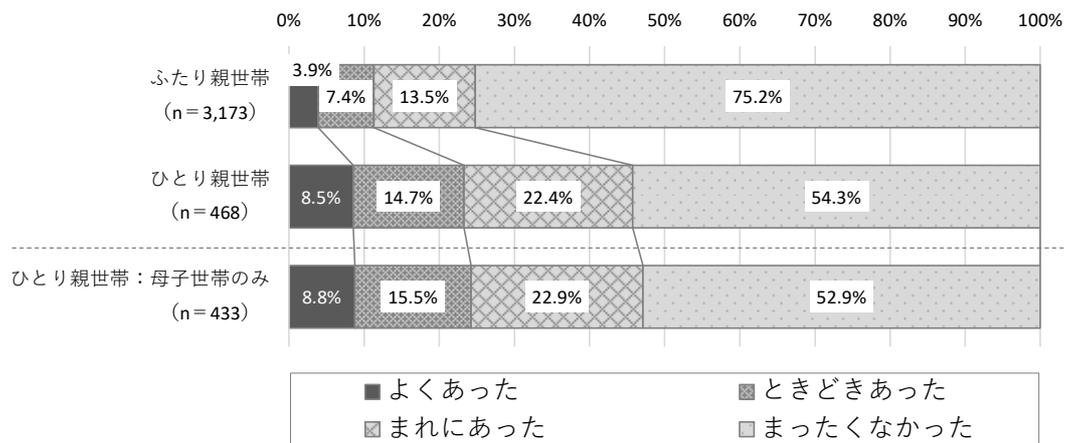


図 2-1-1-20 世帯の状況別、衣服が買えなかった経験

比較表 2-1-1-5 衣服が買えなかった経験

上段：度数		サンプル数	よくあった	ときどきあった	まれにあった	まったくなかった	無回答	
下段：%								
今回調査	全体	3,714	168	306	541	2,690	9	
		100.0	4.5	8.2	14.6	72.4	0.2	
	前回調査	全体	2,785	145	229	399	1,962	50
		100.0	5.2	8.2	14.3	70.4	1.8	
内閣府調査	全体	2,715	65	101	276	2,251	22	
		100.0	2.4	3.7	10.2	82.9	0.8	
	等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,913	25	84	176	1,628
			100.0	1.3	4.4	9.2	85.1	
中央値の2分の1以上中央値未満			1,215	71	132	244	768	
		100.0	5.8	10.9	20.1	63.2		
中央値の2分の1未満		451	64	78	100	209		
		100.0	14.2	17.3	22.2	46.3		
		前回調査	中央値以上	1,187	16	44	116	1,011
			100.0	1.3	3.7	9.8	85.2	
中央値の2分の1以上中央値未満			1,081	76	112	188	705	
		100.0	7.0	10.4	17.4	65.2		
中央値の2分の1未満		354	49	64	81	160		
		100.0	13.8	18.1	22.9	45.2		
	内閣府調査	中央値以上	1,317	5	9	41	1,262	
		100.0	0.4	0.7	3.1	95.8		
中央値の2分の1以上中央値未満		965	27	46	149	743		
	100.0	2.8	4.8	15.4	77.0			
中央値の2分の1未満	337	33	45	76	183			
	100.0	9.8	13.4	22.6	54.3			
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,173	124	234	428	2,387
			100.0	3.9	7.4	13.5	75.2	
ひとり親世帯			468	40	69	105	254	
		100.0	8.5	14.7	22.4	54.3		
ひとり親世帯：母子世帯のみ		433	38	67	99	229		
		100.0	8.8	15.5	22.9	52.9		
		前回調査	ふたり親世帯	2,303	100	169	313	1,721
			100.0	4.3	7.3	13.6	74.7	
ひとり親世帯			416	42	60	84	230	
		100.0	10.1	14.4	20.2	55.3		
ひとり親世帯：母子世帯のみ		343	40	53	66	184		
		100.0	11.7	15.5	19.2	53.6		
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,340	36	61	210	2,033	
		100.0	1.5	2.6	9.0	86.9		
ひとり親世帯		336	28	38	65	205		
	100.0	8.3	11.3	19.3	61.0			
ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	25	35	59	171			
	100.0	8.6	12.1	20.3	59.0			

(5) 公共料金における未払いの経験（保護者票 問 31、MA）

過去1年間に、「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、「あった」（該当）の割合は、それぞれ「電気料金」が6.1%、「ガス料金」が4.6%、「水道料金」が5.2%となっている。また、いずれか1つ以上該当する割合は8.5%となっている。

未払いの経験について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「電気料金」は17.4%、「ガス料金」は14.5%、「水道料金」は15.0%が「あった」（該当）と回答している。いずれか1つ以上該当する割合は、「中央値以上」の世帯では2.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では12.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では23.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「電気料金」は12.3%、「ガス料金」は11.4%、「水道料金」は10.5%が「あった」（該当）と回答している。いずれか1つ以上該当する割合は、「ふたり親世帯」では7.2%、「ひとり親世帯」では17.0%、うち「母子世帯」のみでは17.7%となっている。

いずれか1つ以上に該当する割合について、内閣府調査の全体（5.7%）と比較すると、今回調査（8.5%）の割合が2.8ポイント高くなっている。

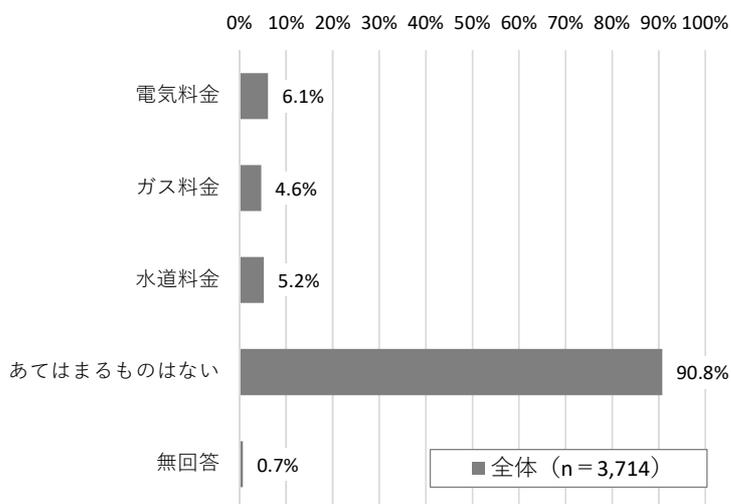


図 2-1-1-21 公共料金における未払いの経験

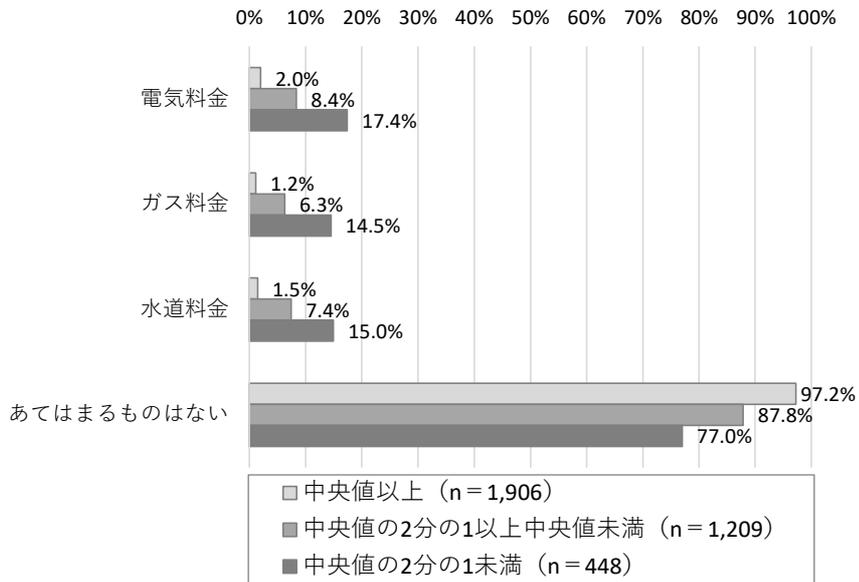


図 2-1-1-22 等価世帯収入の水準別、公共料金における未払いの経験

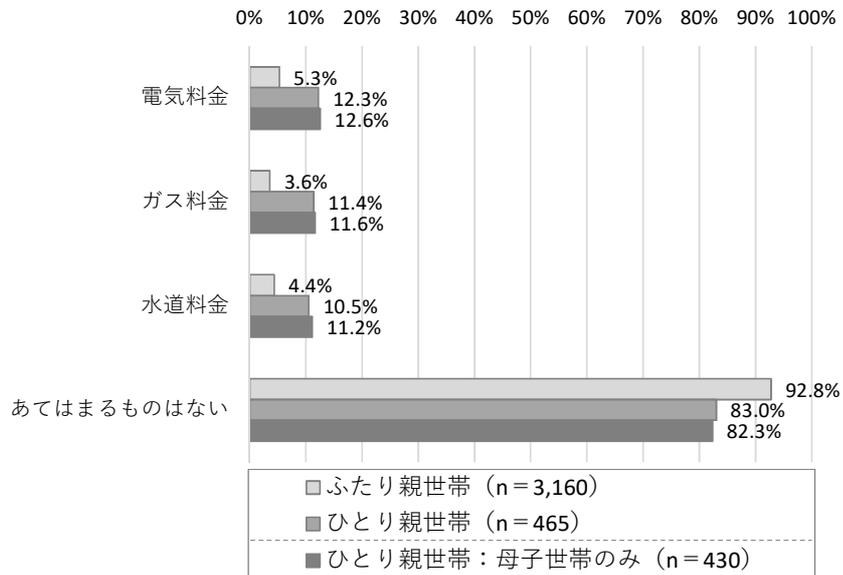


図 2-1-1-23 世帯の状況別、公共料金における未払いの経験

比較表 2-1-1-6 公共料金における未払いの経験

		サ ン プ ル 数	電 気 料 金	ガ ス 料 金	水 道 料 金	あ て は ま る も の は な い	無 回 答	い ず れ か に 該 当	
上段：度数									
下段：%									
今回調査	全体	3,714	227	172	193	3,372	25	317	
		-	6.1	4.6	5.2	90.8	0.7	8.5	
内閣府調査	全体	2,715	103	94	100	2,559	-	156	
		-	3.8	3.5	3.7	94.3	-	5.7	
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,906	38	22	28	1,853		53
			-	2.0	1.2	1.5	97.2		2.8
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,209	101	76	90	1,062		147
		-	8.4	6.3	7.4	87.8		12.2	
		中央値の2分の1未満	448	78	65	67	345		103
		-	17.4	14.5	15.0	77.0		23.0	
	内 閣 府 調 査	中央値以上	1,318	9	5	10	1,306		12
			-	0.7	0.4	0.8	99.1		0.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	967	42	38	44	898		69
	-	4.3	3.9	4.6	92.9		7.1		
	中央値の2分の1未満	338	49	48	42	268		70	
	-	14.5	14.2	12.4	79.3		20.7		
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	3,160	167	114	138	2,931		229
			-	5.3	3.6	4.4	92.8		7.2
		ひとり親世帯	465	57	53	49	386		79
		-	12.3	11.4	10.5	83.0		17.0	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	430	54	50	48	354		76
		-	12.6	11.6	11.2	82.3		17.7	
	内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	2,358	64	52	72	2,257		101
			-	2.7	2.2	3.1	95.7		4.3
		ひとり親世帯	340	39	42	28	285		55
	-	11.5	12.4	8.2	83.8		16.2		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	293	34	38	24	245		48	
	-	11.6	13.0	8.2	83.6		16.4		

(6) 養育費の取り決めの有無（保護者票 問6、SA：該当者のみ）

婚姻の状況について「離婚」と回答した方に関し、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて尋ねた。取り決めの状況について、「取り決めをしており、受け取っている」が32.0%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」が4.7%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が19.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が43.6%となっている。「受け取っていない」の回答は、合わせて63.1%となっている。

母子世帯のみで集計すると「取り決めをしているが、受け取っていない」が18.8%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が42.2%となっており、合わせた割合は61.0%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「受け取っていない」の回答は合わせて66.1%であり、今回調査（63.1%）と大きな違いは見られない。

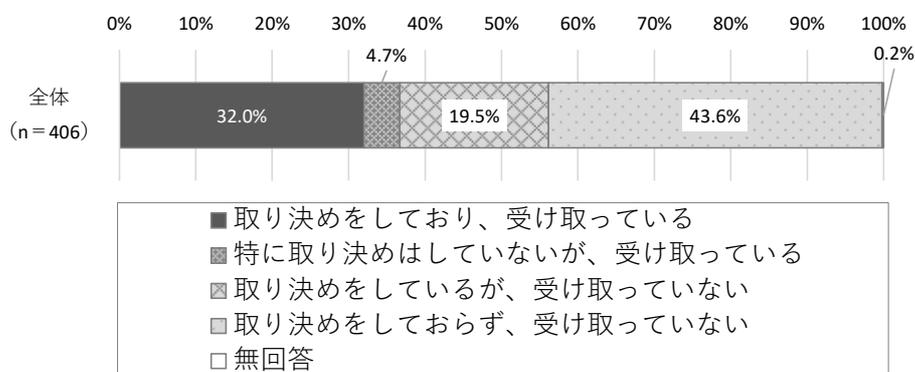


図 2-1-1-24 養育費の取り決めの有無

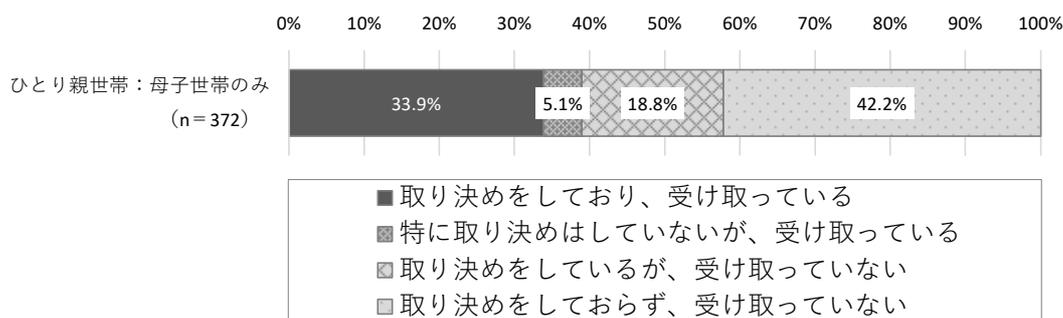


図 2-1-1-25 母子世帯、養育費の取り決めの有無

比較表 2-1-1-7 養育費の取り決めの有無

			サ ン プ ル 数	し て 取 っ て い る	取 り 決 め を 受 け	特 に 取 り 決 め は し て い な い が、 受 け 取 っ て い る	し て 取 っ て い な い	取 り 決 め を 受 け	し て 取 っ て い な い	取 り 決 め を 受 け	無 回 答
上段：度数											
下段：%											
今回調査	全体		406	130	19	79	177	1			
			100.0	32.0	4.7	19.5	43.6	0.2			
内閣府調査	全体		283	83	12	50	137	1			
			100.0	29.3	4.2	17.7	48.4	0.4			
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	48	17	1	11	19				
			100.0	35.4	2.1	22.9	39.6				
		中央値の2分の1以上中央値未満	165	53	8	32	72				
		100.0	32.1	4.8	19.4	43.6					
		中央値の2分の1未満	169	55	8	30	76				
		100.0	32.5	4.7	17.8	45.0					
内 閣 府 調 査	中央値以上	33	13	1	7	12					
		100.0	39.4	3.0	21.2	36.4					
	中央値の2分の1以上中央値未満	103	32	4	18	49					
	100.0	31.1	3.9	17.5	47.6						
	中央値の2分の1未満	135	35	6	23	71					
	100.0	25.9	4.4	17.0	52.6						
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	0	0	0	0	0				
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
		ひとり親世帯	401	129	19	79	174				
		100.0	32.2	4.7	19.7	43.4					
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	372	126	19	70	157				
		100.0	33.9	5.1	18.8	42.2					
内 閣 府 調 査	ふたり親世帯	0	0	0	0	0					
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	ひとり親世帯	282	83	12	50	137					
	100.0	29.4	4.3	17.7	48.6						
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	247	81	12	43	111					
	100.0	32.8	4.9	17.4	44.9						

(7) 子どもの学習意欲に応えられなかった経験の有無（保護者票 問 23、SA、県独自）

経済的な理由により、子どもの学習意欲に応えられなかった経験の有無については、「ある」が32.8%、「ない」が66.9%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「ある」と回答した割合が、「中央値以上」の世帯では22.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では42.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では54.4%となっている。

世帯の状況別でみると、「ある」と回答した割合が、「ふたり親世帯」では30.7%、「ひとり親世帯」では48.3%、うち「母子世帯」のみでは49.7%となっている。

今回調査と前回調査の結果に大きな変化は見られない。

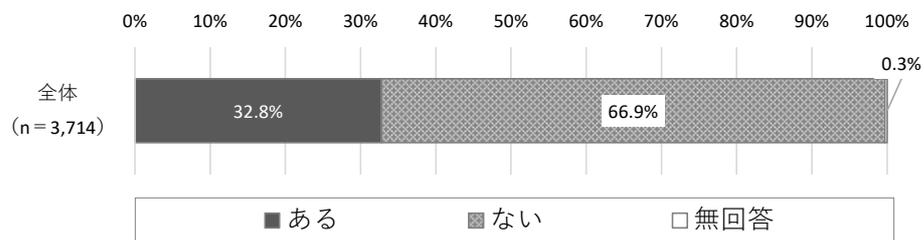


図 2-1-1-26 子どもの学習意欲に応えられなかった経験

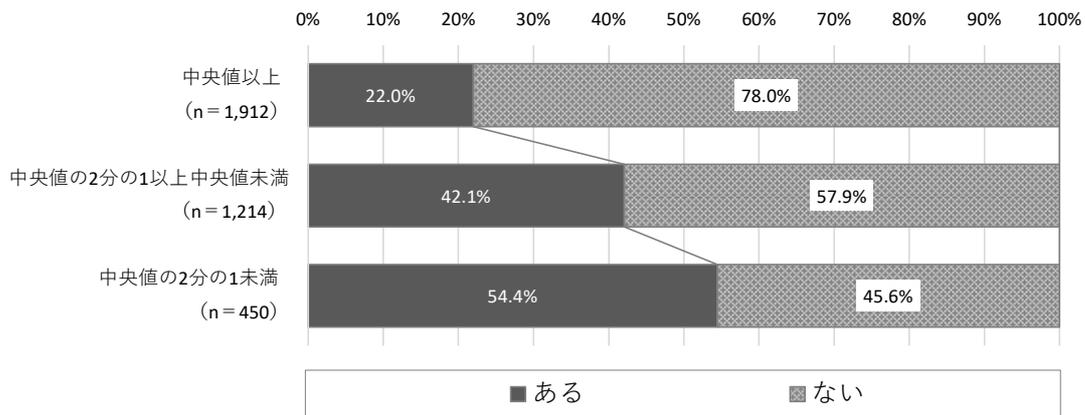


図 2-1-1-27 等価世帯収入の水準別、子どもの学習意欲に応えられなかった経験

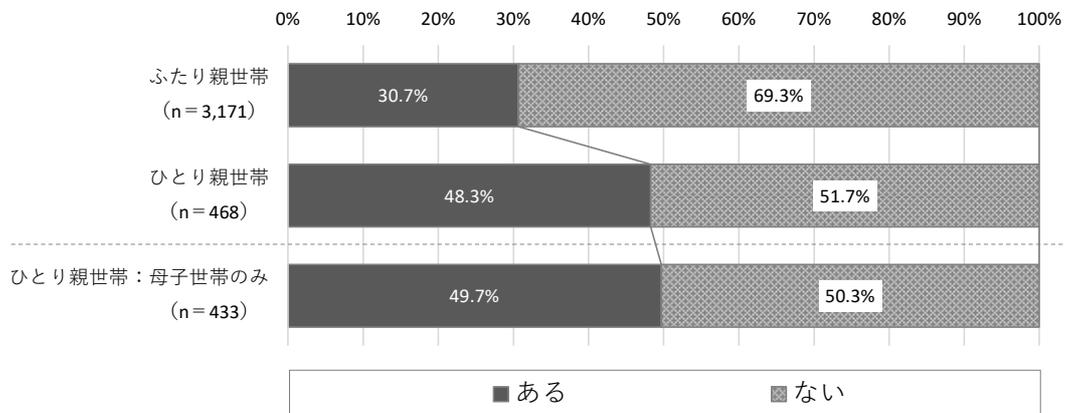


図 2-1-1-28 世帯の状況別、子どもの学習意欲に応えられなかった経験

比較表 2-1-1-8 子どもの学習意欲に応えられなかった経験

			サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%						
今回調査	全体		3,714 100.0	1,218 32.8	2,484 66.9	12 0.3
前回調査	全体		2,785 100.0	949 34.1	1,801 64.7	35 1.3
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,912 100.0	420 22.0	1,492 78.0	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,214 100.0	511 42.1	703 57.9	
		中央値の2分の1未満	450 100.0	245 54.4	205 45.6	
	前 回 調 査	中央値以上	1,191 100.0	246 20.7	945 79.3	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,086 100.0	472 43.5	614 56.5	
		中央値の2分の1未満	353 100.0	195 55.2	158 44.8	
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	3,171 100.0	972 30.7	2,199 69.3	
		ひとり親世帯	468 100.0	226 48.3	242 51.7	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433 100.0	215 49.7	218 50.3	
	前 回 調 査	ふたり親世帯	2,314 100.0	746 32.2	1,568 67.8	
		ひとり親世帯	418 100.0	198 47.4	220 52.6	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	345 100.0	171 49.6	174 50.4	
父 親 の 就 労 形 態 別	今 回 調 査	正規雇用	2,773 100.0	851 30.7	1,922 69.3	
		非正規雇用	78 100.0	31 39.7	47 60.3	
		自営業	460 100.0	134 29.1	326 70.9	
		無職・その他	352 100.0	187 53.1	165 46.9	
	前 回 調 査	正規雇用	1,845 100.0	571 30.9	1,274 69.1	
		非正規雇用	92 100.0	54 58.7	38 41.3	
		自営業	369 100.0	109 29.5	260 70.5	
		無職・その他	38 100.0	19 50.0	19 50.0	
母 親 の 就 労 形 態 別	今 回 調 査	正規雇用	1,281 100.0	409 31.9	872 68.1	
		非正規雇用	1,715 100.0	608 35.5	1,107 64.5	
		自営業	314 100.0	78 24.8	236 75.2	
		無職・その他	389 100.0	122 31.4	267 68.6	
	前 回 調 査	正規雇用	618 100.0	154 24.9	464 75.1	
		非正規雇用	1,228 100.0	510 41.5	718 58.5	
		自営業	191 100.0	52 27.2	139 72.8	
		無職・その他	563 100.0	177 31.4	386 68.6	

(8) 子どもの進路に不安を抱いた経験の有無（保護者票 問 24、SA、県独自）

経済的な理由により、子どもの進路選択の幅が狭くなるなど、子どもの進路に不安を抱いた経験の有無については、「ある」が57.5%、「ない」が42.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「ある」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では47.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では67.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では75.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「ある」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では55.5%、「ひとり親世帯」では72.0%となっている。

今回調査と前回調査の結果に大きな変化は見られない。

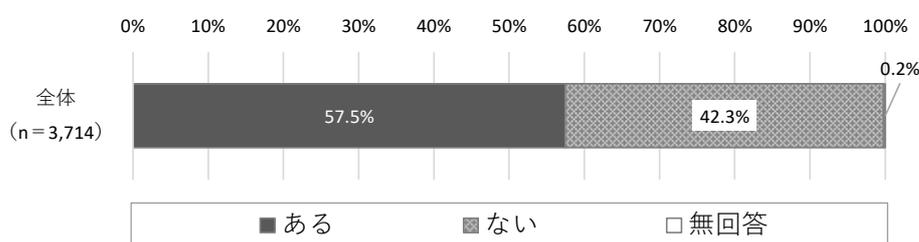


図 2-1-1-29 子どもの進路に不安をいだいた経験の有無

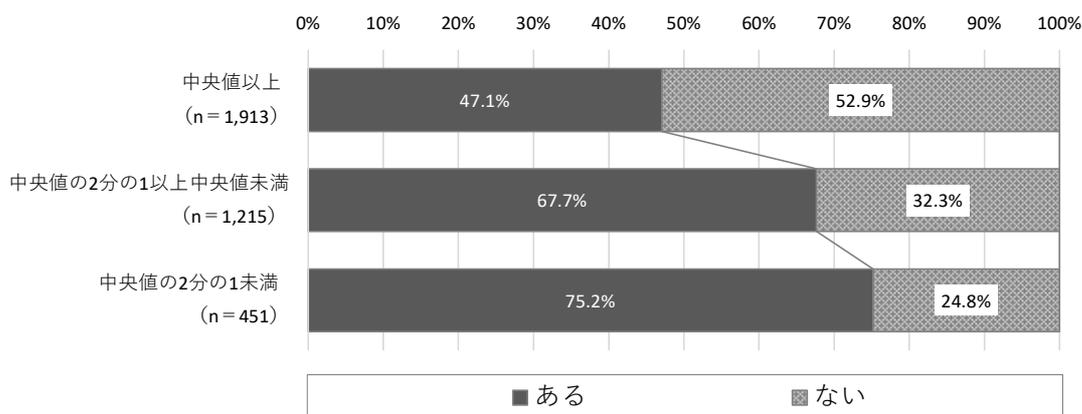


図 2-1-1-30 等価世帯収入の水準別、子どもの進路に不安をいだいた経験の有無

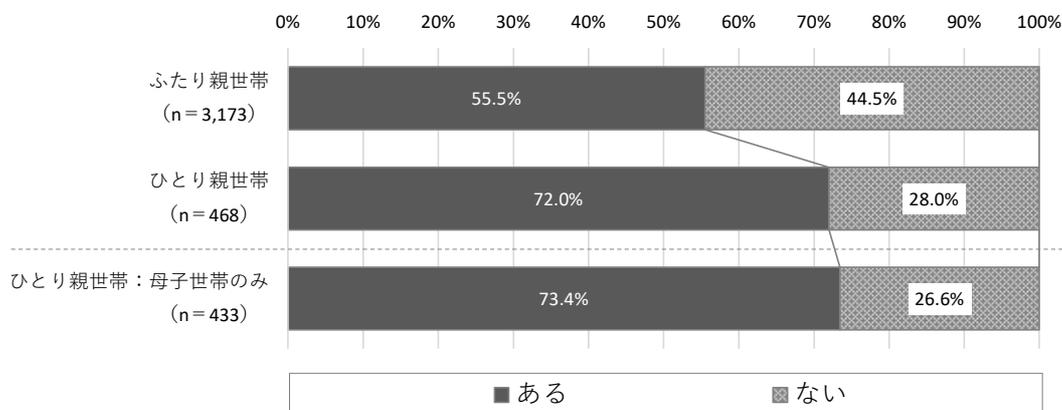


図 2-1-1-31 世帯の状況別、子どもの進路に不安をいだいた経験の有無

比較表 2-1-1-9 子どもの進路に不安をいだいた経験の有無

			サ ン プ ル 数	あ る	な い	無 回 答
上段：度数 下段：%						
今回調査	全体		3,714 100.0	2,135 57.5	1,571 42.3	8 0.2
前回調査	全体		2,785 100.0	1,553 55.8	1,188 42.7	44 1.6
等 価 世 帯 収 入 の 水 準 別	今 回 調 査	中央値以上	1,913 100.0	901 47.1	1,012 52.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,215 100.0	822 67.7	393 32.3	
		中央値の2分の1未満	451 100.0	339 75.2	112 24.8	
	前 回 調 査	中央値以上	1,187 100.0	506 42.6	681 57.4	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,083 100.0	722 66.7	361 33.3	
		中央値の2分の1未満	351 100.0	260 74.1	91 25.9	
世 帯 の 状 況 別	今 回 調 査	ふたり親世帯	3,173 100.0	1,761 55.5	1,412 44.5	
		ひとり親世帯	468 100.0	337 72.0	131 28.0	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433 100.0	318 73.4	115 26.6	
	前 回 調 査	ふたり親世帯	2,306 100.0	1,243 53.9	1,063 46.1	
		ひとり親世帯	417 100.0	304 72.9	113 27.1	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	344 100.0	263 76.5	81 23.5	
父 親 の 就 労 形 態 別	今 回 調 査	正規雇用	2,776 100.0	1,526 55.0	1,250 45.0	
		非正規雇用	78 100.0	47 60.3	31 39.7	
		自営業	460 100.0	269 58.5	191 41.5	
		無職・その他	353 100.0	267 75.6	86 24.4	
	前 回 調 査	正規雇用	1,837 100.0	969 52.7	868 47.3	
		非正規雇用	91 100.0	74 81.3	17 18.7	
		自営業	369 100.0	186 50.4	183 49.6	
		無職・その他	39 100.0	25 64.1	14 35.9	
母 親 の 就 労 形 態 別	今 回 調 査	正規雇用	1,282 100.0	701 54.7	581 45.3	
		非正規雇用	1,716 100.0	1,073 62.5	643 37.5	
		自営業	315 100.0	165 52.4	150 47.6	
		無職・その他	390 100.0	194 49.7	196 50.3	
	前 回 調 査	正規雇用	621 100.0	311 50.1	310 49.9	
		非正規雇用	1,225 100.0	780 63.7	445 36.3	
		自営業	189 100.0	86 45.5	103 54.5	
		無職・その他	557 100.0	294 52.8	263 47.2	

(9) 教育関連の支出について負担に感じるもの（保護者票 問 25、MA、県独自）

教育関連の支出について、負担に感じるものについては、「学校外教育費（塾・習い事等の費用）」が55.7%と最も割合が高く、次いで「修学旅行費」が35.4%、「教材費」が28.8%となっている。「その他」は「制服、体操服」や「交通費（ガソリン代）」等であった。一方で、「負担に感じるものはない」は19.1%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「修学旅行費」が52.7%、「教材費」が46.2%、「学用品費」が45.1%、「部活動費」が37.6%、「給食費」が33.8%と、他の世帯に比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「修学旅行費」が42.8%、「教材費」が39.6%、「学用品費」が37.7%、「部活動費」が34.0%、「給食費」が29.6%と、「ふたり親世帯」に比べて高くなっている。

今回調査と前回調査を比較すると、今回調査は前回調査¹²よりも「放課後児童クラブ保護者負担金」を除く、すべての項目で「負担に感じる」と回答している割合が高くなっている。

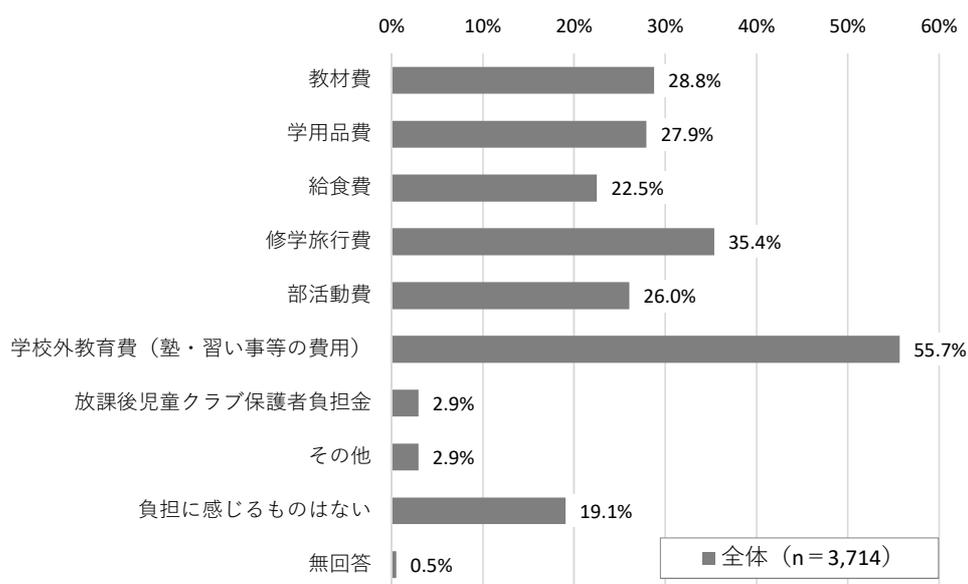


図 2-1-1-32 教育関連の支出に負担を感じるもの

¹² 前回調査は、調査対象に公立小学校の1年生及び5年生の保護者が含まれているため、「放課後児童クラブ保護者負担金」の負担感が上がったものと考えられる。

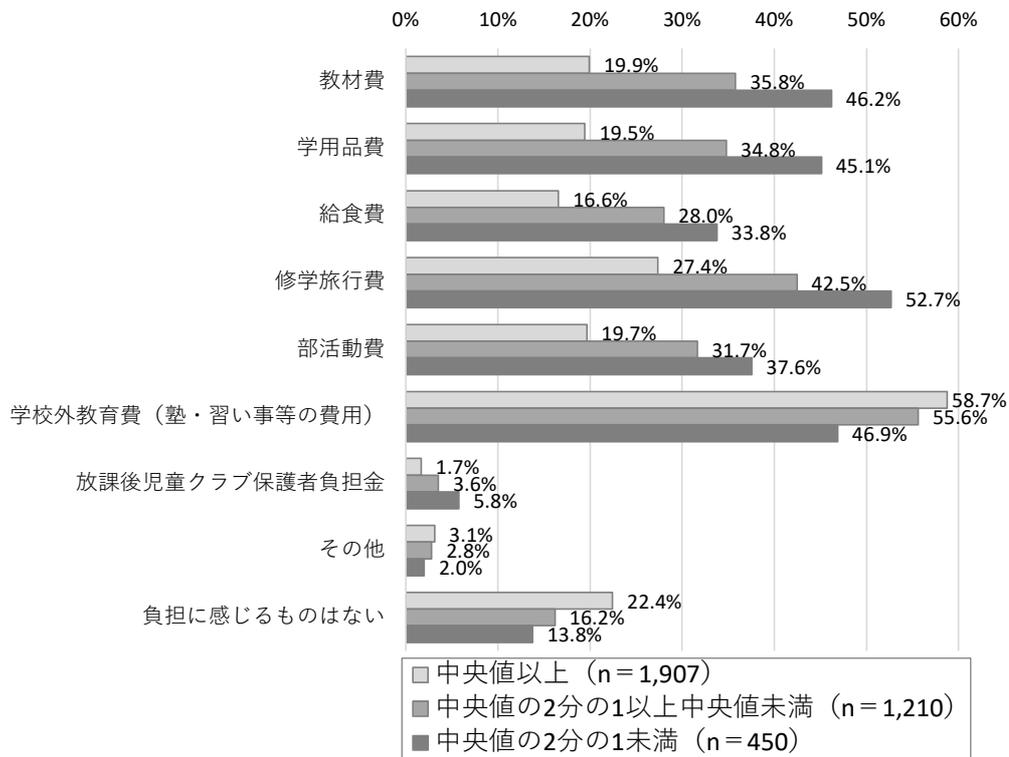


図 2-1-1-33 等価世帯収入の水準別、教育関連の支出に負担を感じるもの

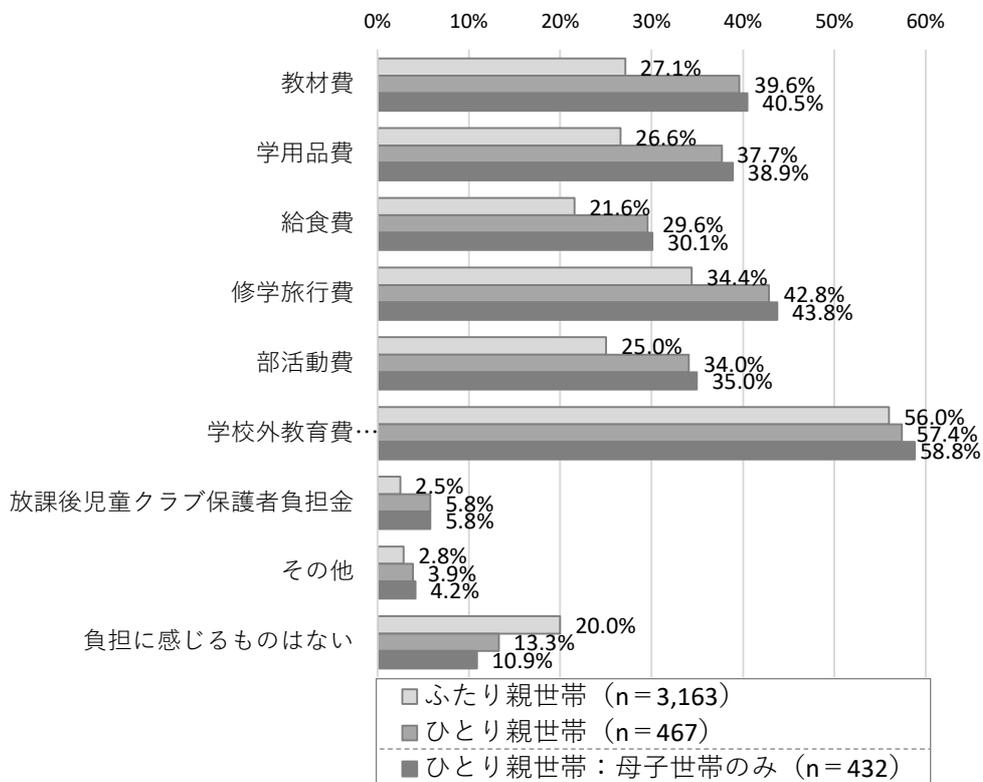


図 2-1-1-34 世帯の状況別、教育関連の支出に負担を感じるもの

比較表 2-1-1-10 教育関連の支出に負担を感じるもの

		サンプル数	教材費	学用品費	給食費	修学旅行費	部活動費	(塾・学校外教育費の費用)	放課後児童クラブ保護者負担金	その他	負担に感じないもの	無回答	
上段：度数 下段：%													
今回調査	全体	3,714	1,069	1,038	836	1,313	967	2,068	109	109	708	19	
		-	28.8	27.9	22.5	35.4	26.0	55.7	2.9	2.9	19.1	0.5	
前回調査	全体	2,785	532	590	470	685	446	1,407	215	102	635		
		-	19.1	21.2	16.9	24.6	16.0	50.5	7.7	3.7	22.8		
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,907	380	371	316	522	375	1,120	32	60	428	
			-	19.9	19.5	16.6	27.4	19.7	58.7	1.7	3.1	22.4	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,210	433	421	339	514	383	673	43	34	196	
		-	35.8	34.8	28.0	42.5	31.7	55.6	3.6	2.8	16.2		
	前回調査	中央値の2分の1未満	450	208	203	152	237	169	211	26	9	62	
			-	46.2	45.1	33.8	52.7	37.6	46.9	5.8	2.0	13.8	
中央値以上		1,199	145	138	119	179	139	621	81	32	355		
	-	12.1	11.5	9.9	14.9	11.6	51.8	6.8	2.7	29.6			
前回調査	中央値の2分の1以上中央値未満	1,102	256	296	230	331	207	578	92	47	201		
		-	23.2	26.9	20.9	30.0	18.8	52.5	8.3	4.3	18.2		
	中央値の2分の1未満	359	114	133	107	150	81	157	31	17	43		
	-	31.8	37.0	29.8	41.8	22.6	43.7	8.6	4.7	12.0			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,163	858	841	682	1,088	792	1,771	79	90	632	
			-	27.1	26.6	21.6	34.4	25.0	56.0	2.5	2.8	20.0	
		ひとり親世帯	467	185	176	138	200	159	268	27	18	62	
			-	39.6	37.7	29.6	42.8	34.0	57.4	5.8	3.9	13.3	
	前回調査	ひとり親世帯：母子世帯のみ	432	175	168	130	189	151	254	25	18	47	
			-	40.5	38.9	30.1	43.8	35.0	58.8	5.8	4.2	10.9	
		ふたり親世帯	2,340	401	465	343	526	350	1,201	178	88	569	
			-	17.1	19.9	14.7	22.5	15.0	51.3	7.6	3.8	24.3	
前回調査	ひとり親世帯	425	126	121	122	157	94	201	37	14	60		
		-	29.6	28.5	28.7	36.9	22.1	47.3	8.7	3.3	14.1		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	350	105	111	104	134	79	176	34	14	43		
		-	30.0	31.7	29.7	38.3	22.6	50.3	9.7	4.0	12.3		
父親の就労形態別	今回調査	正規雇用	2,771	754	718	602	948	681	1,577	72	79	550	
			-	27.2	25.9	21.7	34.2	24.6	56.9	2.6	2.9	19.8	
		非正規雇用	76	31	34	22	41	22	36	1	3	11	
			-	40.8	44.7	28.9	53.9	28.9	47.4	1.3	3.9	14.5	
	前回調査	自営業	456	120	127	91	156	121	241	17	13	96	
			-	26.3	27.9	20.0	34.2	26.5	52.9	3.7	2.9	21.1	
		無職・その他	351	147	140	108	151	130	193	17	14	47	
			-	41.9	39.9	30.8	43.0	37.0	55.0	4.8	4.0	13.4	
前回調査	正規雇用	1,863	322	353	268	416	263	981	142	69	451		
		-	17.3	18.9	14.4	22.3	14.1	52.7	7.6	3.7	24.2		
	非正規雇用	93	28	26	17	42	33	39	9	6	11		
		-	30.1	28.0	18.3	45.2	35.5	41.9	9.7	6.5	11.8		
前回調査	自営業	375	48	62	54	81	53	175	28	12	105		
		-	12.8	16.5	14.4	21.6	14.1	46.7	7.5	3.2	28.0		
	無職・その他	39	14	13	9	11	9	14	1	1	9		
		-	35.9	33.3	23.1	28.2	23.1	35.9	2.6	2.6	23.1		
母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,279	352	325	283	425	319	712	35	40	259	
			-	27.5	25.4	22.1	33.2	24.9	55.7	2.7	3.1	20.3	
		非正規雇用	1,710	521	510	417	646	466	1,005	53	47	282	
			-	30.5	29.8	24.4	37.8	27.3	58.8	3.1	2.7	16.5	
	前回調査	自営業	314	82	87	58	103	83	155	8	8	75	
			-	26.1	27.7	18.5	32.8	26.4	49.4	2.5	2.5	23.9	
		無職・その他	388	113	116	77	139	99	195	13	13	92	
			-	29.1	29.9	19.8	35.8	25.5	50.3	3.4	3.4	23.7	
前回調査	正規雇用	625	121	114	103	135	94	301	66	23	157		
		-	19.4	18.2	16.5	21.6	15.0	48.2	10.6	3.7	25.1		
	非正規雇用	1,241	249	313	218	350	232	655	103	51	233		
		-	20.1	25.2	17.6	28.2	18.7	52.8	8.3	4.1	18.8		
前回調査	自営業	192	28	26	23	40	33	92	10	10	60		
		-	14.6	13.5	12.0	20.8	17.2	47.9	5.2	5.2	31.3		
	無職・その他	568	94	102	90	127	63	300	27	16	147		
		-	16.5	18.0	15.8	22.4	11.1	52.8	4.8	2.8	25.9		

(10) 生活満足度（保護者票 問 33、SA）

最近の生活の満足度については、「0. まったく満足していない」から「10. 十分に満足している」の11段階で回答を得たものを、「0～2」を「まったく満足していない」、「3～4」を「満足していない」、「5」を「ふつう」、「6～7」を「満足している」、「8～10」を「とても満足している」として、5つの分類に再分類して集計した。

「0～2」に該当する割合が5.3%、「3～4」に該当する割合が13.9%、「5」に該当する割合が17.3%、「6～7」に該当する割合が29.5%、「8～10」に該当する割合が33.1%となっている。満足度の高い方の回答（6～10）割合は62.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「6～10」に該当する割合は41.2%で「中央値以上」の世帯（74.2%）と比べて33ポイント低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は49.5%で、「ふたり親世帯」（65.5%）と比べて生活満足度が16ポイント低くなっている。

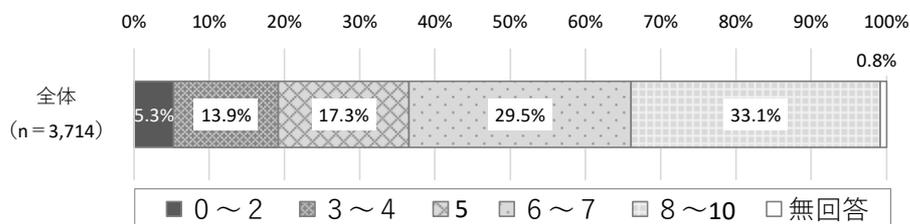


図 2-1-1-35 生活満足度（保護者）

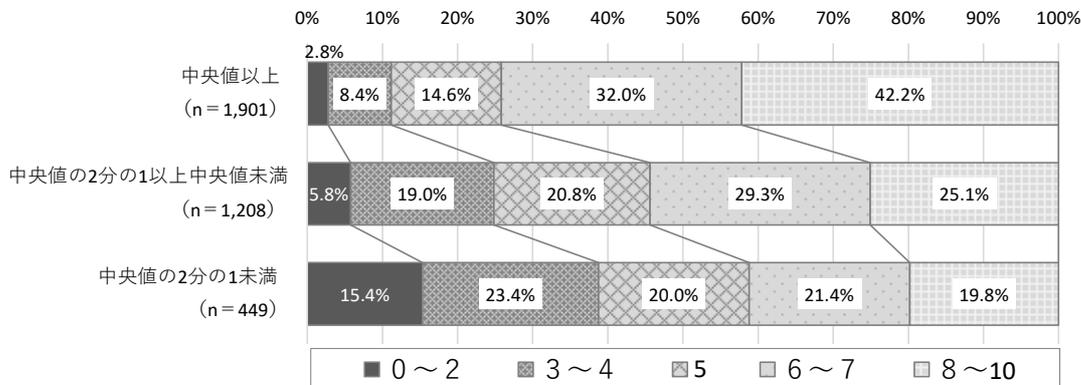


図 2-1-1-36 等価世帯収入の水準別、生活満足度（保護者）

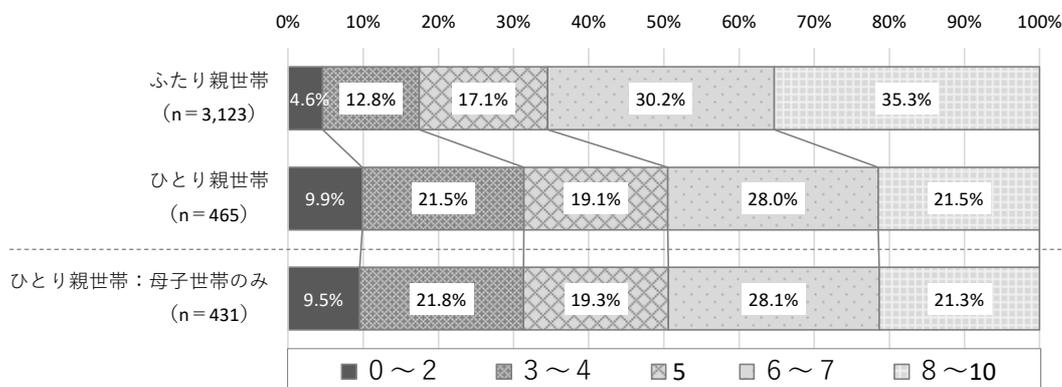


図 2-1-1-37 世帯の状況別、生活満足度（保護者）

2. 1. 2. 就労の状況

(1) 母親・父親の就労状況（保護者票 問9、SA）

「母親」の就労状況については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が40.9%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が34.5%、「働いていない（専業主婦を含む。）」が9.5%となっている。

「父親」の就労状況については、「正社員・正規職員・会社役員」が74.8%、次いで「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が12.4%となっている。

「母親」の就労状況について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.5%と、「中央値以上」の世帯（38.9%）と比べて4.6ポイント高く、「正社員・正規職員・会社役員」は24.4%と、「中央値以上」の世帯（39.7%）と比べて15.3ポイント低くなっている。

「父親」については、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」が39.5%と、「中央値以上」の世帯（87.7%）と比べて48.2ポイント低く、「自営業（家族従事者、内職、自由業、フリーランスを含む。）」が21.5%と、「中央値以上」の世帯（8.7%）と比べて12.8ポイント高くなっている。

「母親」の就労状況について、世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.2%で最も割合が高く、「ひとり親世帯（母子世帯）」では「正社員・正規職員・会社役員」が53.8%で最も割合が高くなっている。

「父親」については、「ふたり親世帯」では「正社員・正規職員・会社役員」が83.0%、「ひとり親世帯（父子世帯）」では71.4%となっている。

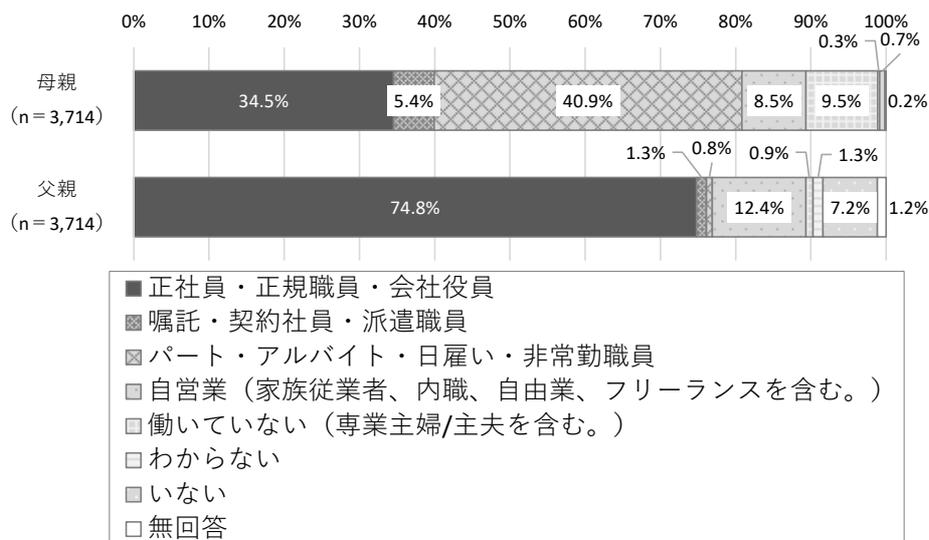


図 2-1-2-1 父母の就労状況

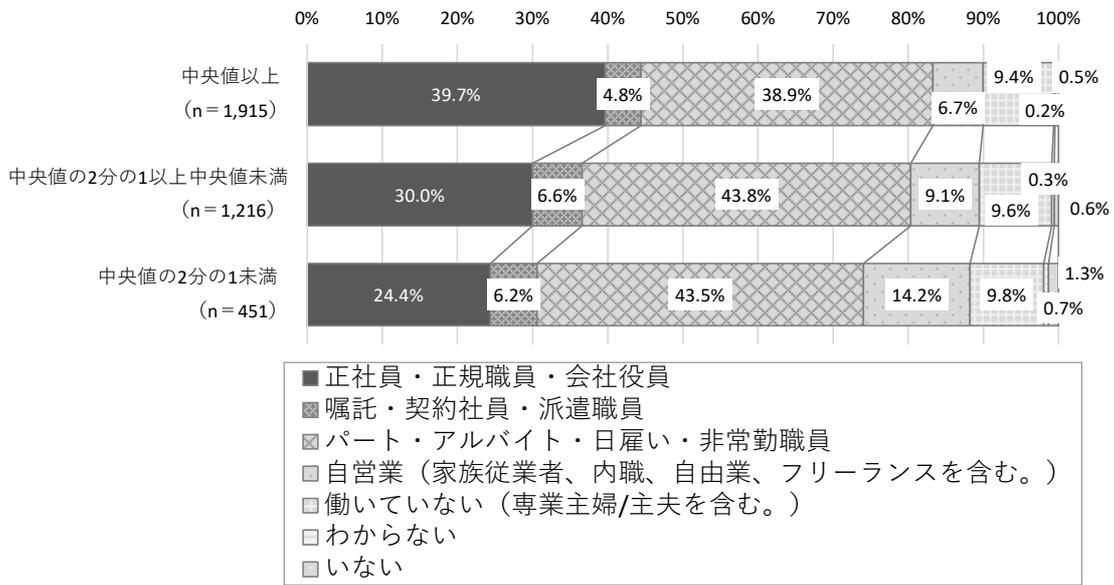


図 2-1-2-2 等価世帯収入の水準別、母親の就労状況

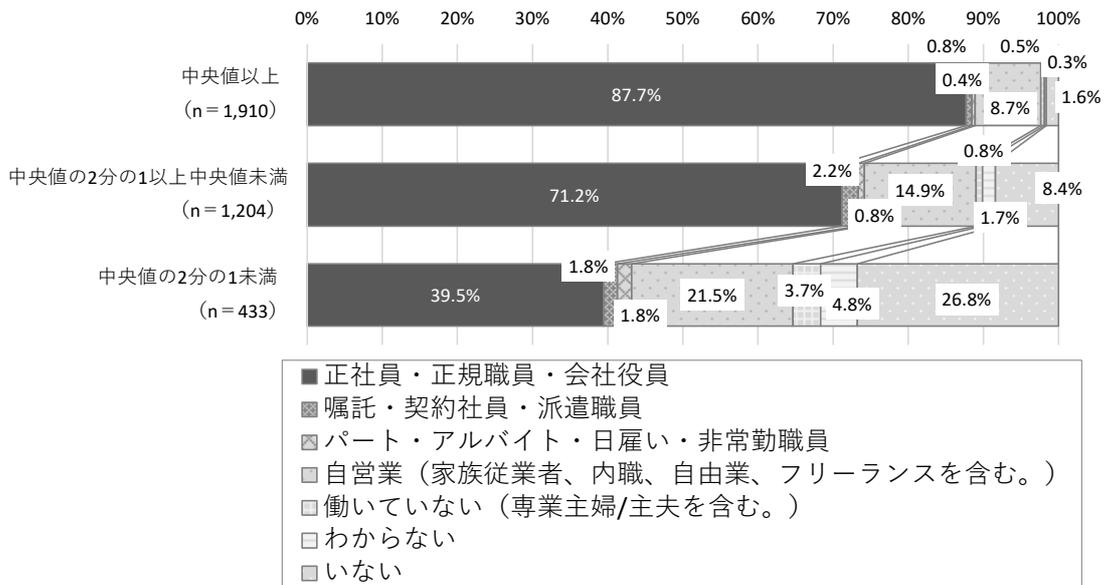


図 2-1-2-3 等価世帯収入の水準別、父親の就労状況

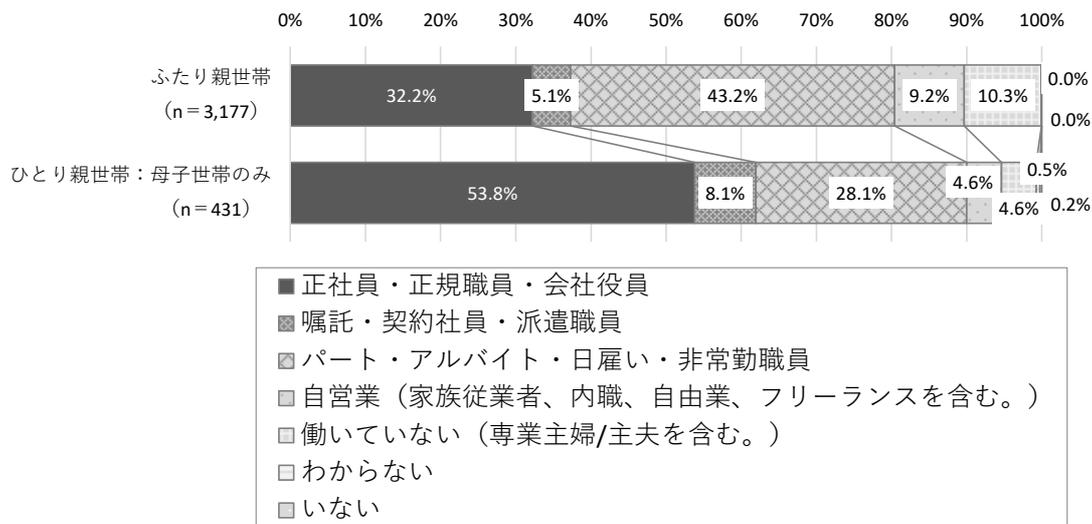


図 2-1-2-4 世帯の状況別、母親の就労状況

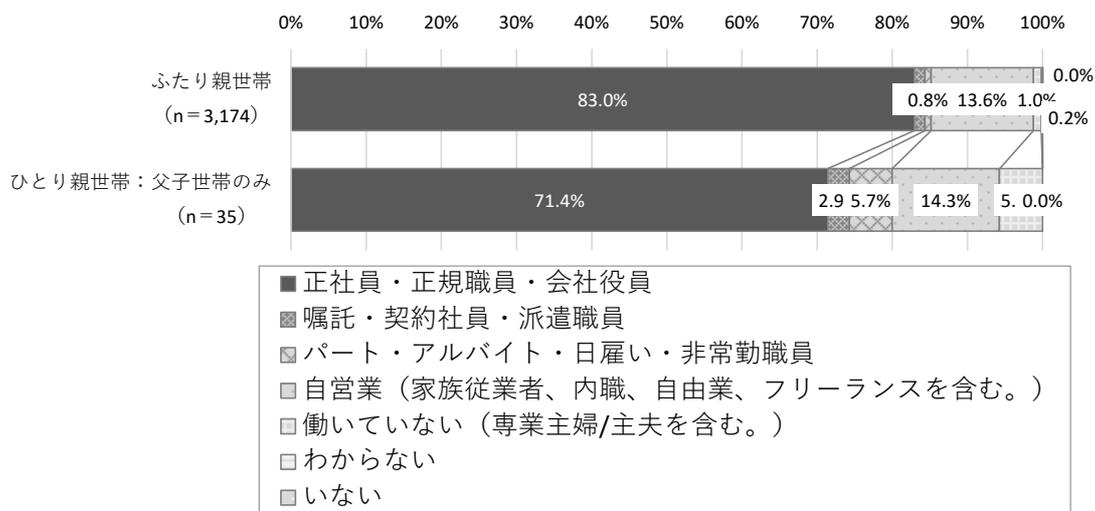


図 2-1-2-5 世帯の状況別、父親の就労状況

比較表 2-1-2-1 母親の就業状況

		サンプル数	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦/主夫を含む。）	わからない	いない	無回答	
上段：度数 下段：%											
今回調査	全体	3,714 100.0	1,283 34.5	200 5.4	1,519 40.9	316 8.5	354 9.5	11 0.3	25 0.7	6 0.2	
前回調査	全体	2,785 100.0	614 22.0	97 3.5	1,118 40.1	231 8.3	515 18.5		84 3.0	126 4.5	
内閣府調査	全体	2,715 100.0	745 27.4	175 6.4	1,163 42.8	174 6.4	396 14.6	18 0.7		44 1.6	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,915 100.0	760 39.7	91 4.8	744 38.9	128 6.7	180 9.4	3 0.2	9 0.5	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,216 100.0	365 30.0	80 6.6	532 43.8	111 9.1	117 9.6	4 0.3	7 0.6	
		中央値の2分の1未満	451 100.0	110 24.4	28 6.2	196 43.5	64 14.2	44 9.8	3 0.7	6 1.3	
	前回調査	中央値以上	1,143 100.0	390 34.1	23 2.0	403 35.3	65 5.7	240 21.0			22 1.9
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,026 100.0	166 16.2	49 4.8	504 49.1	75 7.3	193 18.8			39 3.8
		中央値の2分の1未満	334 100.0	40 12.0	19 5.7	165 49.4	37 11.1	60 18.0			13 3.9
	内閣府調査	中央値以上	1,307 100.0	448 34.3	81 6.2	493 37.7	68 5.2	210 16.1	7 0.5		
		中央値の2分の1以上中央値未満	947 100.0	215 22.7	59 6.2	475 50.2	63 6.7	127 13.4	8 0.8		
		中央値の2分の1未満	327 100.0	57 17.4	30 9.2	163 49.8	33 10.1	42 12.8	2 0.6		
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,177 100.0	1,024 32.2	161 5.1	1,371 43.2	293 9.2	327 10.3	1 0.0	0 0.0
			ひとり親世帯	466 100.0	237 50.9	36 7.7	124 26.6	21 4.5	20 4.3	7 1.5	21 4.5
			ひとり親世帯：母子世帯のみ	431 100.0	232 53.8	35 8.1	121 28.1	20 4.6	20 4.6	2 0.5	1 0.2
前回調査		ふたり親世帯	2,200 100.0	487 22.1	70 3.2	990 45.0	178 8.1	475 21.6			0 0.0
		ひとり親世帯	398 100.0	127 31.9	27 6.8	128 32.2	8 2.0	40 10.1			68 17.1
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	330 100.0	127 38.5	27 8.2	128 38.8	8 2.4	40 12.1			0 0.0
内閣府調査		ふたり親世帯	2,341 100.0	619 26.4	144 6.2	1,054 45.0	153 6.5	369 15.8	2 0.1		
		ひとり親世帯	314 100.0	123 39.2	31 9.9	106 33.8	18 5.7	23 7.3	13 4.1		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	291 100.0	117 40.2	31 10.7	102 35.1	18 6.2	23 7.9	0 0.0		

比較表 2-1-2-2 父親の就業状況

		サンプル数	正社員・正規職員・会社役員	嘱託・契約社員・派遣職員	パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）	働いていない（専業主婦/主夫を含む。）	わからない	いない	無回答	
上段：度数 下段：%											
今回調査	全体	3,714 100.0	2,779 74.8	49 1.3	29 0.8	461 12.4	35 0.9	50 1.3	268 7.2	43 1.2	
前回調査	全体	2,785 100.0	1,803 64.7	58 2.1	33 1.2	379 13.6	26 0.9		343 12.3	143 5.1	
内閣府調査	全体	2,715 100.0	2,120 78.1	43 1.6	20 0.7	267 9.8	31 1.1	86 3.2		148 5.5	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,910 100.0	1,675 87.7	15 0.8	8 0.4	167 8.7	9 0.5	5 0.3	31 1.6	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,204 100.0	857 71.2	26 2.2	10 0.8	179 14.9	10 0.8	21 1.7	101 8.4	
		中央値の2分の1未満	433 100.0	171 39.5	8 1.8	8 1.8	93 21.5	16 3.7	21 4.8	116 26.8	
	前回調査	中央値以上	1,151 100.0	936 81.3	9 0.8	3 0.3	127 11.0	3 0.3		73 6.3	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,032 100.0	709 68.7	35 3.4	15 1.5	149 14.4	9 0.9		115 11.1	
		中央値の2分の1未満	331 100.0	90 27.2	13 3.9	14 4.2	70 21.1	12 3.6		132 39.9	
	内閣府調査	中央値以上	1,302 100.0	1,191 91.5	2 0.2	1 0.1	97 7.5	4 0.3	7 0.5		
		中央値の2分の1以上中央値未満	929 100.0	748 80.5	30 3.2	11 1.2	99 10.7	10 1.1	31 3.3		
		中央値の2分の1未満	258 100.0	124 48.1	9 3.5	7 2.7	56 21.7	17 6.6	45 17.4		
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,174 100.0	2,633 83.0	44 1.4	26 0.8	433 13.6	32 1.0	5 0.2	1 0.0
			ひとり親世帯	432 100.0	105 24.3	3 0.7	2 0.5	22 5.1	2 0.5	37 8.6	261 60.4
			ひとり親世帯：母子世帯のみ	397 100.0	80 20.2	2 0.5	0 0.0	17 4.3	0 0.0	37 9.3	261 65.7
前回調査		ふたり親世帯	2,220 100.0	1,758 79.2	54 2.4	31 1.4	353 15.9	24 1.1		0 0.0	
		ひとり親世帯	394 100.0	45 11.4	4 1.0	2 0.5	15 3.8	2 0.5		326 82.7	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	326 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		326 100.0	
内閣府調査		ふたり親世帯	2,338 100.0	2,012 86.1	37 1.6	17 0.7	245 10.5	26 1.1	1 0.0		
		ひとり親世帯	214 100.0	100 46.7	4 1.9	3 1.4	21 9.8	5 2.3	81 37.9		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	173 100.0	67 38.7	4 2.3	2 1.2	17 9.8	2 1.2	81 46.8		

(2) 働いていない理由（保護者票 問10、SA）

就労状況について「働いていない（専業主婦／主夫を含む。）」と回答した方に関し、働いていない理由を尋ねた。働いていない最も主な理由として、「母親」では、「子育てを優先したいため」が50.3%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が20.6%となっている。「父親」では、「自分の病気や障害のため」が45.7%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が25.7%となっている。

「母親」が働いていない理由について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、他の世帯に比べて「自分の病気や障害のため」が29.5%と高く、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が15.9%、「子育てを優先したいため」が29.5%と低くなっている。

「母親」が働いていない理由について、世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯（母子世帯）」では「自分の病気や障害のため」が35.0%と、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

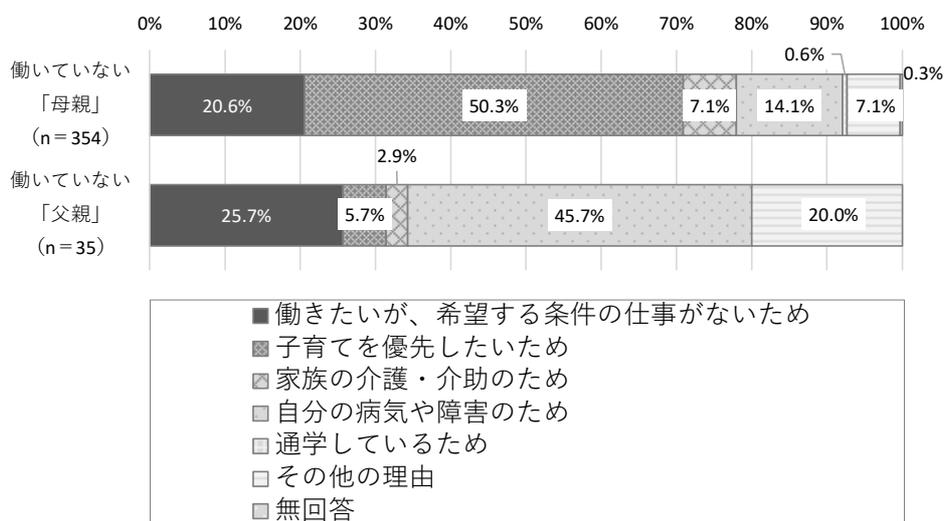


図 2-1-2-6 働いていない理由

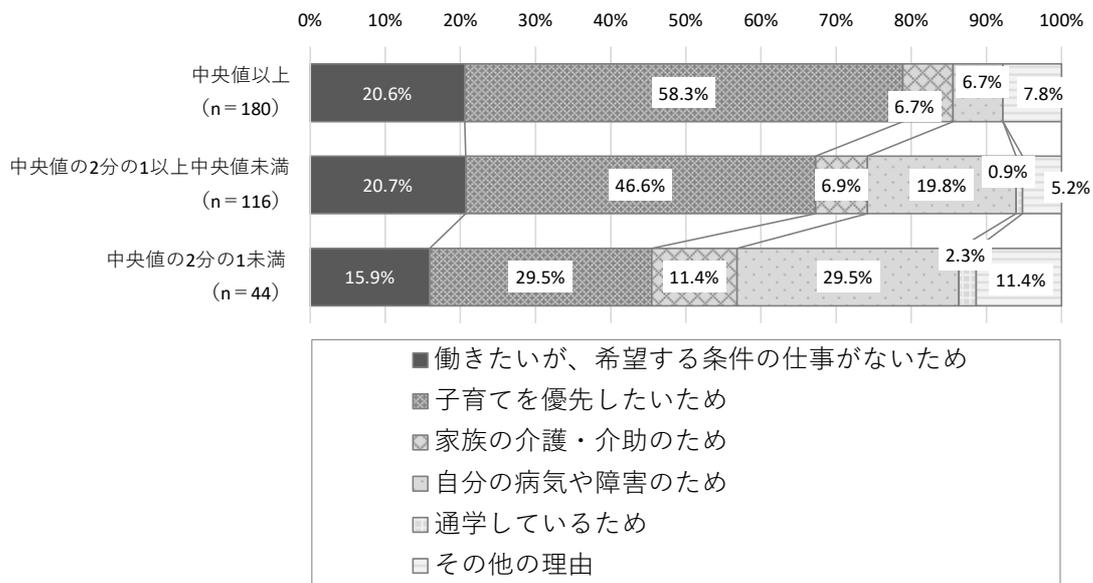


図 2-1-2-7 等価世帯収入の水準別、母親が働いていない理由

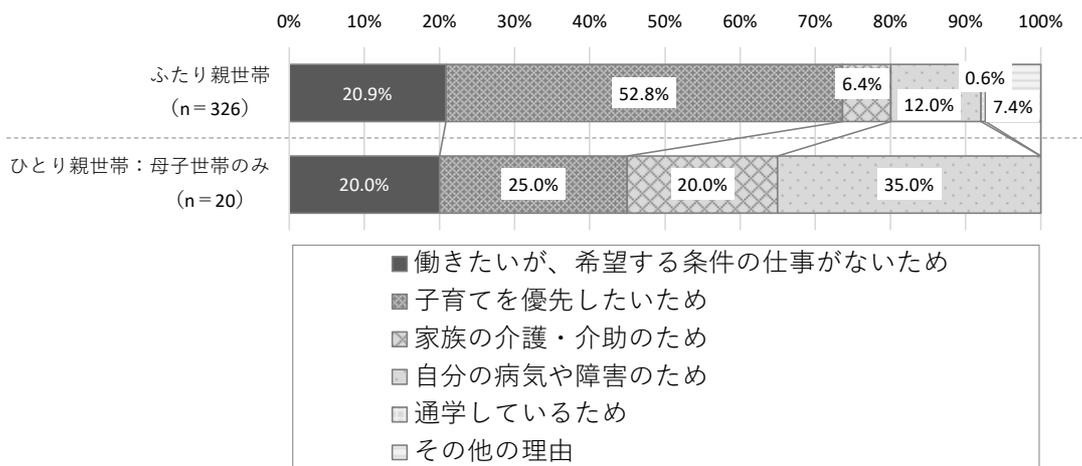


図 2-1-2-8 世帯の状況別、母親が働いていない理由

比較表 2-1-2-4 母親が働いていない理由

上段：度数 下段：%		サンプル数	働きたいが、希望しないため	子育てを優先したため	家族の介護・介助のため	自分の病気や障害のため	通学しているため	その他の理由	無回答	
今回調査	全体	354	73	178	25	50	2	25	1	
		100.0	20.6	50.3	7.1	14.1	0.6	7.1	0.3	
前回調査	全体	229	87		89	22		28	3	
		100.0	38.0		38.9	9.6		12.2	1.3	
内閣府調査	全体	396	72	183	18	50	2	53	18	
		100.0	18.2	46.2	4.5	12.6	0.5	13.4	4.5	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	180	37	105	12	12	0	14	
			100.0	20.6	58.3	6.7	6.7	0.0	7.8	
		中央値の2分の1以上中央値未満	116	24	54	8	23	1	6	
		100.0	20.7	46.6	6.9	19.8	0.9	5.2		
	中央値の2分の1未満	44	7	13	5	13	1	5		
		100.0	15.9	29.5	11.4	29.5	2.3	11.4		
	前回調査	中央値以上	79	37		24	7		11	
			100.0	46.8		30.4	8.9		13.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	92	35		42	5		10	
		100.0	38.0		45.7	5.4		10.9		
	中央値の2分の1未満	44	9		20	8		7		
		100.0	20.5		45.5	18.2		15.9		
内閣府調査	中央値以上	202	39	119	9	16	0	19		
		100.0	19.3	58.9	4.5	7.9	0.0	9.4		
	中央値の2分の1以上中央値未満	120	23	48	8	19	0	22		
	100.0	19.2	40.0	6.7	15.8	0.0	18.3			
中央値の2分の1未満	40	8	8	1	12	2	9			
	100.0	20.0	20.0	2.5	30.0	5.0	22.5			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	326	68	172	21	39	2	24	
			100.0	20.9	52.8	6.4	12.0	0.6	7.4	
		ひとり親世帯	20	4	5	4	7	0	0	
		100.0	20.0	25.0	20.0	35.0	0.0	0.0		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	20	4	5	4	7	0	0		
		100.0	20.0	25.0	20.0	35.0	0.0	0.0		
	前回調査	ふたり親世帯	195	75		84	13		23	
			100.0	38.5		43.1	6.7		11.8	
		ひとり親世帯	31	12		5	9		5	
		100.0	38.7		16.1	29.0		16.1		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	31	12		5	9		5		
		100.0	38.7		16.1	29.0		16.1		
内閣府調査	ふたり親世帯	353	66	180	16	43	1	47		
		100.0	18.7	51.0	4.5	12.2	0.3	13.3		
	ひとり親世帯	22	5	2	2	7	1	5		
	100.0	22.7	9.1	9.1	9.1	31.8	4.5	22.7		
ひとり親世帯：母子世帯のみ	22	5	2	2	7	1	5			
	100.0	22.7	9.1	9.1	9.1	31.8	4.5	22.7		

2.1.3. 保育の状況

(1) 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等（保護者票 問11、SA）

子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等で最も主なものについては、「認可保育所・認定こども園」が45.7%、「もっぱら親・親族が面倒みていた」が43.8%となっている。「その他」には「通っていない」、「託児所（職場を含む）」等であった。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が33.7%と他の世帯と比べて低く、「認可保育所・認定こども園」が55.2%と高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が31.3%と低く、「認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっている。

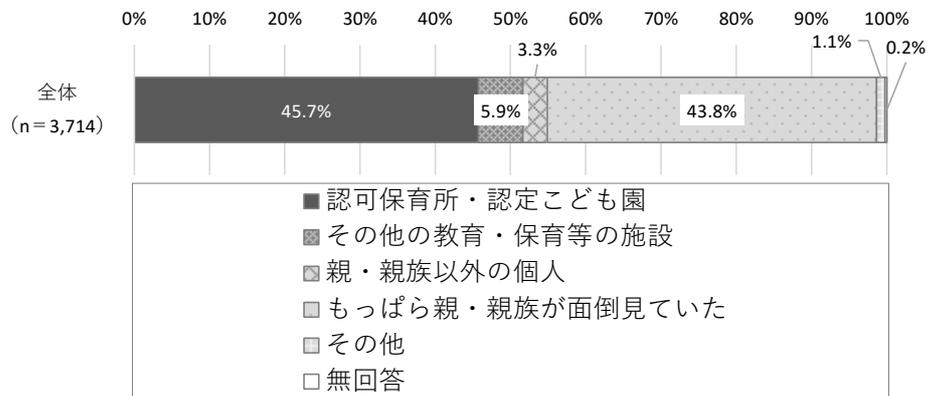


図 2-1-3-1 子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

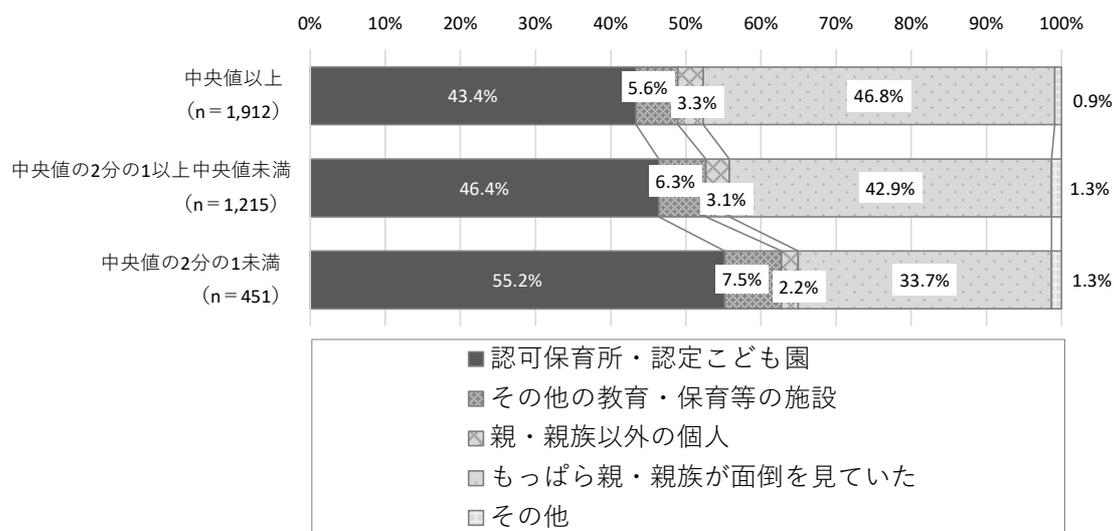


図 2-1-3-2 等価世帯収入の水準別、子どもが0～2歳の時に通っていた教育・保育施設等

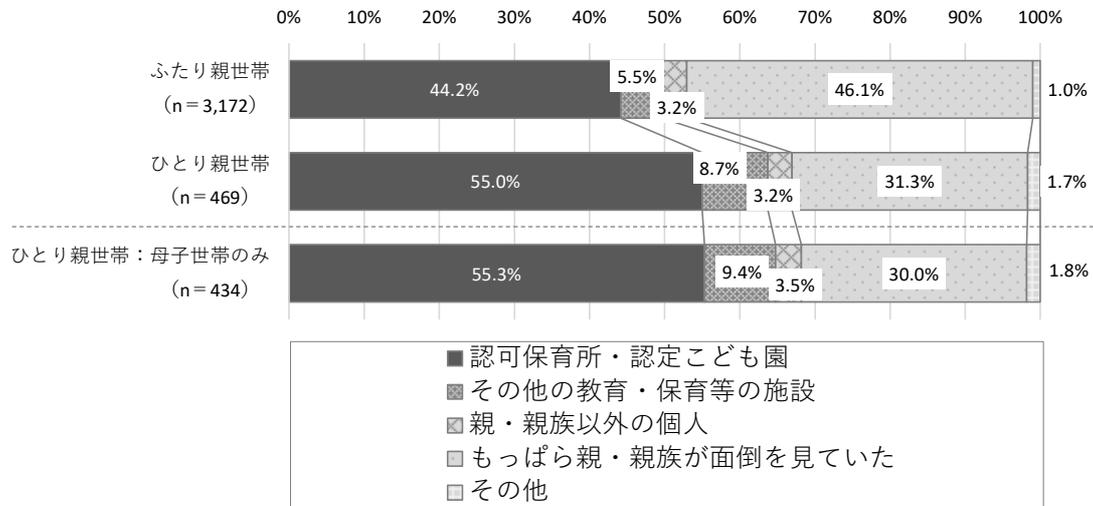


図 2-1-3-3 世帯の状況別、子どもが0~2歳の時に通っていた教育・保育施設等

比較表 2-1-3-1 子どもが0~2歳の時に通っていた教育・保育施設等

上段：度数 下段：%		サンプル数	認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒見ていた	その他	無回答	
今回調査	全体	3,714	1,698	220	121	1,625	41	9	
		100.0	45.7	5.9	3.3	43.8	1.1	0.2	
内閣府調査	全体	2,715	863	129	47	1,647		29	
		100.0	31.8	4.8	1.7	60.7		1.1	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,912	829	107	64	895	17	
			100.0	43.4	5.6	3.3	46.8	0.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,215	564	76	38	521	16	
		100.0	46.4	6.3	3.1	42.9	1.3		
	内閣府調査	中央値の2分の1未満	451	249	34	10	152	6	
			100.0	55.2	7.5	2.2	33.7	1.3	
中央値以上		1,309	392	62	23	832			
	100.0	29.9	4.7	1.8	63.6				
	中央値の2分の1以上中央値未満	957	305	39	18	595			
	100.0	31.9	4.1	1.9	62.2				
	中央値の2分の1未満	332	137	18	4	173			
	100.0	41.3	5.4	1.2	52.1				
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,172	1,401	175	103	1,461	32	
			100.0	44.2	5.5	3.2	46.1	1.0	
		ひとり親世帯	469	258	41	15	147	8	
		100.0	55.0	8.7	3.2	31.3	1.7		
	内閣府調査	ひとり親世帯：母子世帯のみ	434	240	41	15	130	8	
			100.0	55.3	9.4	3.5	30.0	1.8	
ふたり親世帯		2,332	694	109	42	1,487			
	100.0	29.8	4.7	1.8	63.8				
	ひとり親世帯	337	165	17	5	150			
	100.0	49.0	5.0	1.5	44.5				
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	142	12	4	132			
	100.0	49.0	4.1	1.4	45.5				

(2) 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等（保護者票 問12、SA）

子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等は、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が94.0%、「その他の教育・保育等の施設」が4.3%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が90.7%、「その他の教育・保育等の施設」が7.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が90.4%、「その他の教育・保育等の施設」が8.1%となっている。

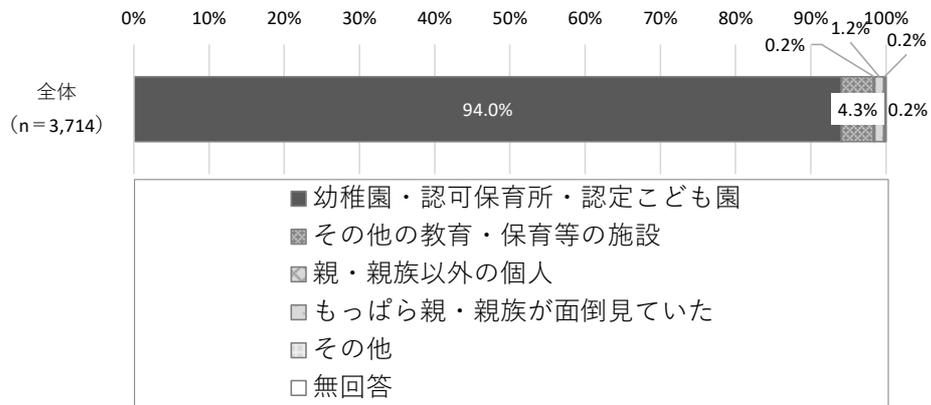


図 2-1-3-4 子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

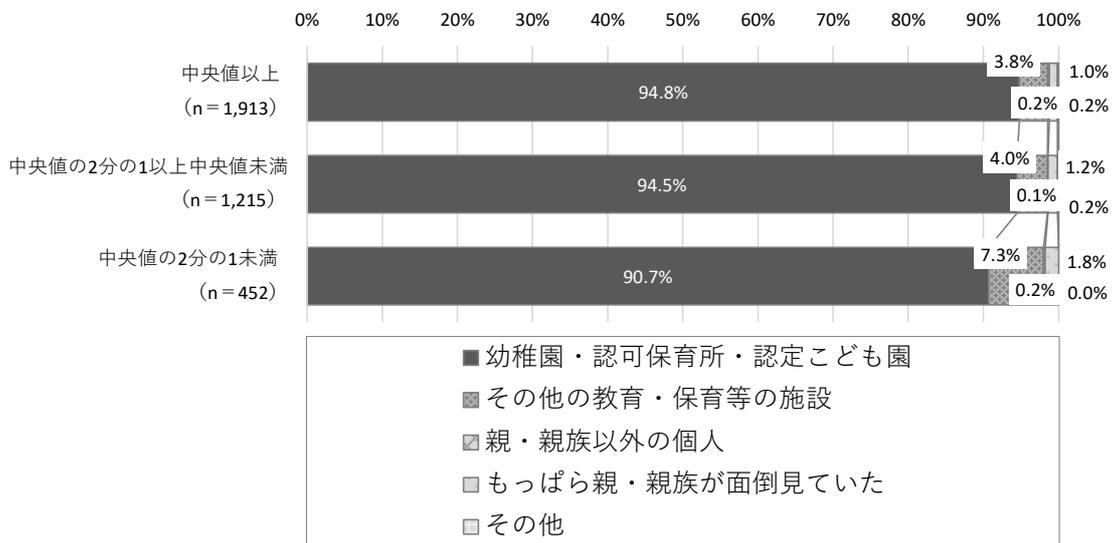


図 2-1-3-5 等価世帯収入の水準別、子どもが3～5歳の時に通っていた教育・保育施設等

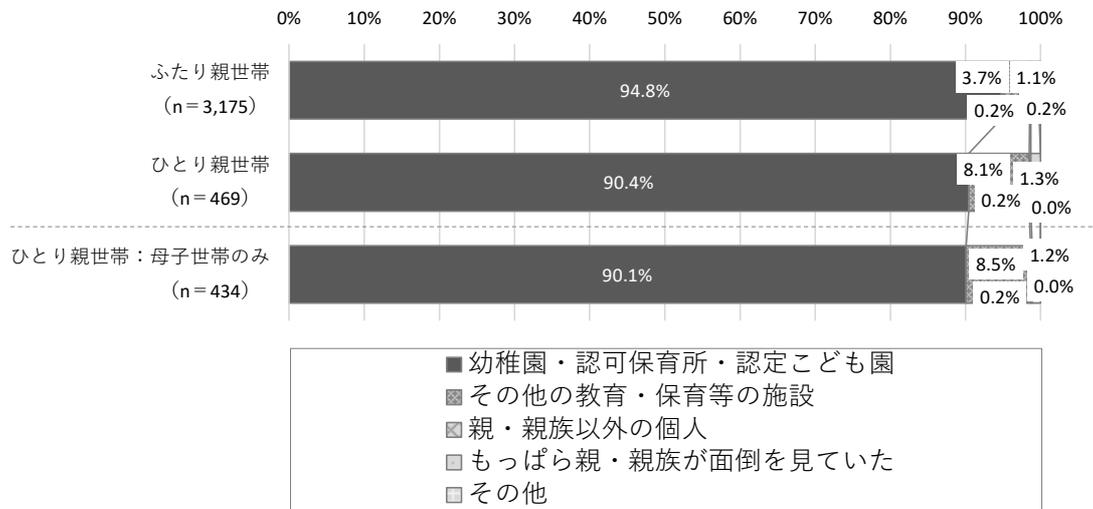


図 2-1-3-6 世帯の状況別、子どもが3~5歳の時に通っていた教育・保育施設等

比較表 2-1-3-1 子どもが0~2歳の時に通っていた教育・保育施設等

		サンプル数	幼稚園・認可こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒見ていた	その他	無回答	
上段：度数									
下段：%									
今回調査	全体	3,714	3,493	159	6	44	6	6	
		100.0	94.0	4.3	0.2	1.2	0.2	0.2	
内閣府調査	全体	2,715	2,564	96	2	35		18	
		100.0	94.4	3.5	0.1	1.3		0.7	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,913	1,814	72	4	20	3	
			100.0	94.8	3.8	0.2	1.0	0.2	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,215	1,148	49	1	15	2	
		100.0	94.5	4.0	0.1	1.2	0.2		
	中央値の2分の1未満	452	410	33	1	8	0		
		100.0	90.7	7.3	0.2	1.8	0.0		
内閣府調査	中央値以上	1,311	1,252	44	0	15			
		100.0	95.5	3.4	0.0	1.1			
	中央値の2分の1以上中央値未満	962	921	27	2	12			
	100.0	95.7	2.8	0.2	1.2				
中央値の2分の1未満	334	309	18	0	7				
	100.0	92.5	5.4	0.0	2.1				
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,175	3,009	119	5	36	6	
			100.0	94.8	3.7	0.2	1.1	0.2	
		ひとり親世帯	469	424	38	1	6	0	
		100.0	90.4	8.1	0.2	1.3	0.0		
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	434	391	37	1	5	0		
		100.0	90.1	8.5	0.2	1.2	0.0		
内閣府調査	ふたり親世帯	2,343	2,235	74	2	32			
		100.0	95.4	3.2	0.1	1.4			
	ひとり親世帯	337	314	20	0	3			
	100.0	93.2	5.9	0.0	0.9				
ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	269	18	0	3				
	100.0	92.8	6.2	0.0	1.0				

2.1.4.子どもとの関わり方

(1) テレビ等のルールについて（保護者票 問 13-a、SA）

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」は29.4%、「どちらかといえば、あてはまる」は47.7%となっており、合わせた割合は77.1%となっている。一方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は16.3%、「あてはまらない」は6.5%となっており、合わせた割合は22.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では20.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では26.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では25.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では21.6%、「ひとり親世帯」（全体）では30.9%、うち「母子世帯のみ」では30.5%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は62.1%であり、今回調査（77.1%）の方が15ポイント高くなっている。

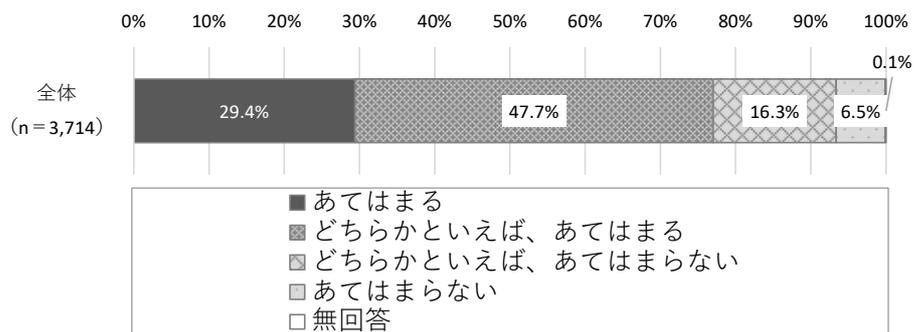


図 2-1-4-1 テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

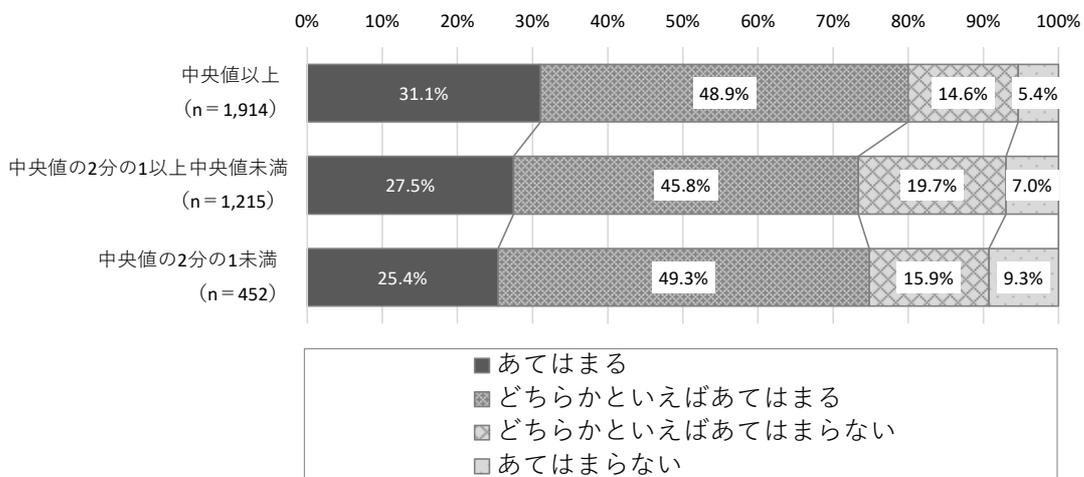


図 2-1-4-2 等価世帯収入の水準別、テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

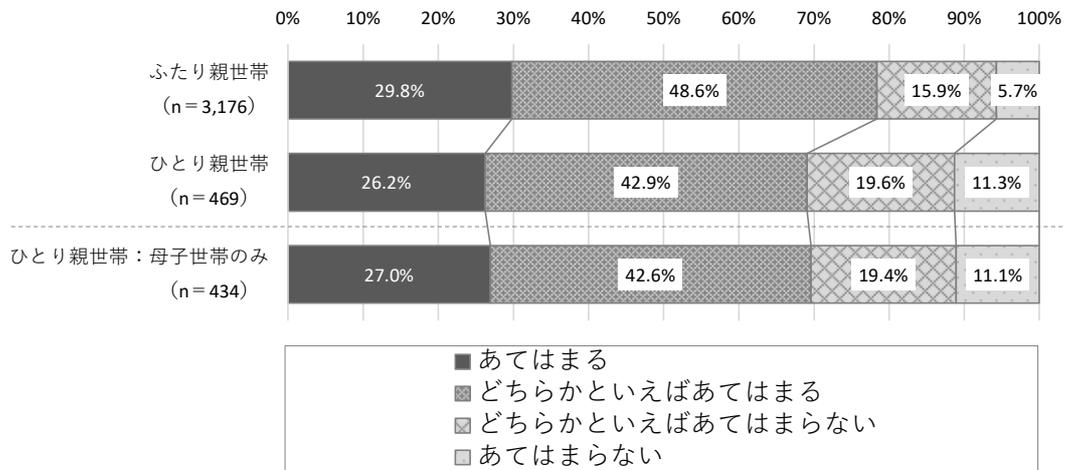


図 2-1-4-3 世帯の状況別、テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

比較表 2-1-4-1 テレビ等のルールについて子どもとの関わり方

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714	1,091	1,770	607	242	4	
		100.0	29.4	47.7	16.3	6.5	0.1	
内閣府調査	全体	2,715	666	1,020	606	407	16	
		100.0	24.5	37.6	22.3	15.0	0.6	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,914	595	936	280	103	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,215	334	557	239	85	
		中央値の2分の1未満	452	115	223	72	42	
	内閣府調査	中央値以上	1,312	342	519	274	177	
		中央値の2分の1以上中央値未満	963	235	361	212	155	
		中央値の2分の1未満	333	63	113	97	60	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,176	947	1,542	505	182	
		ひとり親世帯	469	123	201	92	53	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	434	117	185	84	48	
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,345	594	909	522	320	
		ひとり親世帯	338	67	105	82	84	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	291	63	89	73	66	
		100.0	21.6	30.6	25.1	22.7		

(2) 本や新聞を読むことについて（保護者票 問 13-b、SA）

子どもに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」は21.4%、「どちらかといえば、あてはまる」が40.5%となっており、合わせた割合は61.9%となっている。一方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は26.2%、「あてはまらない」は11.6%となっており、合わせた割合は37.8%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では33.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では41.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では44.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では37.0%、「ひとり親世帯」（全体）では44.2%、うち「母子世帯のみ」では44.2%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は60.3%であり、今回調査（61.9%）の方が1.6ポイント高くなっている。

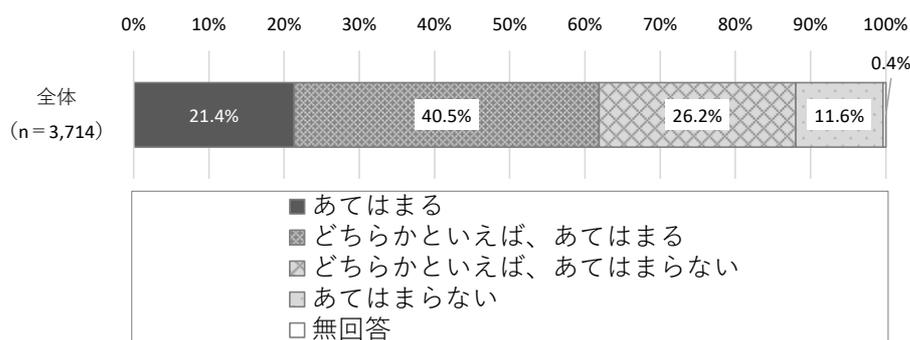


図 2-1-4-4 本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

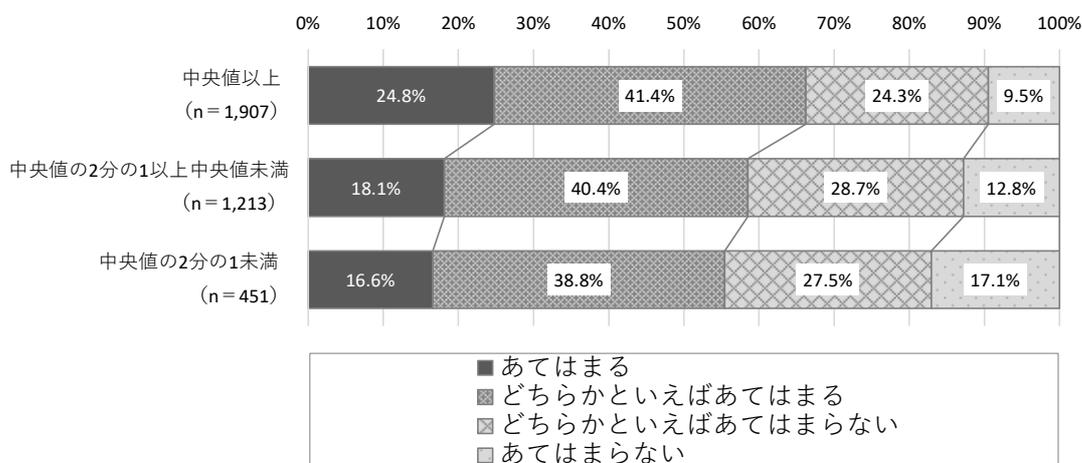


図 2-1-4-5 等価世帯収入の水準別、本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

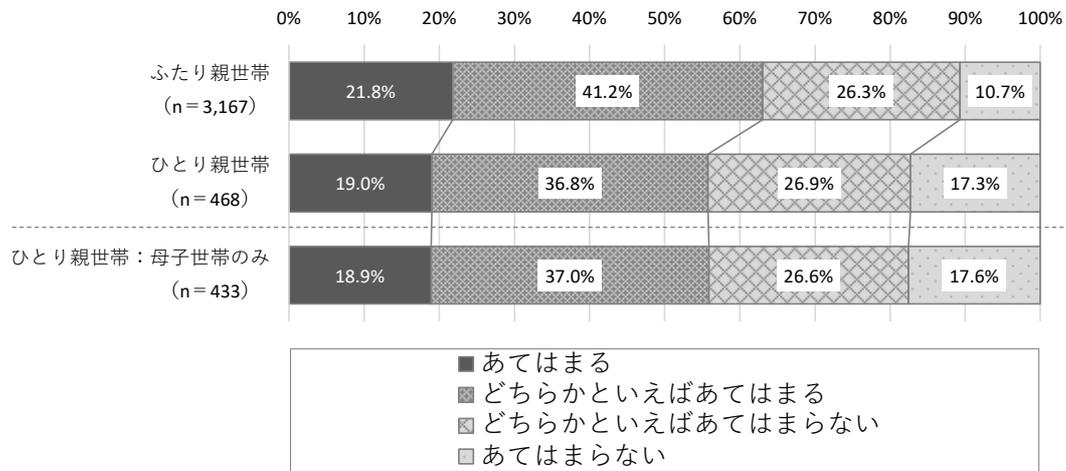


図 2-1-4-6 世帯の状況別、本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

比較表 2-1-4-2 本や新聞を読むことについて子どもとの関わり方

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714	794	1,504	972	430	14	
		100.0	21.4	40.5	26.2	11.6	0.4	
内閣府調査	全体	2,715	609	1,029	673	388	16	
		100.0	22.4	37.9	24.8	14.3	0.6	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,907	473	790	463	181	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,213	220	490	348	155	
		中央値の2分の1未満	451	75	175	124	77	
	内閣府調査	中央値以上	1,313	345	524	312	132	
		中央値の2分の1以上中央値未満	960	180	360	245	175	
		中央値の2分の1未満	335	62	111	91	71	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,167	690	1,306	833	338	
		ひとり親世帯	468	89	172	126	81	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433	82	160	115	76	
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,345	542	907	589	307	
		ひとり親世帯	337	62	117	81	77	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	56	103	71	60	

(3) 絵本の読み聞かせについて（保護者票 問 13-c、SA）

子どもが小さいころに絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」は44.9%、「どちらかといえば、あてはまる」は35.5%となっており、合わせた割合は80.4%となっている。一方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は16.2%、「あてはまらない」は3.3%となっており、合わせた割合は19.5%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では16.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では21.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では27.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では18.5%、「ひとり親世帯」では25.2%、うち「母子世帯のみ」では24.7%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は78.2%であり、今回調査（80.4%）の方が2.2ポイント高くなっている。

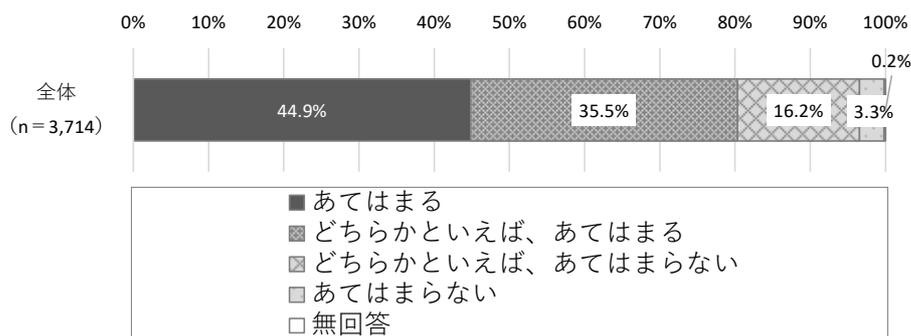


図 2-1-4-7 絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

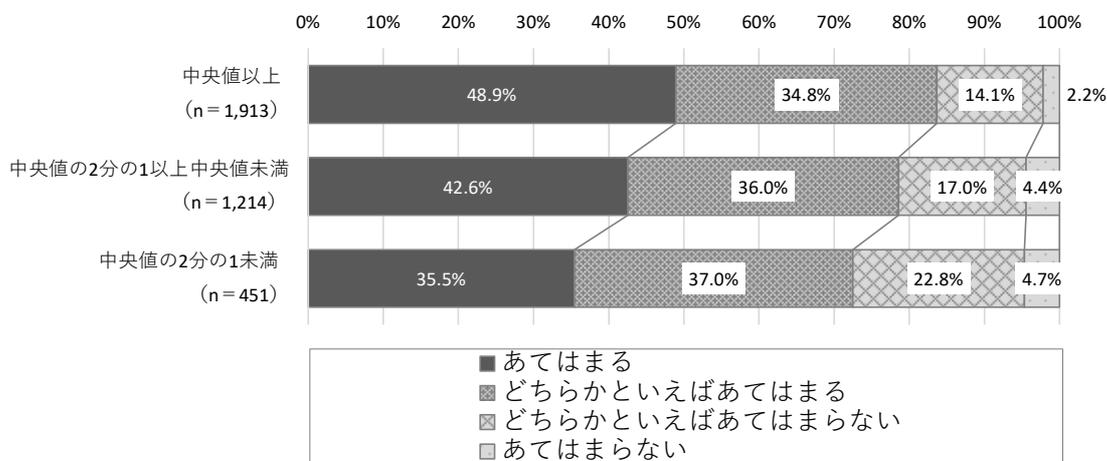


図 2-1-4-8 等価世帯収入の水準別、絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

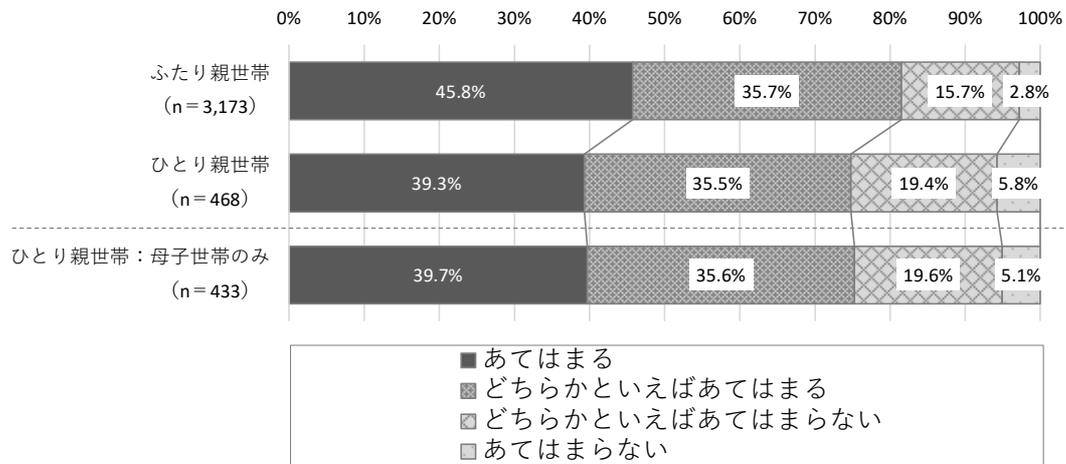


図 2-1-4-9 世帯の状況別、絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

比較表 2-1-4-3 絵本の読み聞かせについて子どもとの関わり方

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査	全体	3,714	1,666	1,317	602	121	8
		100.0	44.9	35.5	16.2	3.3	0.2
内閣府調査	全体	2,715	1,247	877	437	138	16
		100.0	45.9	32.3	16.1	5.1	0.6
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,913	936	665	270	42
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,214	517	437	206	54
		中央値の2分の1未満	451	160	167	103	21
	内閣府調査	中央値以上	1,313	688	391	184	50
		中央値の2分の1以上中央値未満	961	405	334	168	54
		中央値の2分の1未満	334	115	119	70	30
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,173	1,452	1,134	497	90
		ひとり親世帯	468	184	166	91	27
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433	172	154	85	22
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,346	1,100	759	379	108
		ひとり親世帯	336	137	115	58	26
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	289	123	97	49	20

(4) 勉強や成績のことについて（保護者票 問 13-d、SA）

子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」は48.5%、「どちらかといえば、あてはまる」は34.4%となっており、合わせた割合は82.9%となっている。一方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は13.1%、「あてはまらない」は3.7%となっており、合わせた割合は16.8%となっている。

「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では14.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では18.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では23.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では16.4%、「ひとり親世帯」では20.1%、うち「母子世帯のみ」では19.6%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は78.4%であり、今回調査（82.9%）の方が4.5ポイント高くなっている。

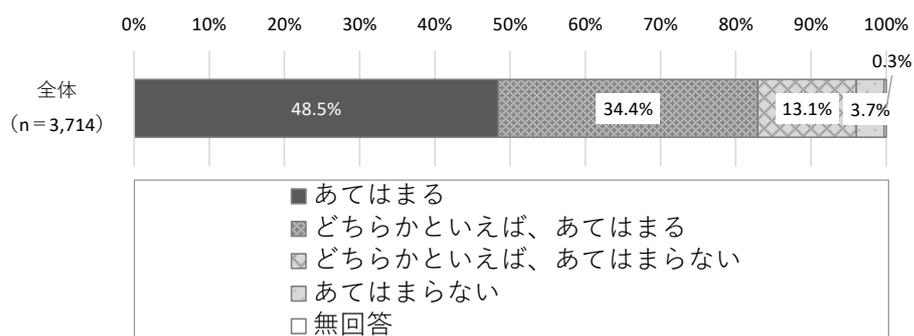


図 2-1-4-10 勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

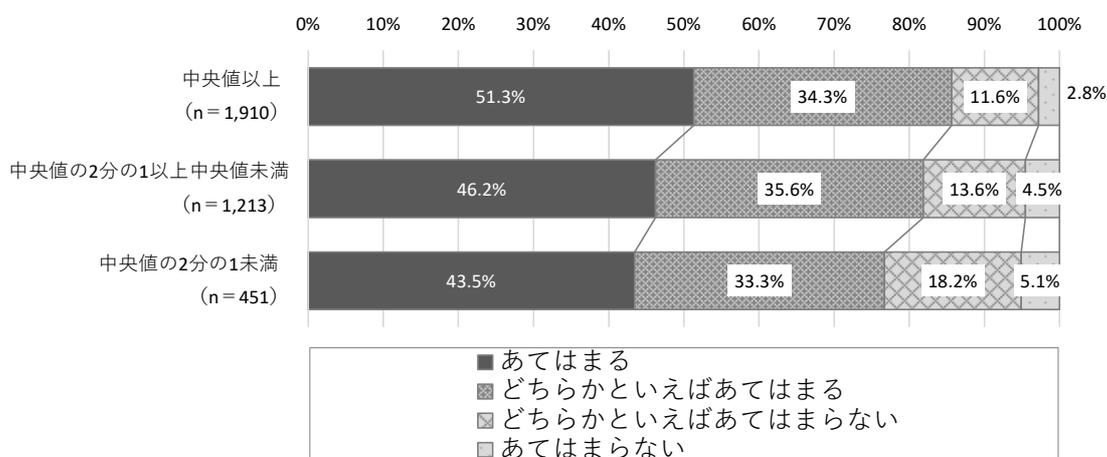


図 2-1-4-11 等価世帯収入の水準別、勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

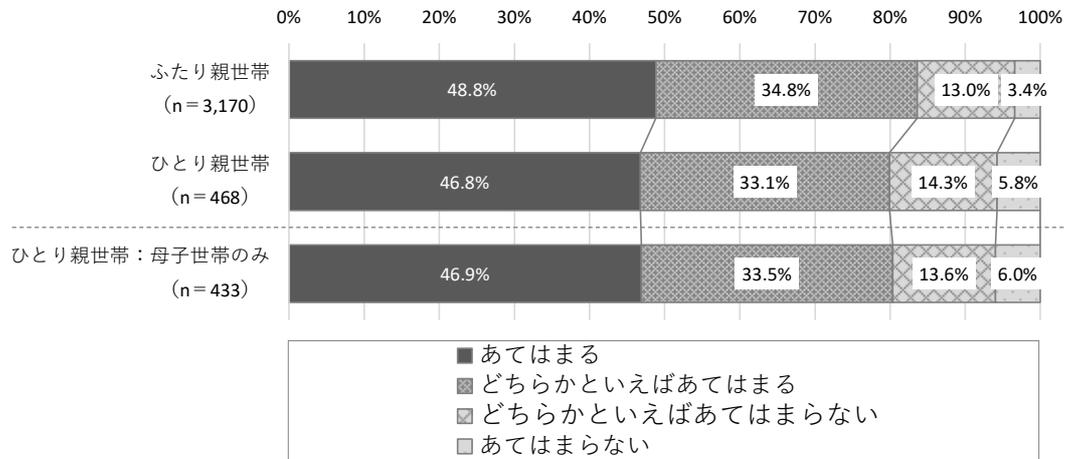


図 2-1-4-12 世帯の状況別、勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

比較表 2-1-4-4 勉強や成績のことについて子どもとの関わり方

		サンプル数	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答
上段：度数 下段：%							
今回調査	全体	3,714	1,800	1,279	487	137	11
		100.0	48.5	34.4	13.1	3.7	0.3
内閣府調査	全体	2,715	1,222	906	402	170	15
		100.0	45.0	33.4	14.8	6.3	0.6
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,910	980	656	221	53
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,213	561	432	165	55
		中央値の2分の1未満	451	196	150	82	23
	内閣府調査	中央値以上	1,312	634	434	179	65
		中央値の2分の1以上中央値未満	962	402	335	161	64
		中央値の2分の1未満	335	137	118	48	32
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,170	1,547	1,103	413	107
		ひとり親世帯	468	219	155	67	27
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433	203	145	59	26
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,346	1,084	786	347	129
		ひとり親世帯	337	129	117	54	37
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	290	115	103	45	27

2. 1. 5. 学校との関わり・参加

(1) 学校行事への参加（保護者票 問 14-a、SA）

授業参観や運動会などの学校行事について、「よく参加している」は72.9%、「ときどき参加している」は23.3%となっており、合わせた割合は96.2%となっている。一方で、「あまり参加していない」は3.3%、「まったく参加していない」は0.4%となっており、合わせた割合は3.7%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では97.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では96.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では91.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では97.2%、「ひとり親世帯」では90.2%、うち「母子世帯」では90.8%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は90.7%であり、今回調査（96.2%）の方が5.5ポイント高くなっている。

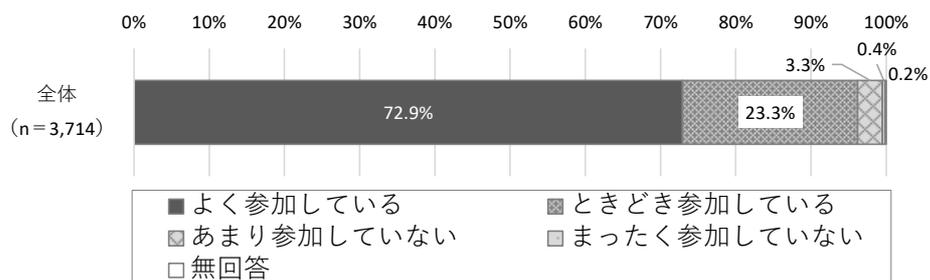


図 2-1-5-1 学校行事への参加

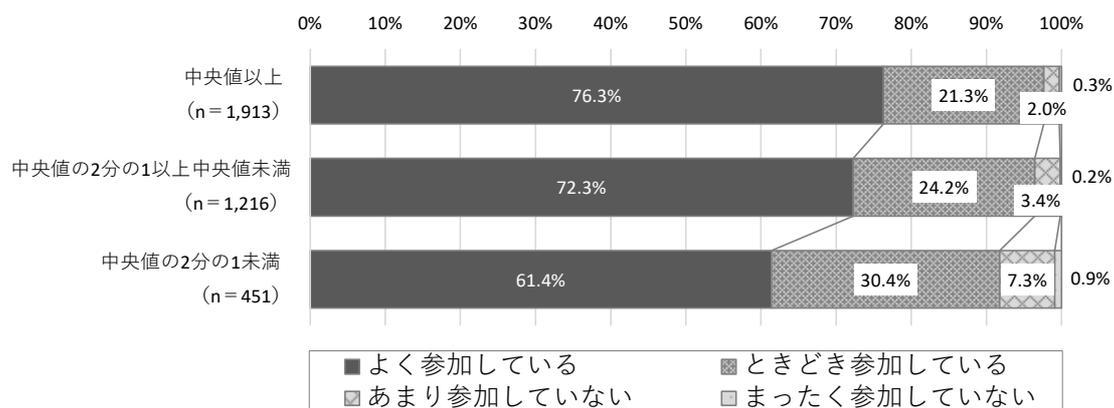


図 2-1-5-2 等価世帯収入の水準別、学校行事への参加

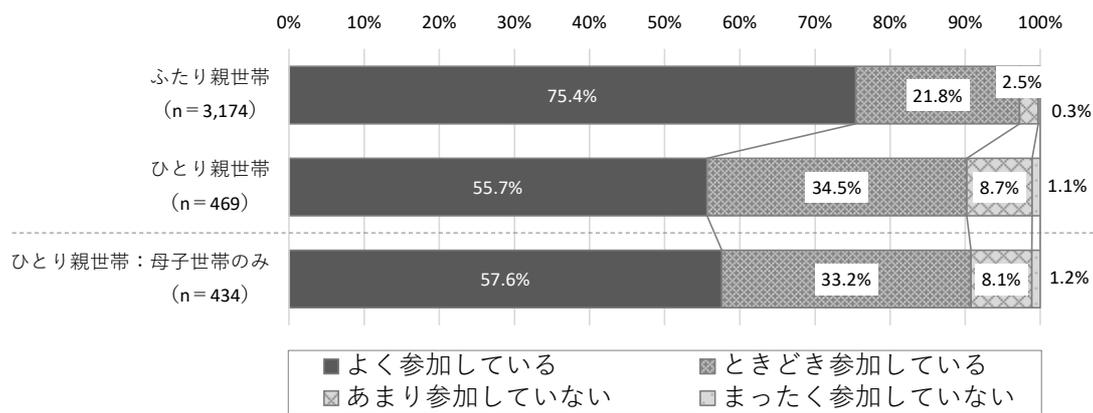


図 2-1-5-3 世帯の状況別、学校行事への参加

比較表 2-1-5-1 学校行事への参加¹³

上段：度数 下段：%		サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
今回調査	全体	3,714	2,708	865	121	14	6
		100.0	72.9	23.3	3.3	0.4	0.2
	前回調査	2,785	1,575	1,063	91	10	46
前回調査	全体	2,785	1,575	1,063	91	10	46
		100.0	56.6	38.2	3.3	0.4	1.7
	内閣府調査	2,715	1,986	479	145	91	14
内閣府調査	全体	2,715	1,986	479	145	91	14
		100.0	73.1	17.6	5.3	3.4	0.5
	等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,913	1,460	408	39
			100.0	76.3	21.3	2.0	0.3
中央値の2分の1以上中央値未満			1,216	879	294	41	2
前回調査		中央値の2分の1以上中央値未満	100.0	72.3	24.2	3.4	0.2
		中央値の2分の1未満	451	277	137	33	4
			100.0	61.4	30.4	7.3	0.9
内閣府調査		中央値以上	1,187	736	416	31	4
			100.0	62.0	35.0	2.6	0.3
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,080	597	438	40	5
内閣府調査		中央値の2分の1以上中央値未満	100.0	55.3	40.6	3.7	0.5
		中央値の2分の1未満	354	172	164	18	0
			100.0	48.6	46.3	5.1	0.0
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,174	2,394	693	78	9
			100.0	75.4	21.8	2.5	0.3
		ひとり親世帯	469	261	162	41	5
	前回調査	ひとり親世帯	100.0	55.7	34.5	8.7	1.1
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	434	250	144	35	5
			100.0	57.6	33.2	8.1	1.2
	内閣府調査	ふたり親世帯	2,303	1,387	850	58	8
			100.0	60.2	36.9	2.5	0.3
		ひとり親世帯	416	175	206	33	2
	内閣府調査	ひとり親世帯	100.0	42.1	49.5	7.9	0.5
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	343	149	168	25	1
			100.0	43.4	49.0	7.3	0.3
内閣府調査	ふたり親世帯	2,347	1,766	396	109	76	
		100.0	75.2	16.9	4.6	3.2	
	ひとり親世帯	337	209	80	35	13	
内閣府調査	ひとり親世帯	100.0	62.0	23.7	10.4	3.9	
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	291	184	68	29	10	
		100.0	63.2	23.4	10.0	3.4	

¹³ 前回調査で「学校の行事に参加していますか。」の設問があり、その回答についても、参考までに比較表に記載している。

(2) PTA 活動等への参加（保護者票 問 14-b、SA）

PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどについて、「よく参加している」は 43.1%、「ときどき参加している」は 40.6%となっており、合わせた割合は 83.7%となっている。一方で、「あまり参加していない」は 13.3%、「まったく参加していない」は 2.9%となっており、合わせた割合は 16.2%となっている。

「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 86.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 83.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 75.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 85.3%、「ひとり親世帯」では 73.5%、うち「母子世帯」では 73.9%となっている。

今回調査と内閣府調査を比較すると、内閣府調査の全体で「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は 69.5%と、今回調査（83.7%）の方が 14.2 ポイント高くなっている。

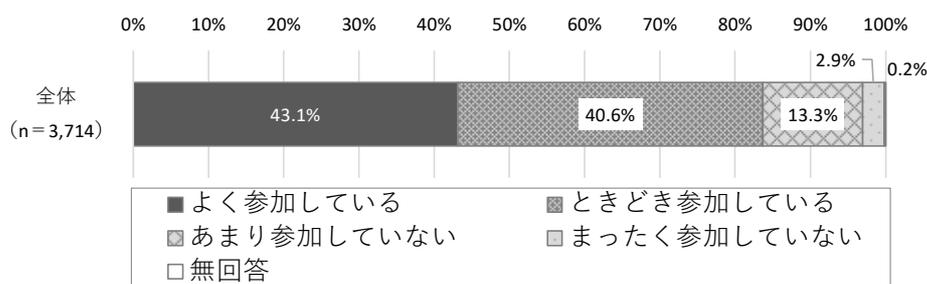


図 2-1-5-4 PTA 活動等への参加

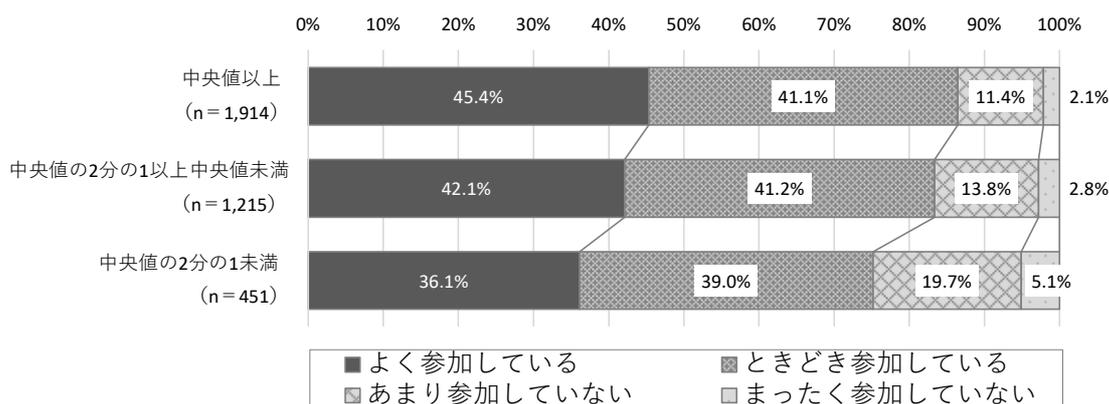


図 2-1-5-5 等価世帯収入の水準別、PTA 活動等への参加

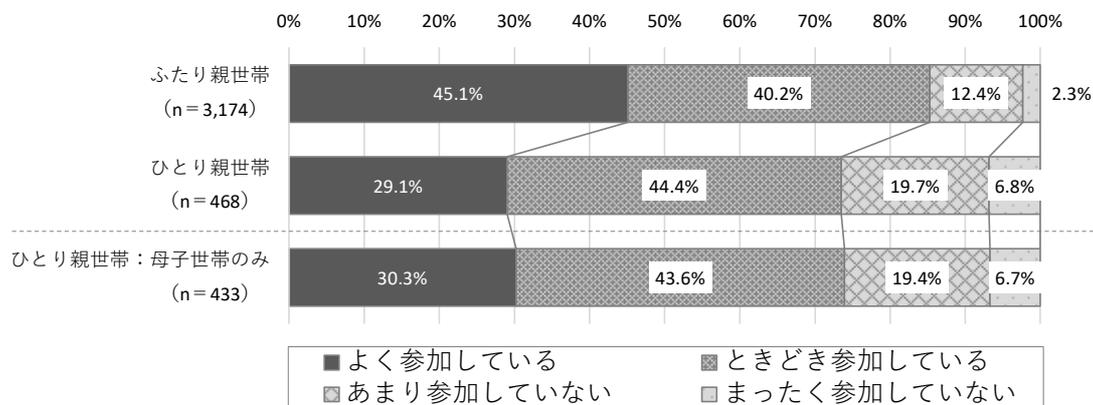


図 2-1-5-6 世帯の状況別、PTA 活動等への参加

比較表 2-1-5-2 PTA 活動等への参加

		サンプル数	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答	
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714	1,601	1,507	493	106	7	
		100.0	43.1	40.6	13.3	2.9	0.2	
内閣府調査	全体	2,715	907	980	518	290	20	
		100.0	33.4	36.1	19.1	10.7	0.7	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,914	868	787	218	41	
			100.0	45.4	41.1	11.4	2.1	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,215	512	501	168	34	
		100.0	42.1	41.2	13.8	2.8		
		中央値の2分の1未満	451	163	176	89	23	
		100.0	36.1	39.0	19.7	5.1		
内閣府調査	中央値以上	1,308	463	485	242	118		
		100.0	35.4	37.1	18.5	9.0		
	中央値の2分の1以上中央値未満	960	317	351	186	106		
	100.0	33.0	36.6	19.4	11.0			
	中央値の2分の1未満	336	95	116	75	50		
	100.0	28.3	34.5	22.3	14.9			
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,174	1,431	1,275	394	74	
			100.0	45.1	40.2	12.4	2.3	
		ひとり親世帯	468	136	208	92	32	
		100.0	29.1	44.4	19.7	6.8		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433	131	189	84	29	
		100.0	30.3	43.6	19.4	6.7		
内閣府調査	ふたり親世帯	2,342	825	868	430	219		
		100.0	35.2	37.1	18.4	9.4		
	ひとり親世帯	336	76	110	86	64		
	100.0	22.6	32.7	25.6	19.0			
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	291	70	98	69	54		
	100.0	24.1	33.7	23.7	18.6			

2. 1. 6. 進学期待・展望

(1) 子どもの進路段階に関する希望・展望（保護者票 問 15、SA）

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについては、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」が38.6%、「中学、高校、専門学校まで」が20.0%、「中学、高校まで」が17.7%、「まだわからない」が12.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」と「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院まで」を合わせた「大学またはそれ以上」に該当する割合は、「中央値以上」の世帯が54.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯が32.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯が21.1%となっている。「中央値の2分の1未満」の世帯では、「中学、高校まで」が33.2%と、「中央値以上」の世帯（12.1%）と比べて21.1ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「大学またはそれ以上」に該当する割合は、「ふたり親世帯」では44.8%、「ひとり親世帯」では31.8%、うち「母子世帯」では32.4%となっている。「ひとり親世帯」では、「中学、高校まで」が24.5%と「ふたり親世帯」（16.7%）に比べて7.8ポイント高くなっている。

また、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯の場合に、母親・父親の学歴の状況別にみると、収入の水準が低い場合であっても、母親・父親の学歴の組み合わせが、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合には、「中学、高校（または5年生の高等専門学校）、大学まで」と「中学、高校（または5年生の高等専門学校）、大学、大学院まで」を合わせた割合が64.2%と、他の場合と比べて高くなっている¹⁴。

今回調査と内閣府調査では、選択肢が異なるため¹⁵、比較が難しい¹⁶が、内閣府調査の全体で「大学またはそれ以上」¹⁷に該当する割合は50.1%と、今回調査（42.8%）が7.3ポイント低くなっている。また、前回調査では「大学またはそれ以上」に該当する割合は51.7%であり、今回調査が8.9ポイント低くなっている。

¹⁴ 集計対象の件数が少ないため、比較の際に留意が必要である。

¹⁵ 回答の選択肢が異なるため、該当する項目を合算して集計し、比較を行った。内閣府調査における調査項目は「中学まで」、「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」、「大学またはそれ以上」、「分からない」。

¹⁶ 内閣府調査では「その他」の選択肢が設けられていない。

¹⁷ 今回調査における「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学まで」と「中学、高校（または5年制の専門学校）、大学、大学院まで」を合わせた割合

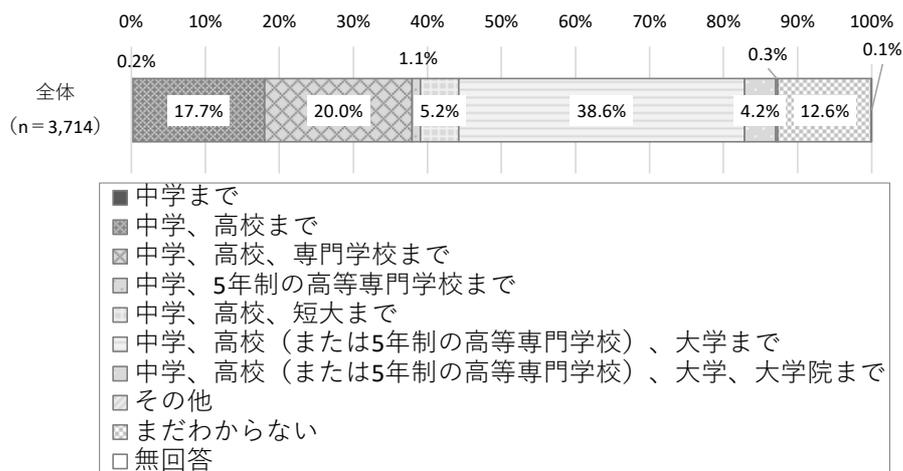


図 2-1-6-1 子どもの進学段階に関する希望・展望

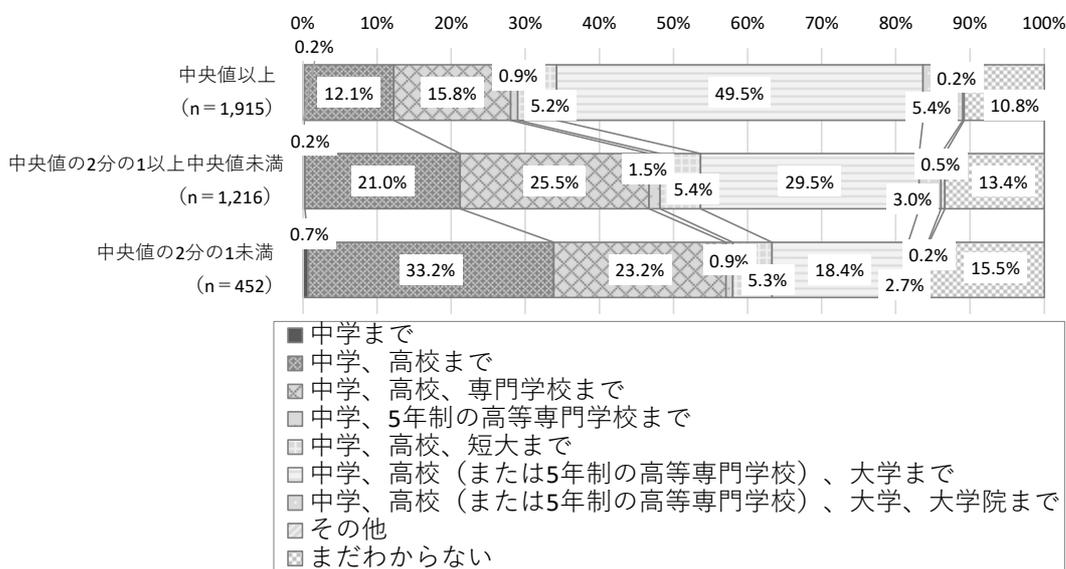


図 2-1-6-2 等価世帯収入の水準別、子どもの進学段階に関する希望

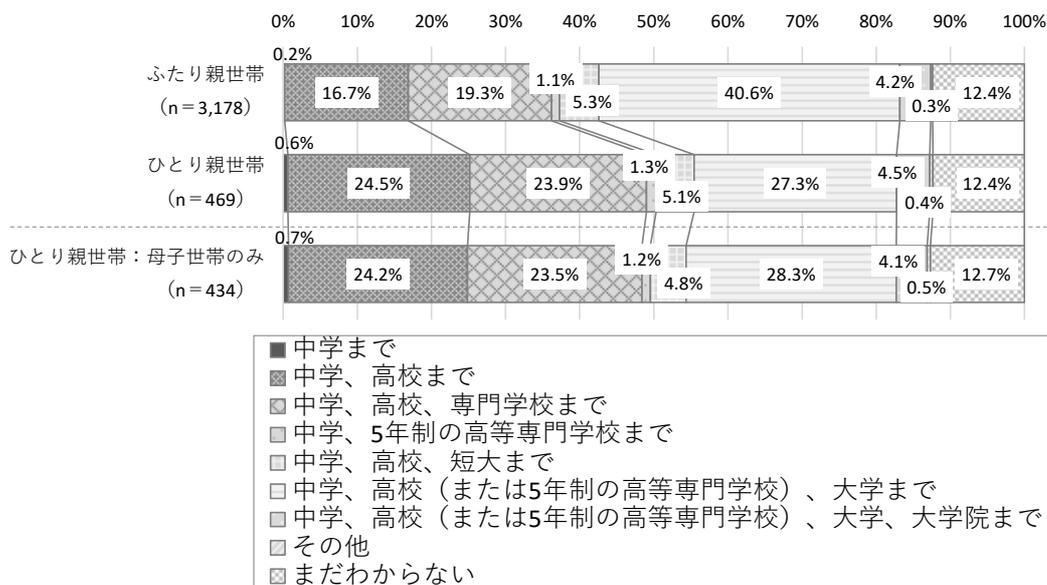


図 2-1-6-3 世帯の状況別、子どもの進学段階に関する希望

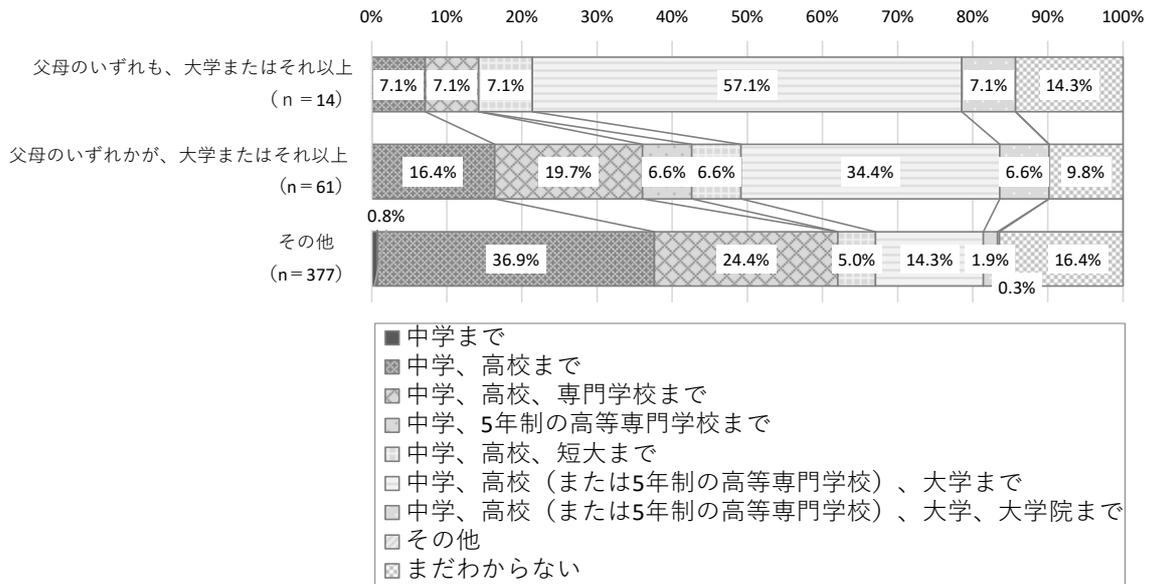


図 2-1-6-4 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の母親・父親の学歴の状況別、子どもの進路段階に関する希望・展望

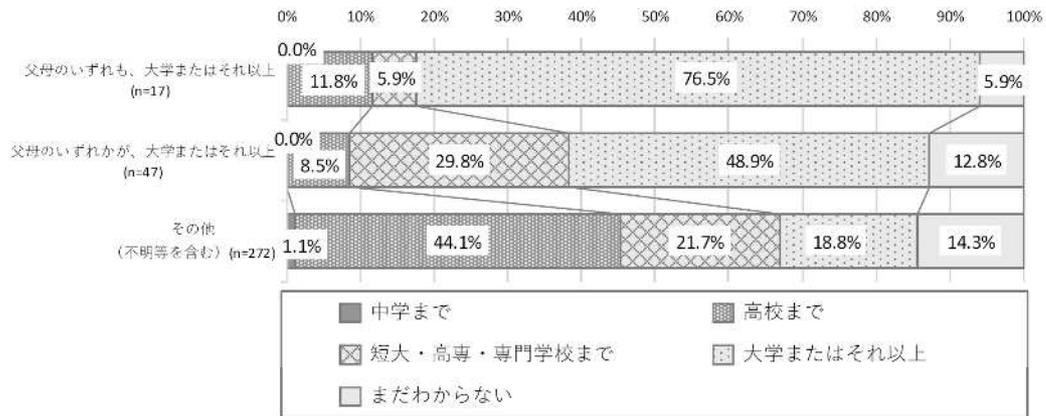


図 2-1-6-4 等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の母親・父親の学歴の状況別、子供の進学段階に関する希望・展望

(参考データ¹⁸) 内閣府調査「令和3年度子供の生活状況調査の分析」P.45

¹⁸ 比較する内閣府調査結果の数値が公表されていないため、当該調査の分析報告書から引用。

比較表 2-1-6-1 子どもの進路段階に関する希望・展望¹⁹

上段：度数 下段：%		サンプル数	中学まで	中学、高校まで	中学、高校、専門学校まで	中学、5年制の高等学校まで	中学、高校、短大まで	制の高等専門学校（または5年制の高等専門学校）、大学まで	制の高等専門学校（または5年制の高等専門学校）、大学院まで	その他	まだわからない	無回答		
今回調査	全体	3,714 100.0	9 0.2	659 17.7	741 20.0	41 1.1	194 5.2	1,432 38.6	157 4.2	10 0.3	469 12.6	2 0.1		
前回調査	全体	2,785 100.0	3 0.1	419 15.0	422 15.2	225 8.1		1,407 50.5	34 1.2	37 1.3	213 7.6	25 0.9		
内閣府調査	全体	2,715 100.0	13 0.5	443 16.3	534 19.7			1,361 50.1			348 12.8	16 0.6		
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,915 100.0	3 0.2	232 12.1	302 15.8	18 0.9	100 5.2	947 49.5	103 5.4	3 0.2	207 10.8		
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,216 100.0	3 0.2	255 21.0	310 25.5	18 1.5	66 5.4	359 29.5	36 3.0	6 0.5	163 13.4		
		中央値の2分の1未満	452 100.0	3 0.7	150 33.2	105 23.2	4 0.9	24 5.3	83 18.4	12 2.7	1 0.2	70 15.5		
	前回調査	中央値以上	1,193 100.0	0 0.0	90 7.5	143 12.0	81 6.8		770 64.5	22 1.8	12 1.0	75 6.3		
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,090 100.0	1 0.1	197 18.1	191 17.5	104 9.5		475 43.6	10 0.9	17 1.6	95 8.7		
		中央値の2分の1未満	355 100.0	1 0.3	99 27.9	72 20.3	30 8.5		115 32.4	1 0.3	4 1.1	33 9.3		
	内閣府調査	中央値以上	1,311 100.0	4 0.3	102 7.8	208 15.9			881 67.2			116 8.8		
		中央値の2分の1以上中央値未満	962 100.0	6 0.6	200 20.8	234 24.3			351 36.5			171 17.8		
		中央値の2分の1未満	336 100.0	3 0.9	126 37.5	74 22.0			87 25.9			46 13.7		
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,178 100.0	6 0.2	531 16.7	613 19.3	35 1.1	169 5.3	1,289 40.6	133 4.2	8 0.3	394 12.4	
			ひとり親世帯	469 100.0	3 0.6	115 24.5	112 23.9	6 1.3	24 5.1	128 27.3	21 4.5	2 0.4	58 12.4	
			ひとり親世帯：母子世帯のみ	434 100.0	3 0.7	105 24.2	102 23.5	5 1.2	21 4.8	123 28.3	18 4.1	2 0.5	55 12.7	
前回調査		ふたり親世帯	2,321 100.0	1 0.0	324 14.0	334 14.4	193 8.3		1,231 53.0	31 1.3	31 1.3	176 7.6		
		ひとり親世帯	421 100.0	2 0.5	90 21.4	84 20.0	31 7.4		170 40.4	3 0.7	6 1.4	35 8.3		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	347 100.0	2 0.6	73 21.0	63 18.2	23 6.6		153 44.1	1 0.3	6 1.7	26 7.5		
内閣府調査		ふたり親世帯	2,346 100.0	9 0.4	325 13.9	451 19.2			1,254 53.5			307 13.1		
		ひとり親世帯	336 100.0	3 0.9	113 33.6	81 24.1			100 29.8			39 11.6		
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	289 100.0	3 1.0	90 31.1	72 24.9			93 32.2			31 10.7		

¹⁹ 前回調査で「お子さんに、どの学校まで進学させたいと考えていますか。」の設問があり、その回答についても参考までに比較表に記載している。

(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由（保護者票 問 16、MA）

子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由としては、「お子さんがそう希望しているから」が 54.4%、「お子さんの学力から考えて」が 29.7%、「一般的な進路だと思うから」が 22.3%となっている。「その他」は、「子どもの将来の夢のため」や「資格のため」、「親の希望」等であった。

子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、「中学、高校まで」と回答した場合は、「お子さんの学力から考えて」が 38.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」が 21.9%となっており、それ以外の場合と比べて高くなっている。

「中学、高校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」が 30.0%と、「中央値以上」の世帯（11.2%）と比べて 18.8 ポイント高くなっている。また、同様に世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「家庭の経済的な状況から考えて」が 36.5%（うち「母子世帯」のみが 39.0%）と、「ふたり親世帯」（18.6%）と比べて 17.9 ポイント（うち「母子世帯」のみは 20.4 ポイント）高くなっている。

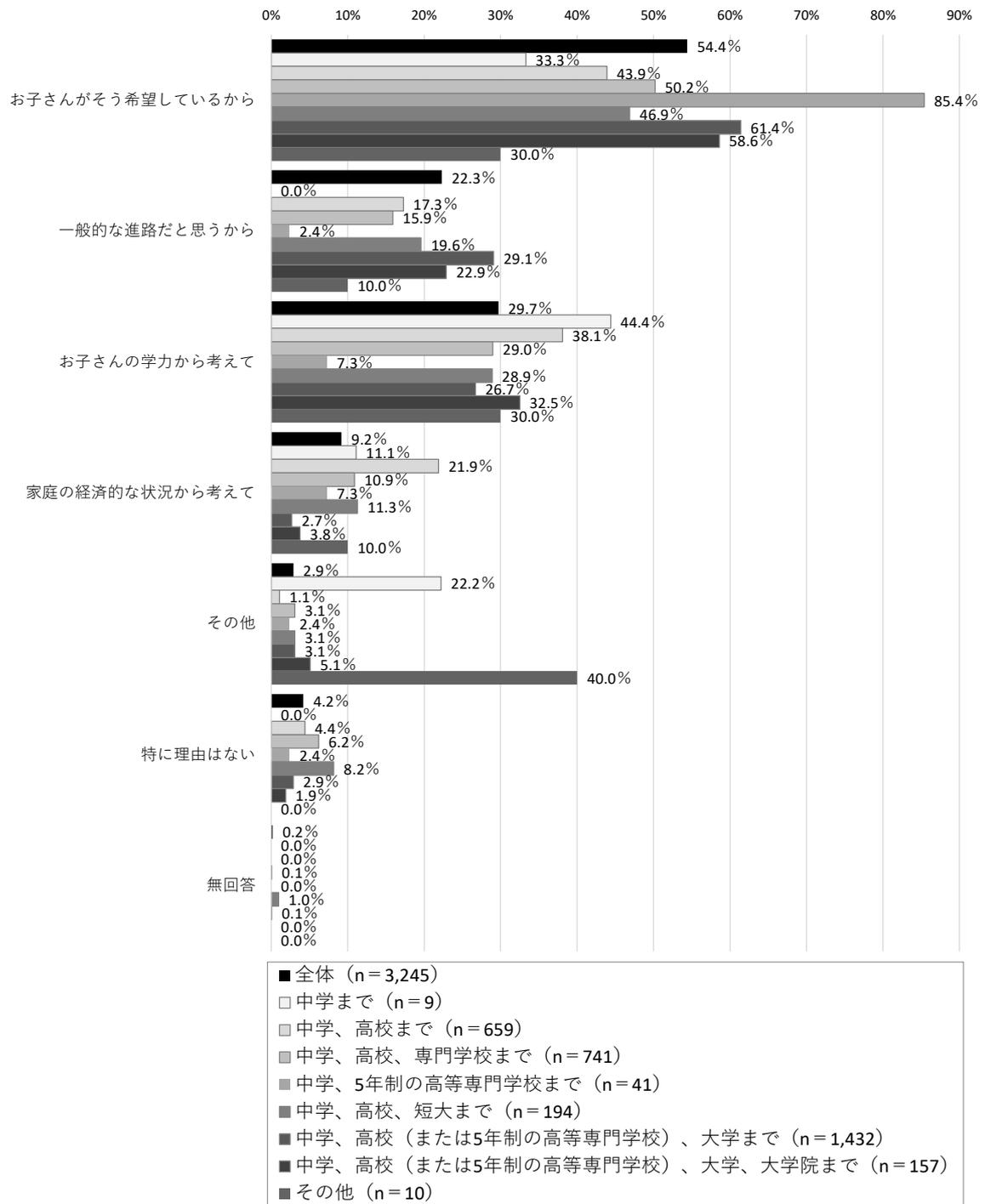


図 2-1-6-5 子どもの進路段階に関する希望・展望の回答別、そう考える理由

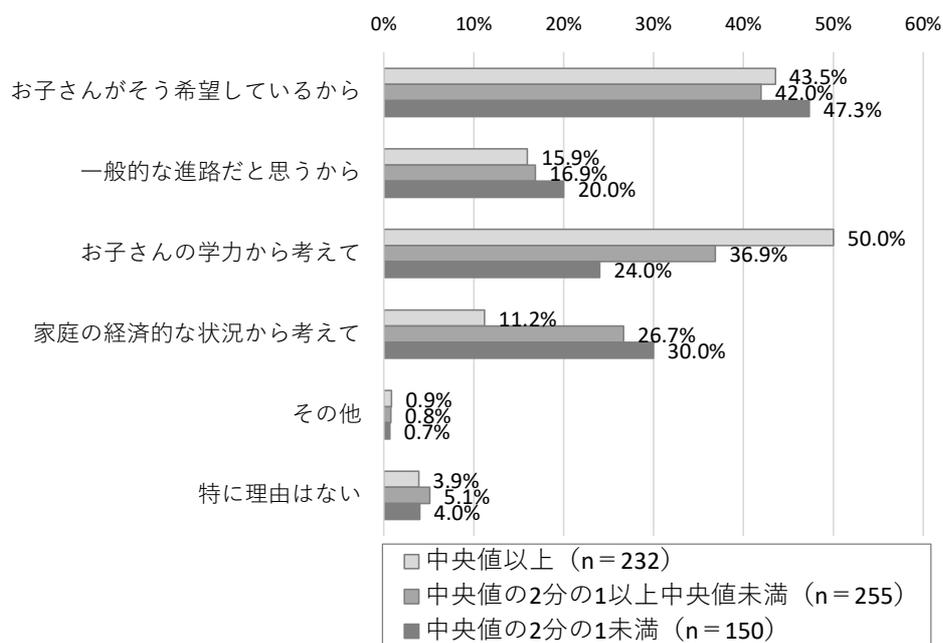


図 2-1-6-6 等価世帯収入の水準別、進学段階に関する希望・展望について「中学、高校まで」と考える理由

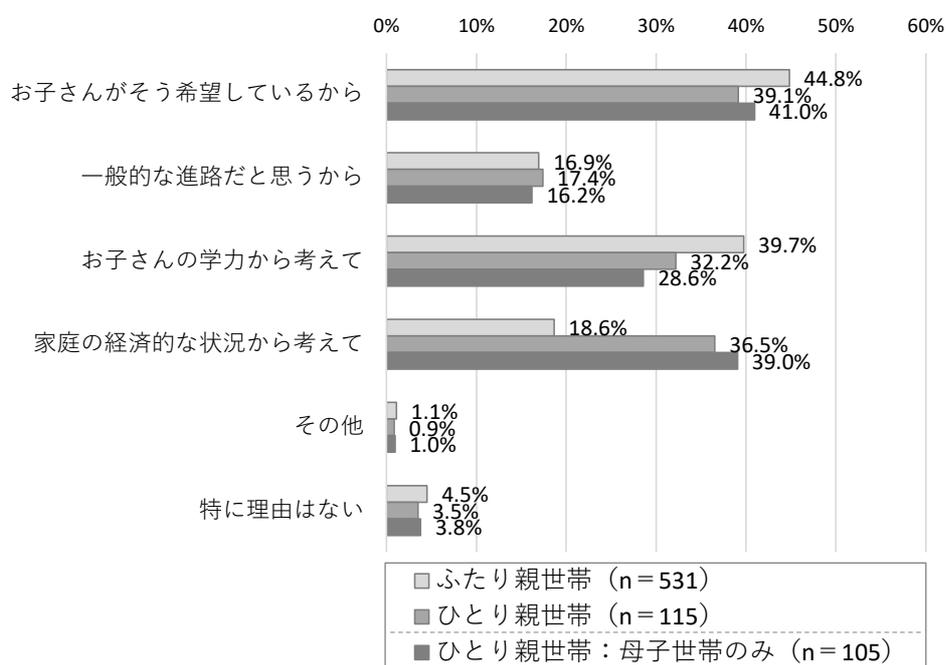


図 2-1-6-7 世帯の状況別、進学段階に関する希望・展望について「中学、高校まで」と考える理由

比較表 2-1-6-2 子どもの進路段階に関する希望・展望について、そう考える理由²⁰

上段：度数 下段：%		サンプル数	希望しているから	一般的な進路だと思えるから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答	
今回調査	全体	3,245	1,764 54.4	724 22.3	965 29.7	297 9.2	95 2.9	137 4.2	6 0.2	
前回調査	全体	2,760	655 23.7	965 35.0	233 8.4	147 5.3	335 12.1	265 9.6	160 5.8	
内閣府調査	全体	2,351	1,251 53.2	670 28.5	861 36.6	289 12.3	89 3.8	86 3.7	7 0.3	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,707 56.0	390 22.8	553 32.4	95 5.6	52 3.0	71 4.2		
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,051 52.3	550 21.1	222 28.6	301 12.5	26 2.5	53 5.0		
		中央値の2分の1未満	382 52.9	202 21.5	82 23.0	88 16.0	13 3.4	11 2.9		
	前回調査	中央値以上	1,139 100.0	322 28.3	444 39.0	108 9.5	23 2.0	140 12.3	102 9.0	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,020 100.0	233 22.8	384 37.6	88 8.6	76 7.5	132 12.9	107 10.5	
		中央値の2分の1未満	329 100.0	83 25.2	96 29.2	27 8.2	40 12.2	42 12.8	41 12.5	
	内閣府調査	中央値以上	1,193 789	684 403	400 193	448 279	95 110	45 34	44 26	
		中央値の2分の1以上中央値未満	-	57.3 51.1	33.5 24.5	37.6 35.4	8.0 13.9	3.8 4.3	3.7 3.3	
		中央値の2分の1未満	288	121 42.0	63 21.9	109 37.8	78 27.1	9 3.1	13 4.5	
	世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	2,780 55.1	1,531 22.8	634 30.5	849 7.9	221 2.8	77 4.2	118 4.2
			ひとり親世帯	411 49.9	205 19.0	78 26.8	110 17.0	70 3.9	16 4.1	17 4.1
			ひとり親世帯：母子世帯のみ	379 50.9	193 18.7	71 25.6	97 17.4	66 4.2	16 4.5	17 4.5
前回調査		ふたり親世帯	2,181 100.0	543 24.9	833 38.2	193 8.8	99 4.5	287 13.2	226 10.4	
		ひとり親世帯	403 100.0	106 26.3	128 31.8	40 9.9	45 11.2	47 11.7	37 9.2	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	332 100.0	84 25.3	108 32.5	34 10.2	39 11.7	40 12.0	27 8.1	
内閣府調査		ふたり親世帯	2,034 295	1,113 130	606 63	748 109	215 69	72 16	77 9	
		ひとり親世帯	-	54.7 44.1	29.8 21.4	36.8 36.9	10.6 23.4	3.5 5.4	3.8 3.1	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	257	119 46.3	49 19.1	97 37.7	57 22.2	16 6.2	6 2.3	
父親の就労形態別		今回調査	正規雇用	2,440 54.7	1,334 23.1	563 30.6	747 7.8	191 2.7	66 4.3	106 4.3
			非正規雇用	67 47.8	32 19.4	13 38.8	26 22.4	15 1.5	0 0.0	
			自営業	391 57.5	225 21.0	82 28.6	112 8.7	34 2.8	11 3.3	13 3.3
	無職・その他		306 49.7	152 19.9	61 24.2	74 24.2	53 17.3	15 4.9	17 5.6	
	前回調査	正規雇用	1,752 100.0	440 25.1	693 39.6	154 8.8	67 3.8	219 12.5	179 10.2	
		非正規雇用	88 100.0	22 25.0	31 35.2	8 9.1	13 14.8	7 8.0	7 8.0	
		自営業	340 100.0	94 27.6	107 31.5	29 8.5	15 4.4	49 14.4	46 13.5	
		無職・その他	33 100.0	7 21.2	7 21.2	4 12.1	3 9.1	9 27.3	3 9.1	
	母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,141 51.5	588 24.2	276 30.9	353 9.5	108 3.2	36 3.9	44 3.9
			非正規雇用	1,506 176.7	691 83.6	327 108.4	424 35.5	139 11.0	43 17.9	70 17.9
			自営業	266 59.0	157 18.4	49 28.2	75 7.9	21 3.4	9 4.9	13 4.9
			無職・その他	325 54.8	178 22.2	72 35.4	115 8.9	29 2.2	7 3.1	10 3.1
前回調査		正規雇用	587 100.0	148 25.2	243 41.4	58 9.9	20 3.4	68 11.6	50 8.5	
		非正規雇用	1,161 100.0	288 24.8	428 36.9	99 8.5	84 7.2	145 12.5	117 10.1	
		自営業	177 100.0	55 31.1	53 29.9	13 7.3	11 6.2	27 15.3	18 10.2	
		無職・その他	529 100.0	125 23.6	194 36.7	49 9.3	19 3.6	75 14.2	67 12.7	

²⁰ 前回調査でも「子どもの進路段階」に関する同類の設問があったが、今回調査と異なり、単一回答（SA）であり、比較が難しいため、参考までに比較表に記載する。

2.1.7. 子どもの学習機会

(1) 授業以外での指導者（分からないことを教えてもらう人） （保護者票 問 17、SA、県独自）

子どもが、学校の学習で分からないことを教えてもらっている人は、「親やきょうだいなどの家族」が 29.2%、「塾（家庭教師を含む）の先生」が 24.0%、「学校の友達」が 18.1%、「学校の先生（放課後）」が 14.9%となっている。「その他」は、「YouTuber」や「子どもがインターネット等で、自分で調べている」、「聞いていない」等であった。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では「塾（家庭教師を含む）の先生」が 14.2%と、「中央値以上」の世帯（30.6%）と比べて 16.4 ポイント低く、「学校の先生（放課後）」が 19.9%と、「中央値以上」の世帯（13.0%）と比べて 6.9 ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「親やきょうだいなどの家族」が 24.4%と、「ふたり親世帯」（30.1%）と比べて 5.7 ポイント低くなっている。

今回調査と前回調査を比較すると、前回調査の全体で「塾（家庭教師を含む）の先生」が 6.7%、「学校の友達」が 6.8%であり、今回調査の方がそれぞれ 17.3 ポイント、11.3 ポイント高くなっている。

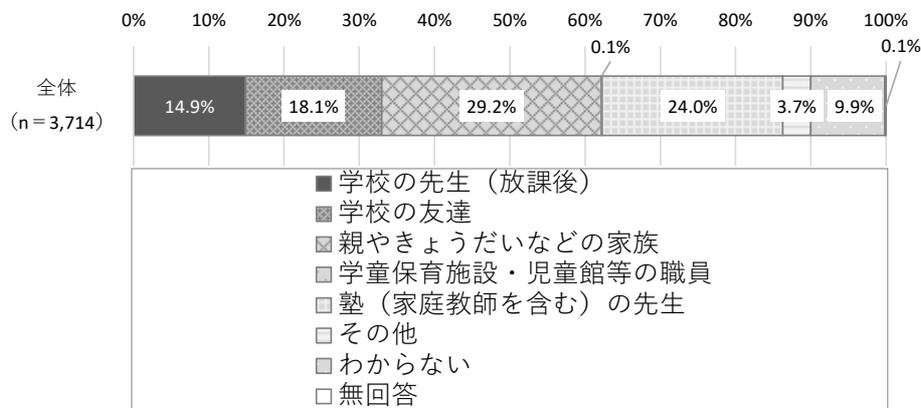


図 2-1-7-1 授業以外での指導者（分からないことを教えてもらう人）

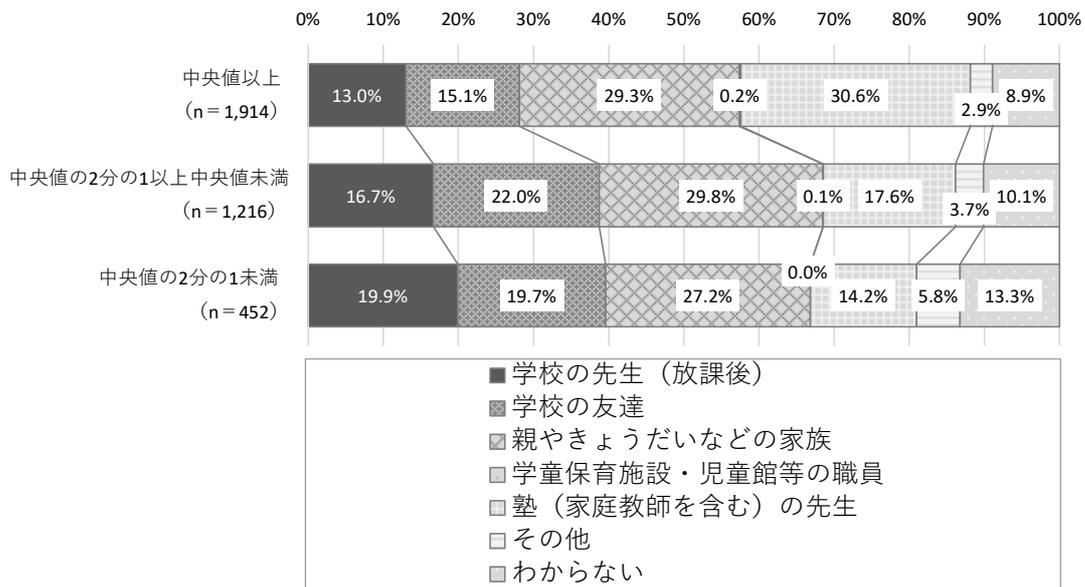


図 2-1-7-2 等価世帯収入の水準別、授業以外での指導者 (分からないことを教えてもらう人)

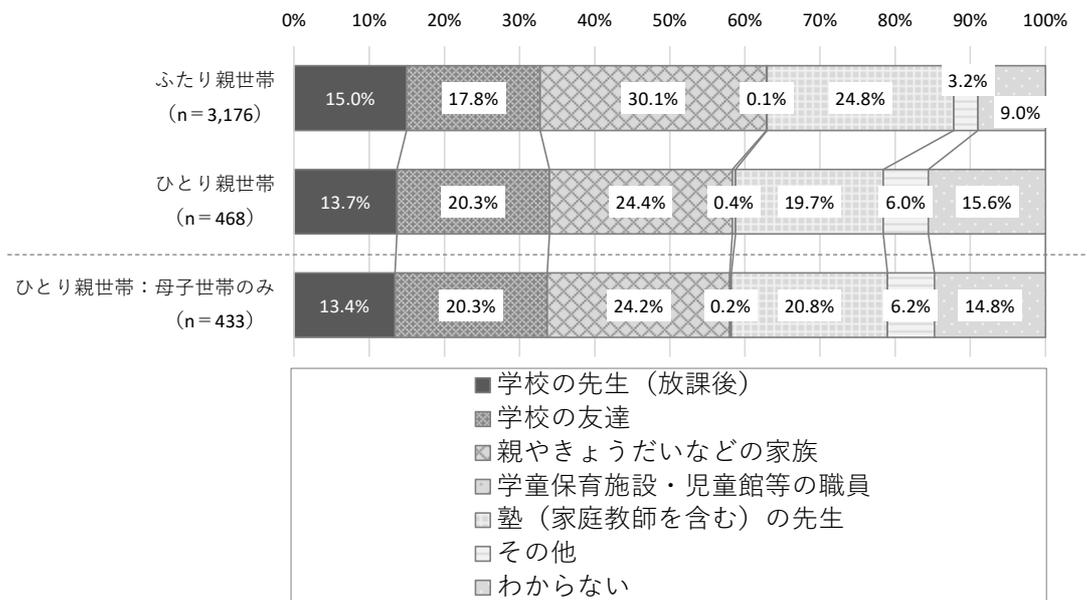


図 2-1-7-3 世帯の状況別、授業以外での指導者 (分からないことを教えてもらう人)

比較表 2-1-7-1 授業以外での指導者（分からないことを教えてもらう人）

		サンプル数	学校の先生（放課後）	学校の友達	親やきょうだいなどの家族	児童館等の職員・学童保育施設	塾（家庭教師を含む。）の先生	その他	わからない	無回答	
上段：度数 下段：%											
今回調査	全体	3,714 100.0	552 14.9	672 18.1	1,084 29.2	5 0.1	892 24.0	137 3.7	367 9.9	5 0.1	
前回調査	全体	2,785 100.0	383 13.8	188 6.8	1,741 62.5	48 1.7	187 6.7	70 2.5	108 3.9	60 2.2	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,914 100.0	249 13.0	289 15.1	560 29.3	4 0.2	585 30.6	56 2.9	171 8.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,216 100.0	203 16.7	268 22.0	362 29.8	1 0.1	214 17.6	45 3.7	123 10.1	
		中央値の2分の1未満	452 100.0	90 19.9	89 19.7	123 27.2	0 0.0	64 14.2	26 5.8	60 13.3	
	前回調査	中央値以上	1,173 100.0	139 11.8	76 6.5	766 65.3	22 1.9	112 9.5	24 2.0	34 2.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,085 100.0	172 15.9	72 6.6	689 63.5	17 1.6	53 4.9	27 2.5	55 5.1	
		中央値の2分の1未満	351 100.0	53 15.1	29 8.3	216 61.5	7 2.0	17 4.8	15 4.3	14 4.0	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,176 100.0	476 15.0	564 17.8	956 30.1	3 0.1	789 24.8	102 3.2	286 9.0	
		ひとり親世帯	468 100.0	64 13.7	95 20.3	114 24.4	2 0.4	92 19.7	28 6.0	73 15.6	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433 100.0	58 13.4	88 20.3	105 24.2	1 0.2	90 20.8	27 6.2	64 14.8	
	前回調査	ふたり親世帯	2,290 100.0	311 13.6	149 6.5	1,510 65.9	31 1.4	161 7.0	45 2.0	83 3.6	
		ひとり親世帯	416 100.0	65 15.6	39 9.4	224 53.8	17 4.1	26 6.3	22 5.3	23 5.5	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	343 100.0	54 15.7	34 9.9	179 52.2	15 4.4	23 6.7	19 5.5	19 5.5	
父親の就労形態別	今回調査	正規雇用	2,778 100.0	395 14.2	486 17.5	828 29.8	3 0.1	709 25.5	94 3.4	263 9.5	
		非正規雇用	78 100.0	16 20.5	18 23.1	21 26.9	0 0.0	13 16.7	2 2.6	8 10.3	
		自営業	461 100.0	82 17.8	81 17.6	139 30.2	1 0.2	101 21.9	18 3.9	39 8.5	
		無職・その他	353 100.0	49 13.9	81 22.9	86 24.4	1 0.3	63 17.8	21 5.9	52 14.7	
	前回調査	正規雇用	1,828 100.0	241 13.2	106 5.8	1,222 66.8	26 1.4	129 7.1	35 1.9	69 3.8	
		非正規雇用	88 100.0	12 13.6	9 10.2	49 55.7	1 1.1	7 8.0	3 3.4	7 8.0	
		自営業	365 100.0	56 15.3	23 6.3	231 63.3	7 1.9	29 7.9	9 2.5	10 2.7	
		無職・その他	38 100.0	6 15.8	9 23.7	19 50.0	0 0.0	2 5.3	1 2.6	1 2.6	
母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,282 100.0	197 15.4	219 17.1	356 27.8	3 0.2	344 26.8	38 3.0	125 9.8	
		非正規雇用	1,718 100.0	252 14.7	327 19.0	485 28.2	1 0.1	417 24.3	69 4.0	167 9.7	
		自営業	316 100.0	41 13.0	63 19.9	103 32.6	0 0.0	63 19.9	15 4.7	31 9.8	
		無職・その他	390 100.0	61 15.6	63 16.2	139 35.6	1 0.3	68 17.4	15 3.8	43 11.0	
	前回調査	正規雇用	613 100.0	83 13.5	52 8.5	358 58.4	24 3.9	52 8.5	19 3.1	25 4.1	
		非正規雇用	1,208 100.0	178 14.7	89 7.4	760 62.9	17 1.4	79 6.5	27 2.2	58 4.8	
		自営業	186 100.0	34 18.3	9 4.8	121 65.1	1 0.5	16 8.6	2 1.1	3 1.6	
		無職・その他	562 100.0	58 10.3	23 4.1	410 73.0	2 0.4	36 6.4	15 2.7	18 3.2	

(2) 学校以外の勉強場所

(保護者票 問 18、MA：時間が長いものから、あてはまるものを3つ選択、県独自)

学校以外で子どもが勉強している場所については、「自宅（子ども部屋）」が83.3%、「自宅（子ども部屋以外）」が76.1%、「塾」が31.7%となっている。「その他」は、「図書館」や「学校の昼休み・放課後を使って勉強している」等であった。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では「塾」が16.4%と、「中央値以上」の世帯(39.5%)と比べて23.1ポイント低く、「勉強はしていない」が16.8%と、「中央値以上」の世帯(11.8%)と比べて5ポイント高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「自宅（子ども部屋）」が76.2%、「自宅（子ども部屋以外）」が71.4%、「塾」が23.8%と、「ふたり親世帯」と比べて、それぞれ8.7ポイント、5.9ポイント、9.4ポイント低く、「祖父母宅」が12.6%、「勉強はしていない」が16.2%と、それぞれ3.2ポイント高くなっている。

今回調査と前回調査を比較すると、前回調査の全体で「自宅（子ども部屋）」が60.7%、「塾」が17.2%と、今回調査の方がそれぞれ22.6ポイント、14.5ポイント高くなっている。

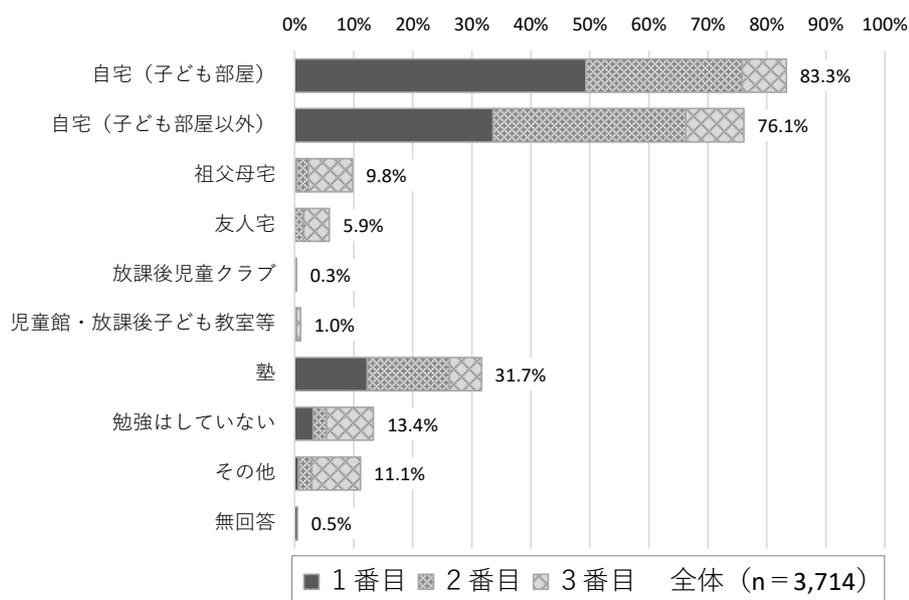


図 2-1-7-4 学校以外での勉強場所²¹

²¹ 図のデータは、回答者が、時間が長いものから順に1番目・2番目・3番目に選んだ選択肢を積み上げた合計値を示している。

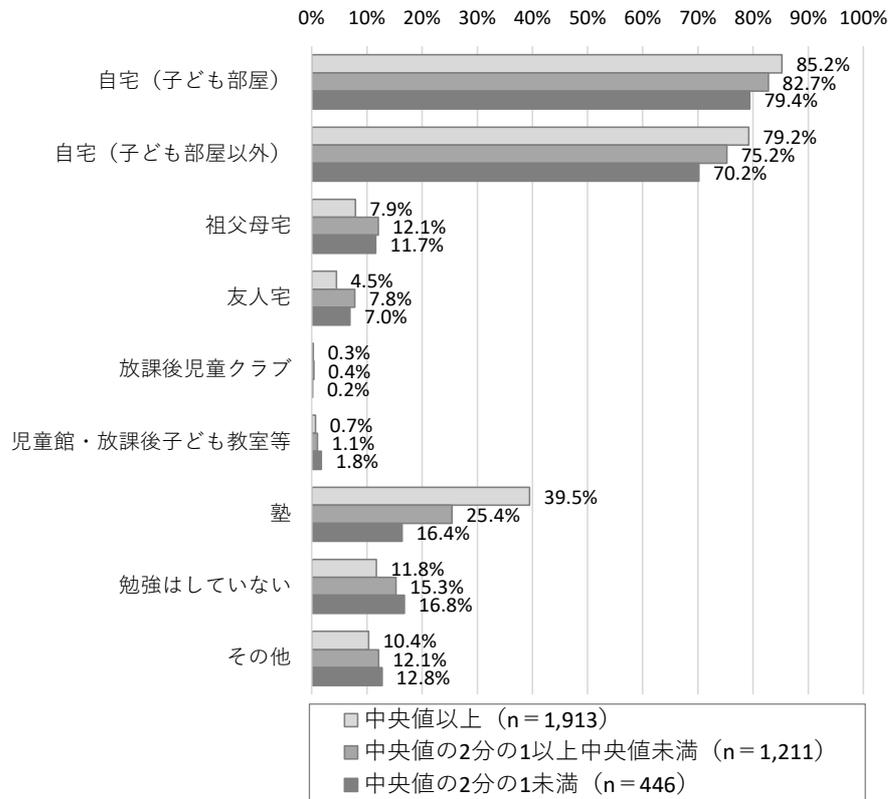


図 2-1-7-5 等価世帯収入の水準別、学校以外での勉強場所

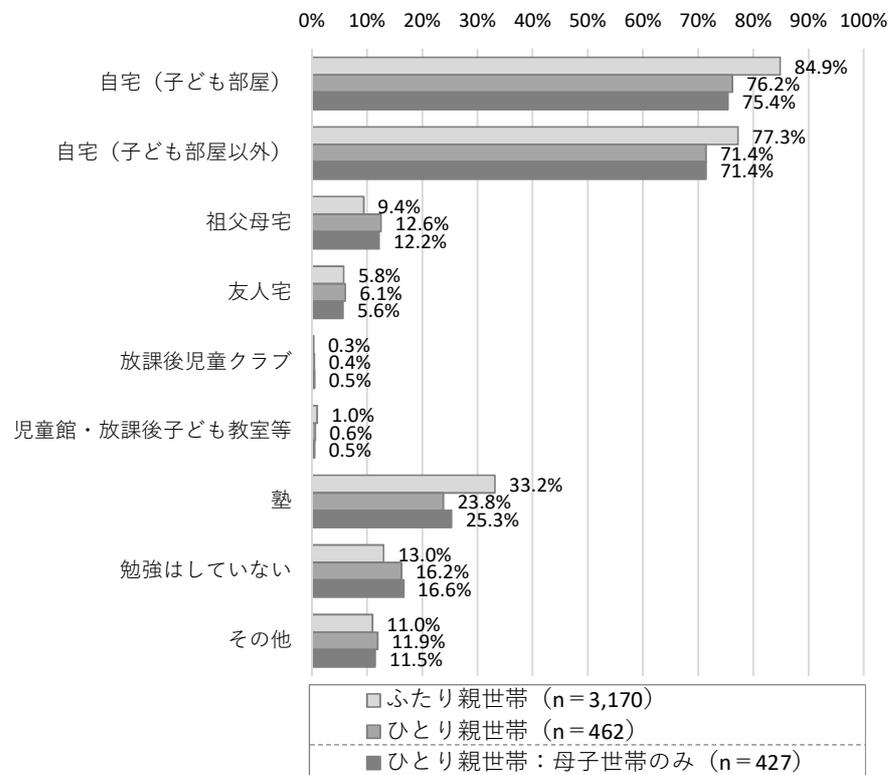


図 2-1-7-6 世帯の状況別、学校以外での勉強場所

比較表 2-1-7-2 学校以外での勉強場所

		サンプル数	自宅 (子ども部屋)	自宅 (子ども部屋以外)	祖父母宅	友人宅	放課後 児童クラブ	児童館・ 放課後子ども 教室等	塾	勉強は していない	その他	無回答
上段：度数 下段：%												
今回調査	全体	3,714	3,093	2,827	364	218	12	37	1,176	496	414	18
		-	83.3	76.1	9.8	5.9	0.3	1.0	31.7	13.4	11.1	0.5
前回調査	全体	2,785	1,691	2,273	539	230	474	126	479	90	196	
		-	60.7	81.6	19.4	8.3	17.0	4.5	17.2	3.2	7.0	
等価世帯 収入の 水準別	今回調査	中央値以上	1,913	1,630	1,515	152	86	6	14	756	225	198
			-	85.2	79.2	7.9	4.5	0.3	0.7	39.5	11.8	10.4
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,211	1,002	911	146	95	5	13	308	185	147
		-	82.7	75.2	12.1	7.8	0.4	1.1	25.4	15.3	12.1	
		中央値の2分の1未満	446	354	313	52	31	1	8	73	75	57
		-	79.4	70.2	11.7	7.0	0.2	1.8	16.4	16.8	12.8	
前回調査	中央値以上	1,199	713.0	984.0	197.0	91.0	218.0	42.0	295.0	30.0	79.0	
		-	59.5	82.1	16.4	7.6	18.2	3.5	24.6	2.5	6.6	
	中央値の2分の1以上中央値未満	1,102	715.0	914.0	239.0	100.0	178.0	50.0	129.0	35.0	66.0	
	-	64.9	82.9	21.7	9.1	16.2	4.5	11.7	3.2	6.0		
	中央値の2分の1未満	359	193.0	278.0	87.0	36.0	54.0	31.0	32.0	22.0	38.0	
	-	53.8	77.4	24.2	10.0	15.0	8.6	8.9	6.1	10.6		
世帯の 状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,170	2,690	2,449	298	184	10	31	1,052	413	349
			-	84.9	77.3	9.4	5.8	0.3	1.0	33.2	13.0	11.0
		ひとり親世帯	462	352	330	58	28	2	3	110	75	55
		-	76.2	71.4	12.6	6.1	0.4	0.6	23.8	16.2	11.9	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	427	322	305	52	24	2	2	108	71	49
		-	75.4	71.4	12.2	5.6	0.5	0.5	25.3	16.6	11.5	
前回調査	ふたり親世帯	2,340	1,439	1,958	452	188	386	101	409	69	153	
		-	61.5	83.7	19.3	8.0	16.5	4.3	17.5	2.9	6.5	
	ひとり親世帯	425	244	303	84	41	85	24	67	21	41	
		-	57.4	71.3	19.8	9.6	20.0	5.6	15.8	4.9	9.6	
	ひとり親世帯：母子世帯のみ	350	187	257	67	31	77	21	58	18	36	
	-	53.4	73.4	19.1	8.9	22.0	6.0	16.6	5.1	10.3		
父親の 就労形 態別	今回調査	正規雇用	2,772	2,344	2,151	260	157	8	20	950	357	298
			-	84.6	77.6	9.4	5.7	0.3	0.7	34.3	12.9	10.8
		非正規雇用	77	62	56	5	5	0	2	13	13	13
			-	80.5	72.7	6.5	6.5	0.0	2.6	16.9	16.9	16.9
		自営業	460	391	338	55	32	1	10	130	64	55
		-	85.0	73.5	12.0	7.0	0.2	2.2	28.3	13.9	12.0	
		無職・その他	349	268	257	42	23	3	5	73	56	44
		-	76.8	73.6	12.0	6.6	0.9	1.4	20.9	16.0	12.6	
前回調査	正規雇用	1,863	1,147	1,564	366	154	310	70	333	57	116	
		-	61.6	84.0	19.6	8.3	16.6	3.8	17.9	3.1	6.2	
	非正規雇用	93	54	71	23	8	15	7	11	1	7	
		-	58.1	76.3	24.7	8.6	16.1	7.5	11.8	1.1	7.5	
	自営業	375	238	300	75	33	59	24	73	10	21	
	-	63.5	80.0	20.0	8.8	15.7	6.4	19.5	2.7	5.6		
	無職・その他	39	25	28	4	6	3	2	3	1	8	
	-	64.1	71.8	10.3	15.4	7.7	5.1	7.7	2.6	20.5		
母親の 就労形 態別	今回調査	正規雇用	1,275	1,075	966	123	70	7	16	439	181	128
			-	84.3	75.8	9.6	5.5	0.5	1.3	34.4	14.2	10.0
		非正規雇用	1,715	1,423	1,313	152	106	4	12	546	227	200
			-	83.0	76.6	8.9	6.2	0.2	0.7	31.8	13.2	11.7
		自営業	314	270	240	46	12	0	6	93	35	45
		-	86.0	76.4	14.6	3.8	0.0	1.9	29.6	11.1	14.3	
		無職・その他	388	321	306	43	30	1	3	98	53	41
		-	82.7	78.9	11.1	7.7	0.3	0.8	25.3	13.7	10.6	
前回調査	正規雇用	625	351	498	149	49	173	35	122	23	39	
		-	56.2	79.7	23.8	7.8	27.7	5.6	19.5	3.7	6.2	
	非正規雇用	1,241	765	1,021	221	111	222	53	202	43	90	
		-	61.6	82.3	17.8	8.9	17.9	4.3	16.3	3.5	7.3	
	自営業	192	119	159	38	14	25	11	42	6	10	
	-	62.0	82.8	19.8	7.3	13.0	5.7	21.9	3.1	5.2		
	無職・その他	568	349	482	103	42	30	21	91	13	46	
	-	61.4	84.9	18.1	7.4	5.3	3.7	16.0	2.3	8.1		

(3) 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用状況
 (保護者票 問 19、SA、県独自)

子どもに役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師を利用させたことがあるかについては、「よく利用させている」が1.2%、「たまに利用させている」が2.4%、「1回だけ利用させた」が2.6%となっており、合わせた割合は6.2%となっている。

一方で、「利用させたことはない」が93.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「よく利用させている」と「たまに利用させている」と「1回だけ利用させた」に該当する割合は、「中央値以上」の世帯が5.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯が5.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯が9.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく利用させている」と「たまに利用させている」と「1回だけ利用させた」に該当する割合は、「ふたり親世帯」が5.7%、「ひとり親世帯」が7.9%、うち「母子世帯」のみが8.5%となっている。

今回調査と前回調査の結果に大きな変化は見られない。

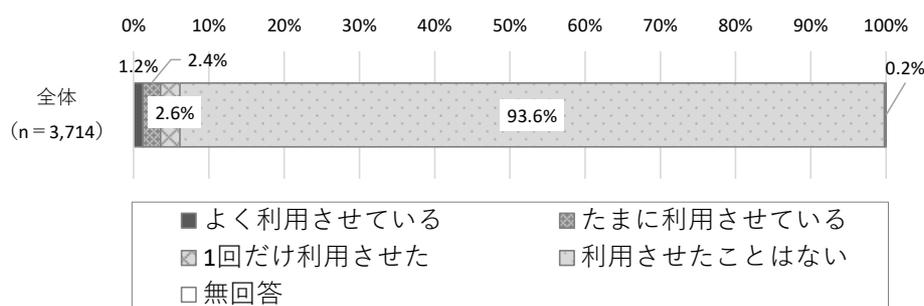


図 2-1-7-7 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用状況

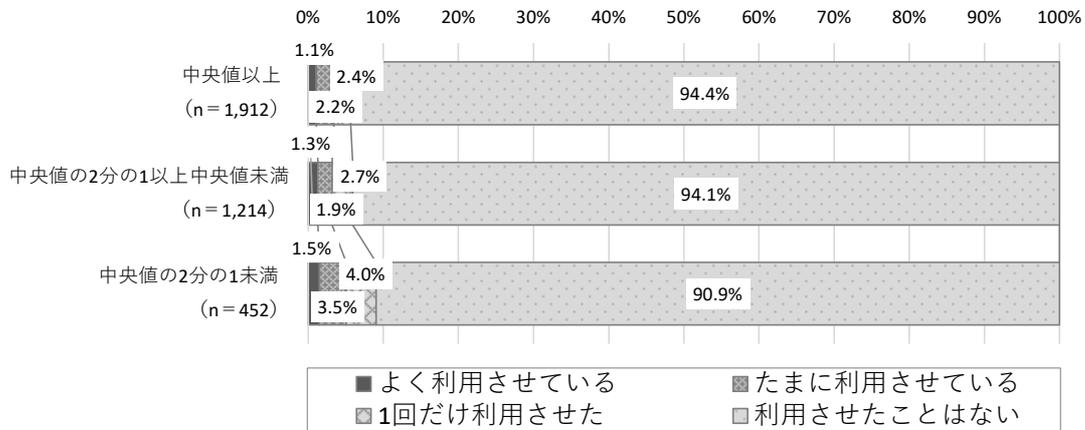


図 2-1-7-8 等価世帯収入の水準別、役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用状況

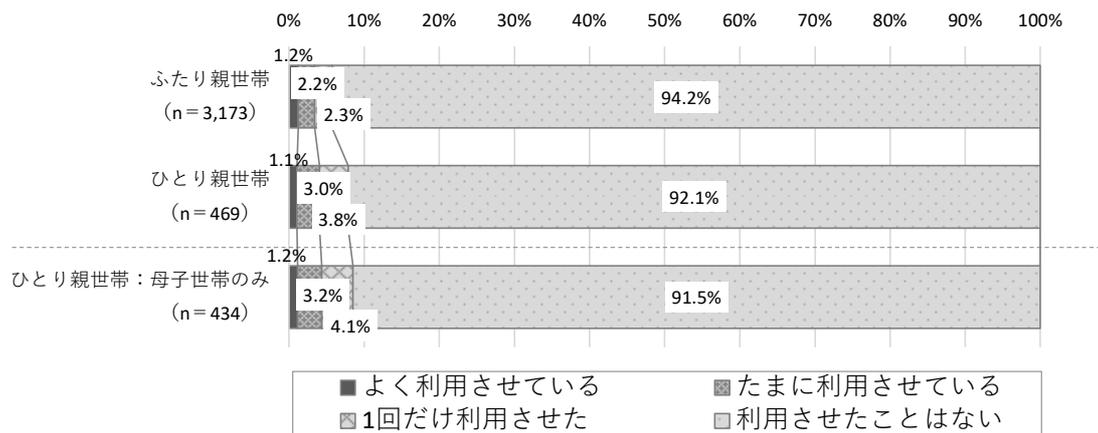


図 2-1-7-9 世帯の状況別、役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用状況

比較表 2-1-7-3 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用状況

		サンプル数	よく利用させている	利用させている	利用させない	利用させたことは	無回答	
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714 100.0	45 1.2	88 2.4	95 2.6	3,478 93.6	8 0.2	
前回調査	全体	2,785 100.0	26 0.9	59 2.1	48 1.7	2,620 94.1	32 1.1	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,912 100.0	21 1.1	45 2.4	42 2.2	1,804 94.4	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,214 100.0	16 1.3	23 1.9	33 2.7	1,142 94.1	
		中央値の2分の1未満	452 100.0	7 1.5	16 3.5	18 4.0	411 90.9	
	前回調査	中央値以上	1,187 100.0	9 0.8	26 2.2	20 1.7	1,132 95.4	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,092 100.0	6 0.5	23 2.1	18 1.6	1,045 95.7	
		中央値の2分の1未満	354 100.0	9 2.5	7 2.0	6 1.7	332 93.8	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,173 100.0	39 1.2	70 2.2	74 2.3	2,990 94.2	
		ひとり親世帯	469 100.0	5 1.1	14 3.0	18 3.8	432 92.1	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	434 100.0	5 1.2	14 3.2	18 4.1	397 91.5	
	前回調査	ふたり親世帯	2,316 100.0	18 0.8	55 2.4	39 1.7	2,204 95.2	
		ひとり親世帯	418 100.0	8 1.9	4 1.0	7 1.7	399 95.5	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	344 100.0	8 2.3	3 0.9	6 1.7	327 95.1	
父親の就労形態別	今回調査	正規雇用	2,776 100.0	30 1.1	62 2.2	69 2.5	2,615 94.2	
		非正規雇用	78 100.0	1 1.3	0 0.0	1 1.3	76 97.4	
		自営業	460 100.0	8 1.7	13 2.8	11 2.4	428 93.0	
		無職・その他	351 100.0	5 1.4	9 2.6	14 4.0	323 92.0	
	前回調査	正規雇用	1,843 100.0	12 0.7	45 2.4	27 1.5	1,759 95.4	
		非正規雇用	91 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	90 98.9	
		自営業	370 100.0	4 1.1	7 1.9	11 3.0	348 94.1	
		無職・その他	39 100.0	0 0.0	1 2.6	1 2.6	37 94.9	
母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,282 100.0	18 1.4	33 2.6	39 3.0	1,192 93.0	
		非正規雇用	1,715 100.0	21 1.2	34 2.0	39 2.3	1,621 94.5	
		自営業	315 100.0	4 1.3	12 3.8	9 2.9	290 92.1	
		無職・その他	390 100.0	2 0.5	9 2.3	8 2.1	371 95.1	
	前回調査	正規雇用	621 100.0	6 1.0	13 2.1	11 1.8	591 95.2	
		非正規雇用	1,221 100.0	11 0.9	25 2.0	22 1.8	1,163 95.2	
		自営業	189 100.0	1 0.5	3 1.6	5 2.6	180 95.2	
		無職・その他	564 100.0	6 1.1	12 2.1	7 1.2	539 95.6	

(4) 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用希望
 (保護者票 問 20、SA、県独自)

役場等が実施する、無料の勉強会や家庭教師があれば、子どもに利用させたいと思うかについては、「利用させたい」が 29.4%、「内容によっては、利用させたい」が 51.6%となっており、合わせた割合は 81.0%となっている。

一方で、「利用させたくない」は 2.6%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「利用させたい」と「内容によっては、利用させたい」に該当する割合は、「中央値以上」の世帯で 81.5%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯で 82.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯で 79.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用させたい」と「内容によっては、利用させたい」に該当する割合は、「ふたり親世帯」では 81.7%、「ひとり親世帯」では 80.1%、うち「母子世帯」のみで 79.9%となっている。

今回調査と前回調査の結果に大きな変化は見られない。

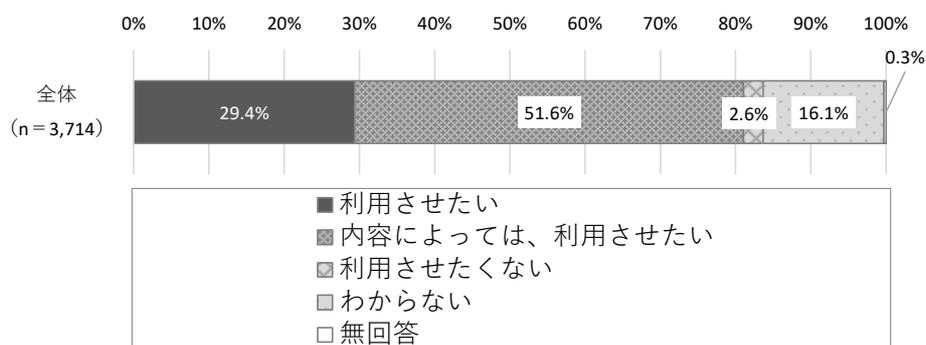


図 2-1-7-10 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用希望

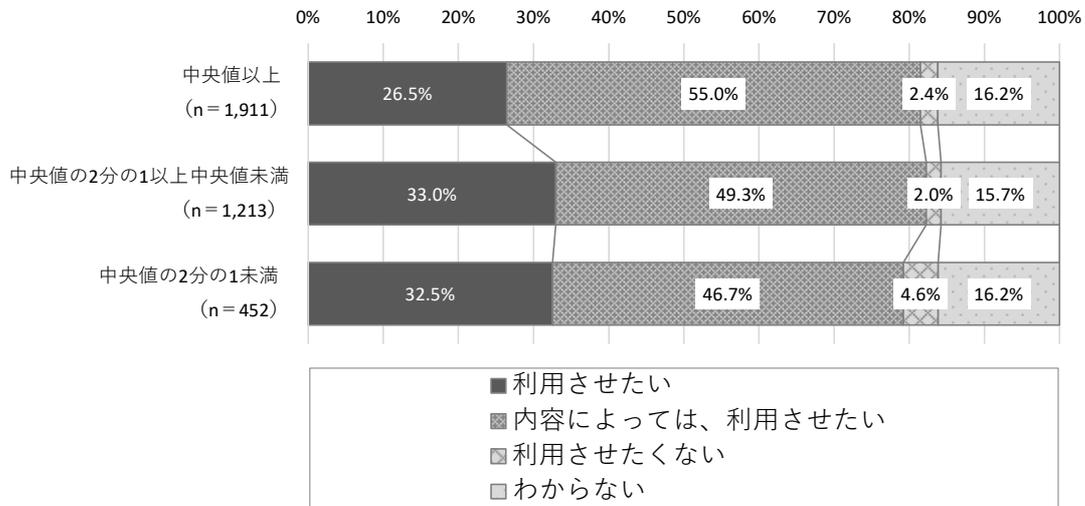


図 2-1-7-11 等価世帯収入の水準別、役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用希望

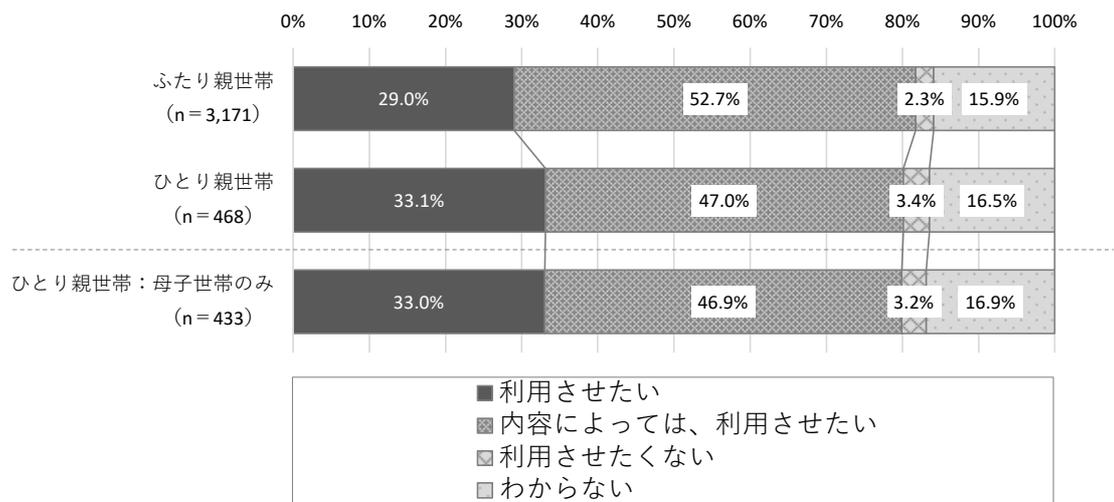


図 2-1-7-12 世帯の状況別、役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用希望

比較表 2-1-7-4 役場等が実施している無料の勉強会や家庭教師の利用希望

		サンプル数	利用させたい	内容によつては、利用させたい	利用させたくない	わからない	無回答	
上段：度数 下段：%								
今回調査	全体	3,714 100.0	1,092 29.4	1,918 51.6	97 2.6	597 16.1	10 0.3	
前回調査	全体	2,785 100.0	791 28.4	1,499 53.8	55 2.0	411 14.8	29 1.0	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,911 100.0	506 26.5	1,051 55.0	45 2.4	309 16.2	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,213 100.0	400 33.0	598 49.3	24 2.0	191 15.7	
		中央値の2分の1未満	452 100.0	147 32.5	211 46.7	21 4.6	73 16.2	
	前回調査	中央値以上	1,188 100.0	297 25.0	661 55.6	32 2.7	198 16.7	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,093 100.0	353 32.3	593 54.3	14 1.3	133 12.2	
		中央値の2分の1未満	354 100.0	112 31.6	182 51.4	7 2.0	53 15.0	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,171 100.0	921 29.0	1,671 52.7	74 2.3	505 15.9	
		ひとり親世帯	468 100.0	155 33.1	220 47.0	16 3.4	77 16.5	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433 100.0	143 33.0	203 46.9	14 3.2	73 16.9	
	前回調査	ふたり親世帯	2,320 100.0	641 27.6	1,286 55.4	52 2.2	341 14.7	
		ひとり親世帯	416 100.0	143 34.4	206 49.5	2 0.5	65 15.6	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	342 100.0	116 33.9	168 49.1	2 0.6	56 16.4	
父親の就労形態別	今回調査	正規雇用	2,775 100.0	809 29.2	1,445 52.1	72 2.6	449 16.2	
		非正規雇用	78 100.0	20 25.6	44 56.4	2 2.6	12 15.4	
		自営業	459 100.0	132 28.8	250 54.5	10 2.2	67 14.6	
		無職・その他	352 100.0	117 33.2	160 45.5	12 3.4	63 17.9	
	前回調査	正規雇用	1,848 100.0	502 27.2	1,026 55.5	41 2.2	279 15.1	
		非正規雇用	92 100.0	26 28.3	54 58.7	3 3.3	9 9.8	
		自営業	369 100.0	108 29.3	204 55.3	4 1.1	53 14.4	
		無職・その他	39 100.0	10 25.6	24 61.5	2 5.1	3 7.7	
母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,280 100.0	386 30.2	661 51.6	28 2.2	205 16.0	
		非正規雇用	1,716 100.0	509 29.7	883 51.5	45 2.6	279 16.3	
		自営業	314 100.0	90 28.7	168 53.5	9 2.9	47 15.0	
		無職・その他	390 100.0	106 27.2	205 52.6	15 3.8	64 16.4	
	前回調査	正規雇用	621 100.0	188 30.3	317 51.0	15 2.4	101 16.3	
		非正規雇用	1,224 100.0	349 28.5	688 56.2	24 2.0	163 13.3	
		自営業	189 100.0	50 26.5	109 57.7	4 2.1	26 13.8	
		無職・その他	565 100.0	153 27.1	309 54.7	10 1.8	93 16.5	

2. 1. 8. 学校外での子どもの状況

(1) 子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所

（保護者票 問 21、MA：もっとも多い場所から、あてはまるものを3つ選択、県独自）

子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所は、「自宅」が98.5%、「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が40.8%、「祖父母宅」が23.7%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が25.1%と、「中央値以上」の世帯（49.3%）に比べて24.2ポイント低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が31.3%（うち「母子世帯」のみでは31.6%）と「ふたり親世帯」（42.5%）に比べて11.2ポイント（うち「母子世帯」のみでは10.9ポイント）低くなっている。

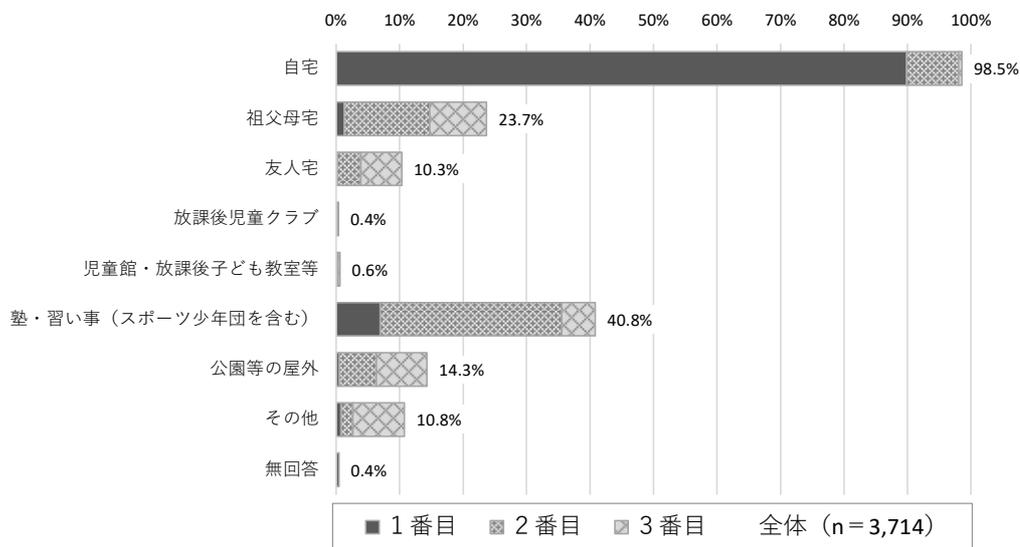


図 2-1-8-1 子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所²²

²² 図のデータは、回答者が、時間が長いものから順に1番目・2番目・3番目に選んだ選択肢を積み上げた合計値を示している。

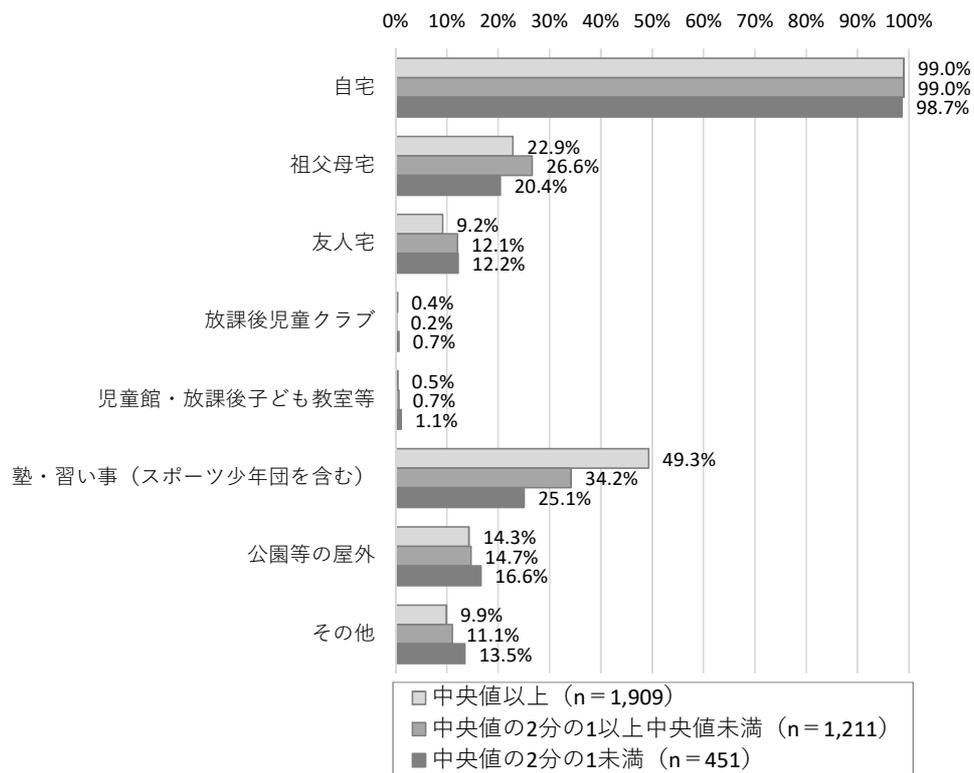


図 2-1-8-2 等価世帯収入の水準別、子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所

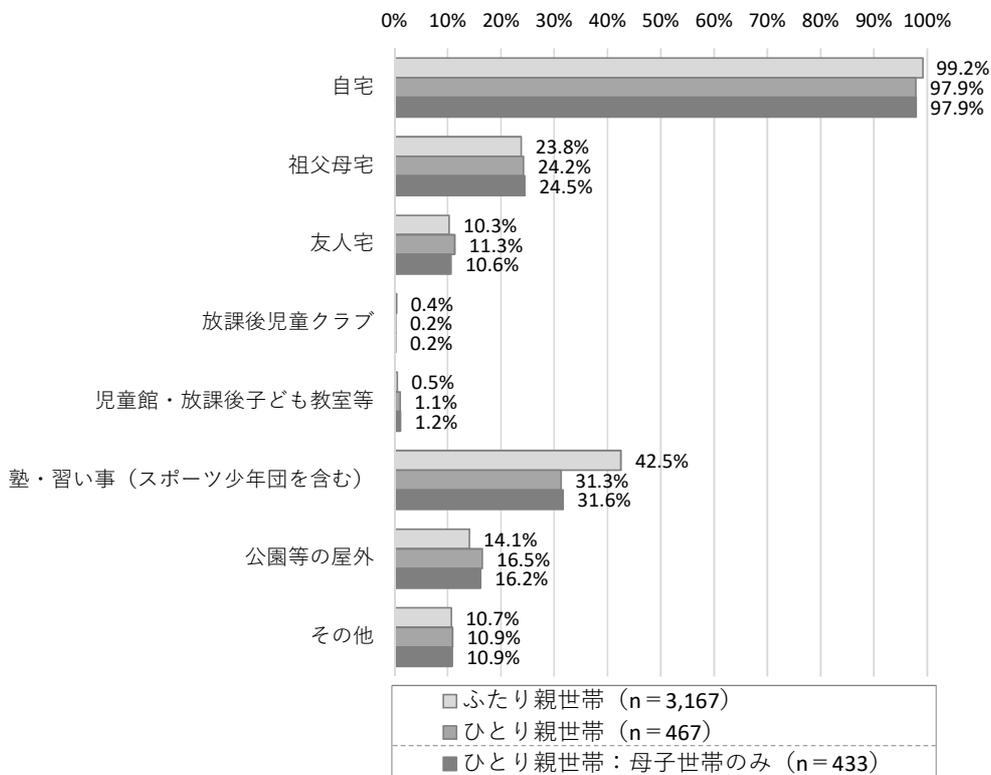


図 2-1-8-3 世帯の状況別、子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所

比較表 2-1-8-1 子どもが部活動後に過ごす場所

		サンプル数	自宅	祖父母宅	友人宅	放課後児童クラブ	児童館・放課後子ども教室等	スポーツ少年団を含む)	塾・習い事(スポーツ少年団を含む)	公園等の屋外	その他	無回答
上段：度数 下段：%												
今回調査	全体	3,714	3,660 98.5	880 23.7	384 10.3	13 0.4	22 0.6	1,516 40.8	532 14.3	400 10.8	16 0.4	
前回調査	全体	2,785	2,618 94.0	722 25.9	422 15.2	479 17.2	83 3.0	1,178 42.3	535 19.2	168 6.0	53 1.9	
等価世帯収入の水準別	今回調査	中央値以上	1,909	1,890 99.0	437 22.9	175 9.2	7 0.4	9 0.5	941 49.3	273 14.3	189 9.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,211	1,199 99.0	322 26.6	146 12.1	3 0.2	8 0.7	414 34.2	178 14.7	134 11.1	
		中央値の2分の1未満	451	445 98.7	92 20.4	55 12.2	3 0.7	5 1.1	113 25.1	75 16.6	61 13.5	
	前回調査	中央値以上	1,199	1,128 94.1	293 24.4	165 13.8	224 18.7	30 2.5	599 50.0	213 17.8	71 5.9	
		中央値の2分の1以上中央値未満	1,102	1,052 95.5	296 26.9	182 16.5	176 16.0	33 3.0	433 39.3	221 20.1	64 5.8	
		中央値の2分の1未満	359	326 90.8	111 30.9	57 15.9	54 15.0	18 5.0	111 30.9	80 22.3	30 8.4	
世帯の状況別	今回調査	ふたり親世帯	3,167	3,141 99.2	754 23.8	325 10.3	12 0.4	17 0.5	1,346 42.5	446 14.1	339 10.7	
		ひとり親世帯	467	457 97.9	113 24.2	53 11.3	1 0.2	5 1.1	146 31.3	77 16.5	51 10.9	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	433	424 97.9	106 24.5	46 10.6	1 0.2	5 1.2	137 31.6	70 16.2	47 10.9	
	前回調査	ふたり親世帯	2,340	2,229 95.3	601 25.7	341 14.6	391 16.7	69 2.9	1,031 44.1	453 19.4	142 6.1	
		ひとり親世帯	425	372 87.5	117 27.5	78 18.4	84 19.8	14 3.3	143 33.6	79 18.6	26 6.1	
		ひとり親世帯：母子世帯のみ	350	303 86.6	95 27.1	57 16.3	78 22.3	12 3.4	120 34.3	67 19.1	21 6.0	
父親の就労形態別	今回調査	正規雇用	2,770	2,744 99.1	664 24.0	274 9.9	12 0.4	14 0.5	1,196 43.2	402 14.5	284 10.3	
		非正規雇用	78	78 100.0	15 19.2	9 11.5	0 0.0	1 1.3	15 19.2	9 11.5	9 11.5	
		自営業	459	455 99.1	111 24.2	58 12.6	1 0.2	1 0.2	182 39.7	56 12.2	61 13.3	
		無職・その他	352	344 97.7	77 21.9	41 11.6	0 0.0	6 1.7	113 32.1	61 17.3	41 11.6	
	前回調査	正規雇用	1,863	1,764 94.7	473 25.4	279 15.0	320 17.2	47 2.5	831 44.6	370 19.9	106 5.7	
		非正規雇用	93	88 94.6	20 21.5	10 10.8	11 11.8	8 8.6	25 26.9	14 15.1	8 8.6	
		自営業	375	357 95.2	115 30.7	60 16.0	58 15.5	14 3.7	173 46.1	59 15.7	28 7.5	
		無職・その他	39	38 97.4	7 17.9	9 23.1	3 7.7	1 2.6	13 33.3	9 23.1	1 2.6	
母親の就労形態別	今回調査	正規雇用	1,277	1,259 98.6	337 26.4	144 11.3	5 0.4	8 0.6	546 42.8	164 12.8	141 11.0	
		非正規雇用	1,712	1,696 99.1	372 21.7	171 10.0	5 0.3	9 0.5	703 41.1	264 15.4	170 9.9	
		自営業	315	314 99.7	86 27.3	25 7.9	0 0.0	3 1.0	134 42.5	39 12.4	49 15.6	
		無職・その他	390	387 99.2	85 21.8	43 11.0	3 0.8	2 0.5	133 34.1	65 16.7	40 10.3	
	前回調査	正規雇用	625	559 89.4	213 34.1	82 13.1	177 28.3	17 2.7	255 40.8	76 12.2	34 5.4	
		非正規雇用	1,241	1,171 94.4	292 23.5	180 14.5	223 18.0	38 3.1	530 42.7	236 19.0	76 6.1	
		自営業	192	187 97.4	62 32.3	26 13.5	25 13.0	7 3.6	100 52.1	27 14.1	15 7.8	
		無職・その他	568	554 97.5	116 20.4	99 17.4	29 5.1	18 3.2	252 44.4	159 28.0	35 6.2	

(2) 子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所として、今後利用したい場所

（保護者票 問 22、MA：今後利用したい順に、あてはまるものを3つ選択、県独自）

子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所として、保護者が今後利用したい（適している）と思う場所は、「自宅」が 90.4%、「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が 53.7%、「祖父母宅」が 24.8%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が 38.9%と、「中央値以上」の世帯（62.6%）に比べて 23.7 ポイント低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「塾・習い事（スポーツ少年団を含む）」が 46.8%（うち「母子世帯」のみでは 46.6%）と「ふたり親世帯」（56.9%）に比べて 10.1 ポイント（うち「母子世帯」のみでは 10.3 ポイント）低くなっている。

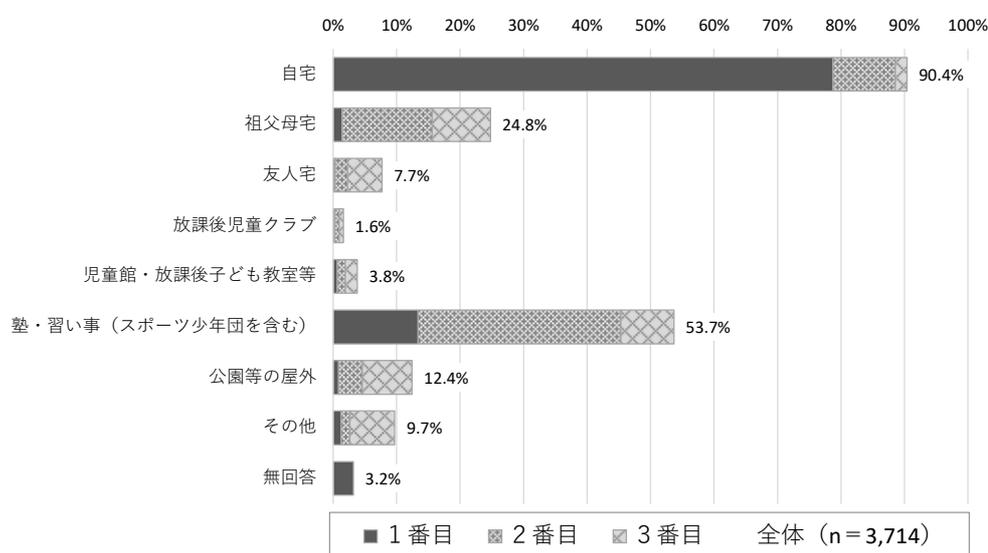


図 2-1-8-4 子どもが放課後（部活動後）に過ごす場所として、今後利用したい場所²³

²³ 図のデータは、回答者が、時間が長いものから順に 1 番目・2 番目・3 番目に選んだ選択肢を積み上げた合計値を示している。